

平成27年度

市政世論調査概要

第 6 9 集

和 歌 山 市

はじめに

現在、全国的に少子高齢化が進む中、人口減少に歯止めをかけるべく、国と地方が総力を挙げて「地方創生」の取組を進めています。本市においても、「和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月に策定し、その中で掲げた「雇用の創出」、「新しい人の流れ」、「子育て支援」、「時代に合った地域づくり」という4つの基本目標を達成するための様々な施策が平成28年度から本格的に動き出します。今後もスピード感を持って、「きらり輝く 元気和歌山市」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

また、今年、江戸幕府八代将軍徳川吉宗の将軍就任300年の節目の年であり、和歌山市の歴史を効果的にPRすることで、大勢の観光客を呼び込むチャンスとなる年であると捉え、魅力溢れる和歌山市を積極的に発信してまいります。

この冊子は、アンケート調査した結果を市政に最大限活用し、今後の施策や計画に反映させていただくことを目的とした貴重な資料であります。

ここに平成27年度市政世論調査概要（第69集）をとりまとめましたので、関係各位におかれましては、ご活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、この調査を実施するにあたり、ご協力いただきました市民の皆様には厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

和歌山市長 尾花正啓



和歌山市き章（明治42年制定）

和歌山市は三方山に囲まれ、西は紀伊水道をへだてて、淡路島、四国が見える風光明媚な温暖の地である。

その和歌山市の力強い発展をき章が表している。

すなわち、山の形の印は、和歌山市は三方山に囲まれているので、その地形を表し、白い矢印は和歌山市発展の勢いを表す（三方の山を貫く市民の力）。

○ はワカ山のカ（カタカナ文字）を図案化したもの。

和 は和カヤマの和を表している。

（色は決まっていない。）

市民憲章（昭和41年11月3日制定）

わたくしたちは、和歌山市民であることに誇りをもち、平和で豊かなまちをつくるため、市民の心がまえを定めます。

- ① 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- ② 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- ③ きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- ④ 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- ⑤ 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

目次

I. 調査の概要	5
1. 調査の目的.....	5
2. 調査の内容.....	5
3. 調査の方法.....	5
4. 集計区分.....	6
5. 回答者の属性.....	7
6. 回答者の家族環境.....	10
II. 調査の結果	15
1. 市政一般について.....	15
2. 南海和歌山市駅周辺の活性化について.....	16
3. 和歌山市立伏虎中学校の跡地の活用について.....	28
4. 男女共生について.....	38
5. 人口減少・少子化対策について.....	40
6. 災害や防犯対策について.....	48
7. スポーツについて.....	69
8. 健康について.....	73
9. 中央卸売市場の観光市場化（道の駅）について.....	83
10. 和歌山市の取り組みに対する満足度・重要度について.....	90
11. 和歌山市の市政について（自由意見）.....	104
III. 調査票	109

※報告書利用にあたって

- 図および表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。
- 複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超えています。
- 図中の「n」とは、質問別の該当対象者数を示し、比率は「n」を100%として表示しています。「n」が調査母数の場合は表示していません。今年度は「1038」となっています。
- 年齢層別クロス集計について、18～19歳は回答数が少ないため、本調査の結果が和歌山市における当該年齢層の傾向と異なる可能性があることをご理解の上、調査結果をご覧ください。

調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

和歌山市では毎年「市政世論調査」を行い、市民の希望や意識について調査し、市政運営のための基礎資料として活用している。

2. 調査の内容

- 市政一般について
- 南海和歌山市駅周辺の活性化について
- 和歌山市立伏虎中学校の跡地の活用について
- 男女共生について
- 人口減少・少子化対策について
- 災害や防犯対策について
- スポーツについて
- 健康について
- 中央卸売市場の観光市場化（道の駅）について
- 和歌山市の取り組みに対しての満足度・重要度について
- 和歌山市の市政について（自由意見）

3. 調査の方法

- ◆ 調査区域 和歌山市全域
- ◆ 調査対象 和歌山市に居住する満 18 歳以上の男女を等間隔無作為抽出
- ◆ 調査方式 郵送による配布・回収
- ◆ 調査期間 平成 27 年 10 月 23 日(金)～同年 11 月 9 日(月)
- ◆ 回収率 発送数 2,000 人
有効回収数 1038 人 (回収数 1044 人)
有効回収率 51.9% (回収率 52.2%)
- ◆ 調査機関 和歌山市広報広聴課（対象者の抽出およびアンケートの策定）
(株)エム・アールビジネス（配布・回収・集計・取りまとめ）

4. 集計区分

居住区は全市内 42 地区で調査したが、下表のとおり 6 地域にとりまとめ集計した。

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

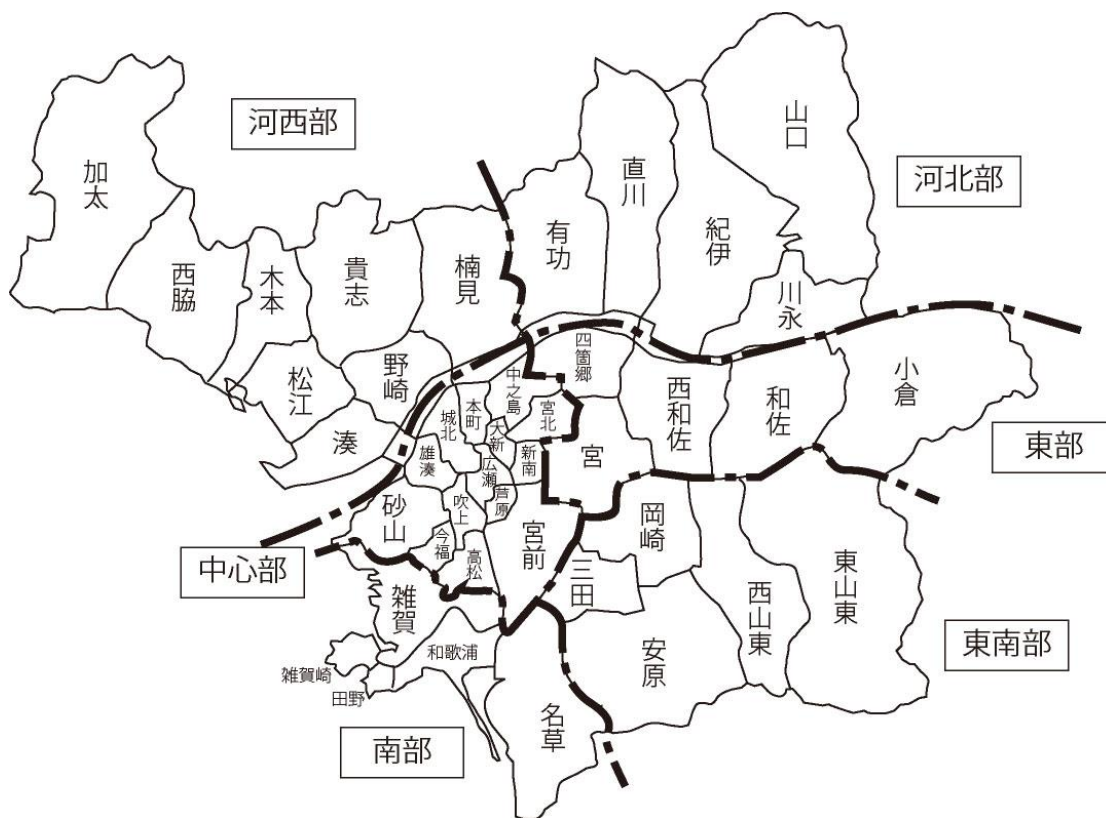
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



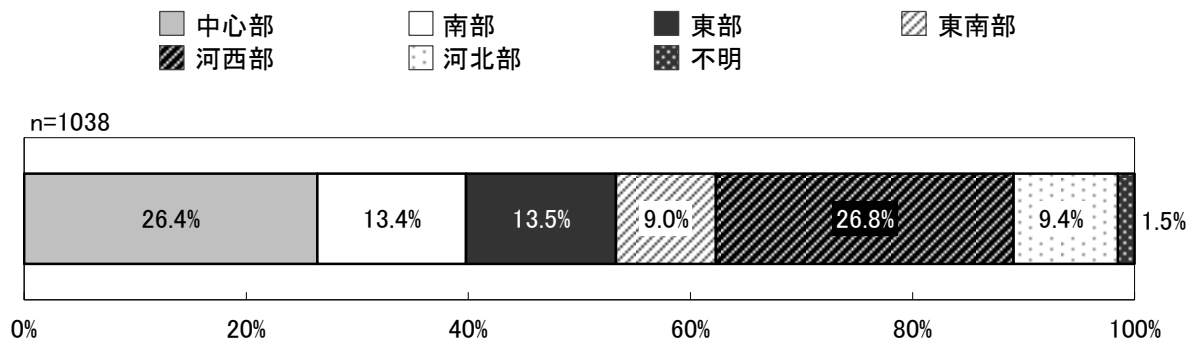
5. 回答者の属性

回答者の属性について、アンケートの問1～問5の結果を集計した。

区分		総数	18歳 ～ 19歳	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上	不明
総数		1038	12	76	112	148	165	257	202	55	11
地域別	中心部	274	3	18	26	46	44	73	41	21	2
	南部	139	3	9	14	21	23	27	29	12	1
	東部	140	2	8	17	23	22	31	29	5	3
	東南部	93	0	5	14	11	15	23	21	2	2
	河西部	278	3	29	28	32	40	79	53	12	2
	河北部	98	1	7	13	12	20	19	22	3	1
	不明	16	0	0	0	3	1	5	7	0	0
性別	男性	452	8	34	40	66	70	119	90	21	4
	女性	569	4	42	72	82	94	137	104	32	2
	不明	17	0	0	0	0	1	1	8	2	5
職業別	会社員	234	2	36	42	65	48	31	9	1	0
	自営業	88	0	0	6	17	15	31	14	4	1
	農林水産業	8	0	0	0	1	3	1	3	0	0
	公務員	47	0	7	6	13	15	5	0	0	1
	パート・アルバイト	116	1	9	22	29	26	21	8	0	0
	専業主婦	220	0	5	24	17	32	75	53	13	1
	学生	21	8	13	0	0	0	0	0	0	0
	無職	245	0	4	8	5	9	82	104	32	1
	その他	43	1	2	4	1	16	10	5	2	2
	不明	16	0	0	0	0	1	1	6	3	5
居住年数別	1年未満	11	0	0	4	1	0	2	3	1	0
	1～3年未満	19	0	7	7	3	1	0	1	0	0
	3～5年未満	10	0	1	2	4	0	1	1	1	0
	5～10年未満	42	0	6	21	11	0	2	1	0	1
	10～20年未満	73	12	8	10	22	12	3	5	1	0
	20～30年未満	116	0	54	8	11	23	14	4	1	1
	30年以上	758	0	0	60	96	128	234	185	51	4
	不明	9	0	0	0	0	1	1	2	0	5

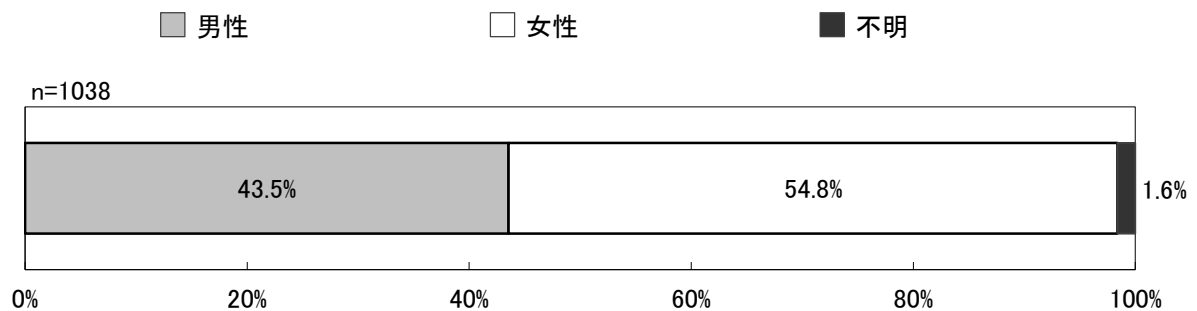
【居住区】

居住区構成は、「河西部」（26.8%）と「中心部」（26.4%）がほぼ同率で、次いで「東部」（13.5%）が多くなっている。



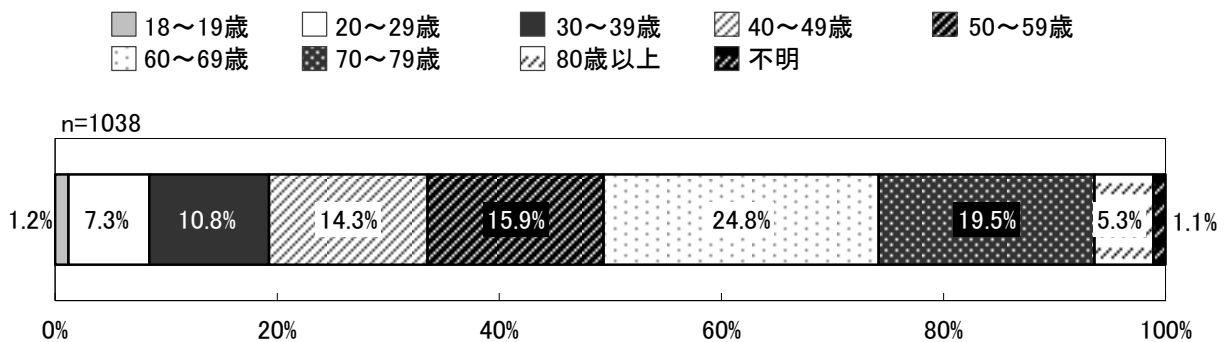
【性別】

男女別構成は「女性」（54.8%）、「男性」（43.5%）で、女性が男性を上回っている。



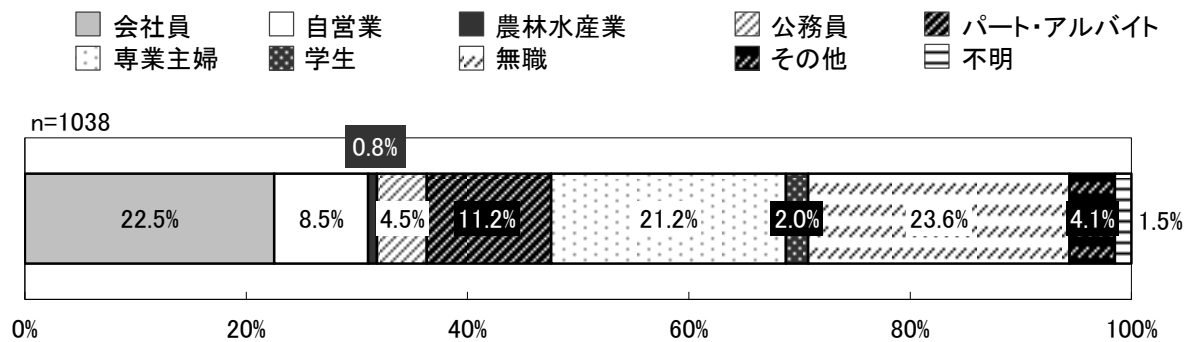
【年齢】

年齢構成は「60～69歳」（24.8%）が最も多く、次いで「70～79歳」（19.5%）となっている。60歳以上の比率が49.6%を占める。



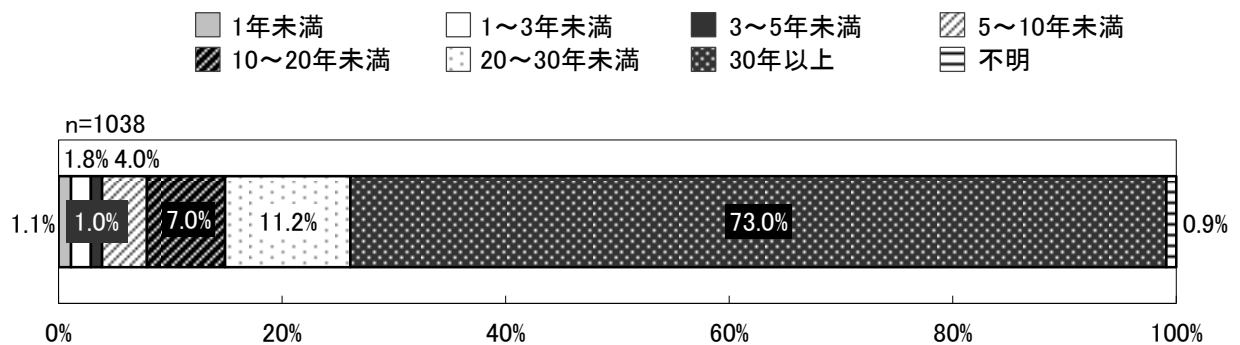
【職業】

職業構成は「無職」(23.6%)、「会社員」(22.5%)、「専業主婦」(21.2%)の順となっている。



【居住年数】

和歌山市の居住年数構成は「30年以上」が73.0%で最も多く、次いで「20～30年未満」(11.2%)が続く。



6. 回答者の家族環境

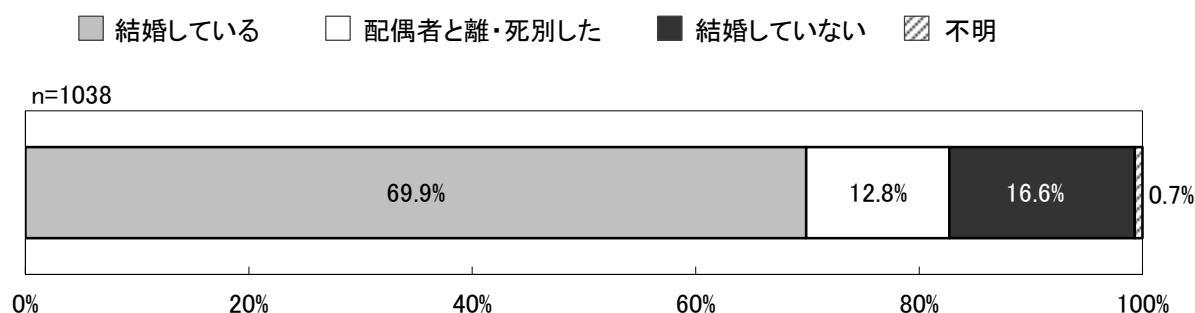
回答者の家族環境について、アンケートの問6～問7の結果を集計した。

問 6. 結婚

問 6 あなたは現在、結婚をしていますか？

1. 結婚している 2. 配偶者と離・死別した 3. 結婚していない

未既婚の構成は、「結婚している」が69.9%、「結婚していない」が16.6%である。「配偶者と離・死別した」は12.8%となっている。



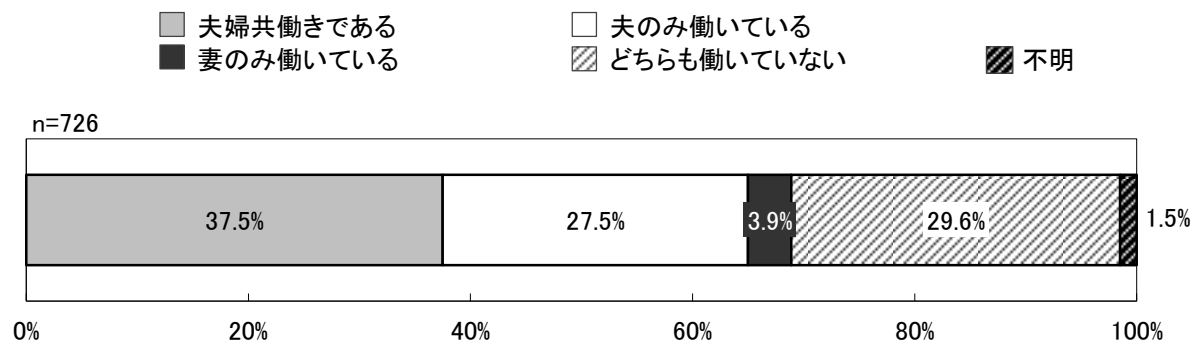
問 6-1. 共働き

問 6-1 問 6 で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。

夫婦ともに働いていますか？

1. 夫婦共働きである 3. 妻のみ働いている
2. 夫のみ働いている 4. どちらも働いていない

問 6 で「結婚している」と回答した 726 人について、「夫婦共働きである」が37.5%で最も多く、「夫のみ働いている」(27.5%)を10ポイント上回る。「どちらも働いていない」は29.6%となっている。

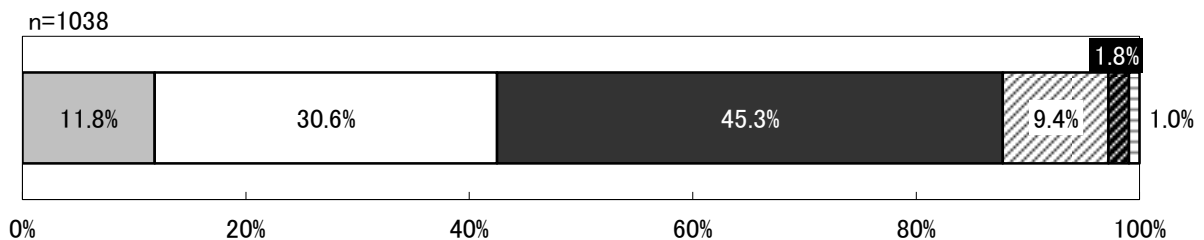
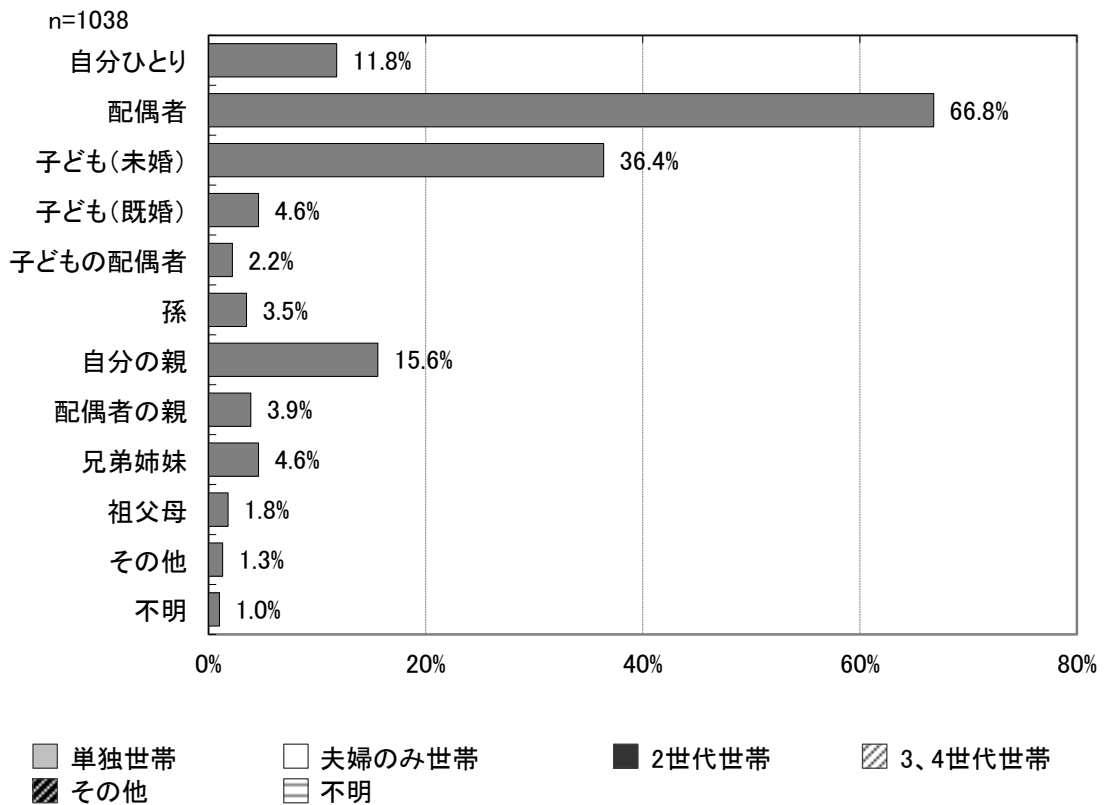


問7 家族構成

問7 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|------------|----------|
| 1. 自分ひとり | 7. 自分の親 |
| 2. 配偶者 | 8. 配偶者の親 |
| 3. 子ども(未婚) | 9. 兄弟姉妹 |
| 4. 子ども(既婚) | 10. 祖父母 |
| 5. 子どもの配偶者 | 11. その他 |
| 6. 孫 | () |

同居人は「配偶者」が66.8%と最も多く、次いで「子ども(未婚)」(36.4%)、「自分の親」(15.6%)となっている。回答により家族構成を分類すると「2世代世帯」が45.3%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」(30.6%)、「単独世帯」(11.8%)「3、4世代世帯」(9.4%)の順となっている。



調査の結果

Ⅱ. 調査の結果

1. 市政一般について

問8 ご自身の状況や考え方について

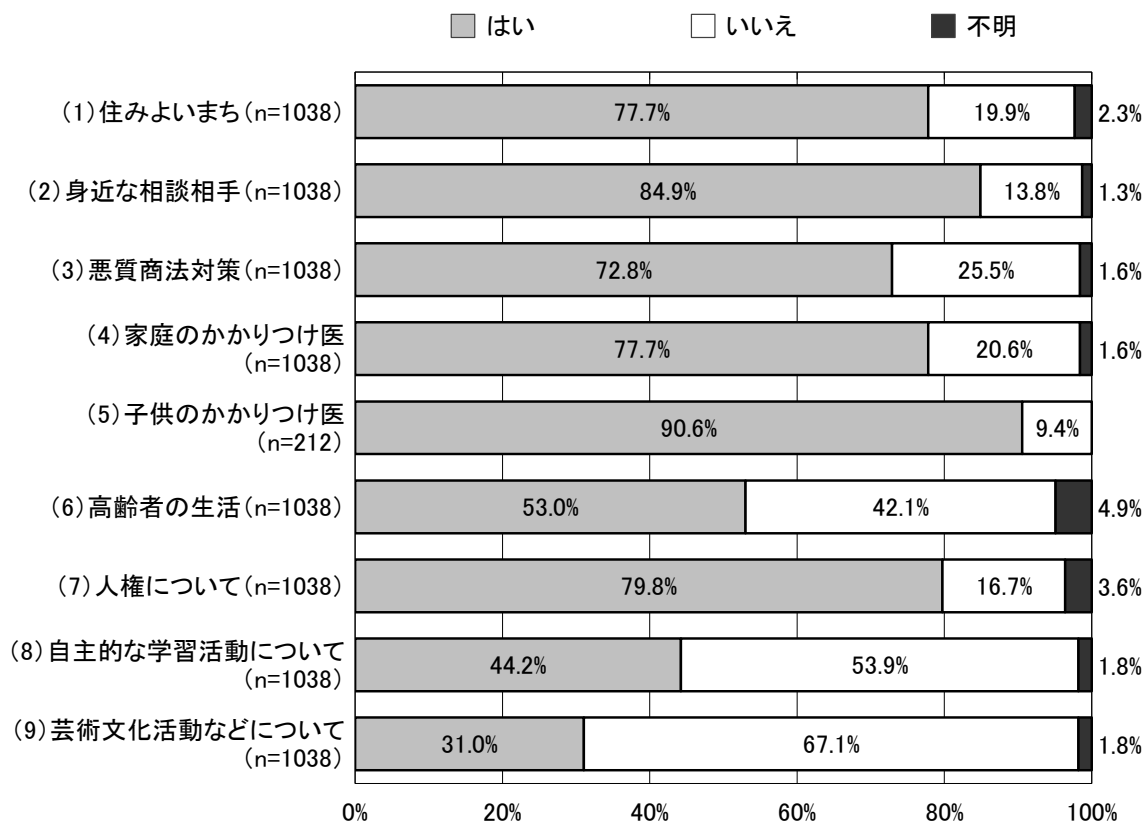
問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

- (1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？
- (2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？
- (3) あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？
- (4) ご家庭のかかりつけ医はありますか？
- (5) お子様のご家庭のかかりつけ医はありますか？（0～14歳のお子様がいらっしゃる方のみ）
- (6) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？
- (7) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？
- (8) 日頃から趣味や関心のあるテーマについて、自主的に学習活動を行っていますか？
- (9) 日頃から芸術文化活動を行い、または鑑賞する機会をもっていますか？

1. はい

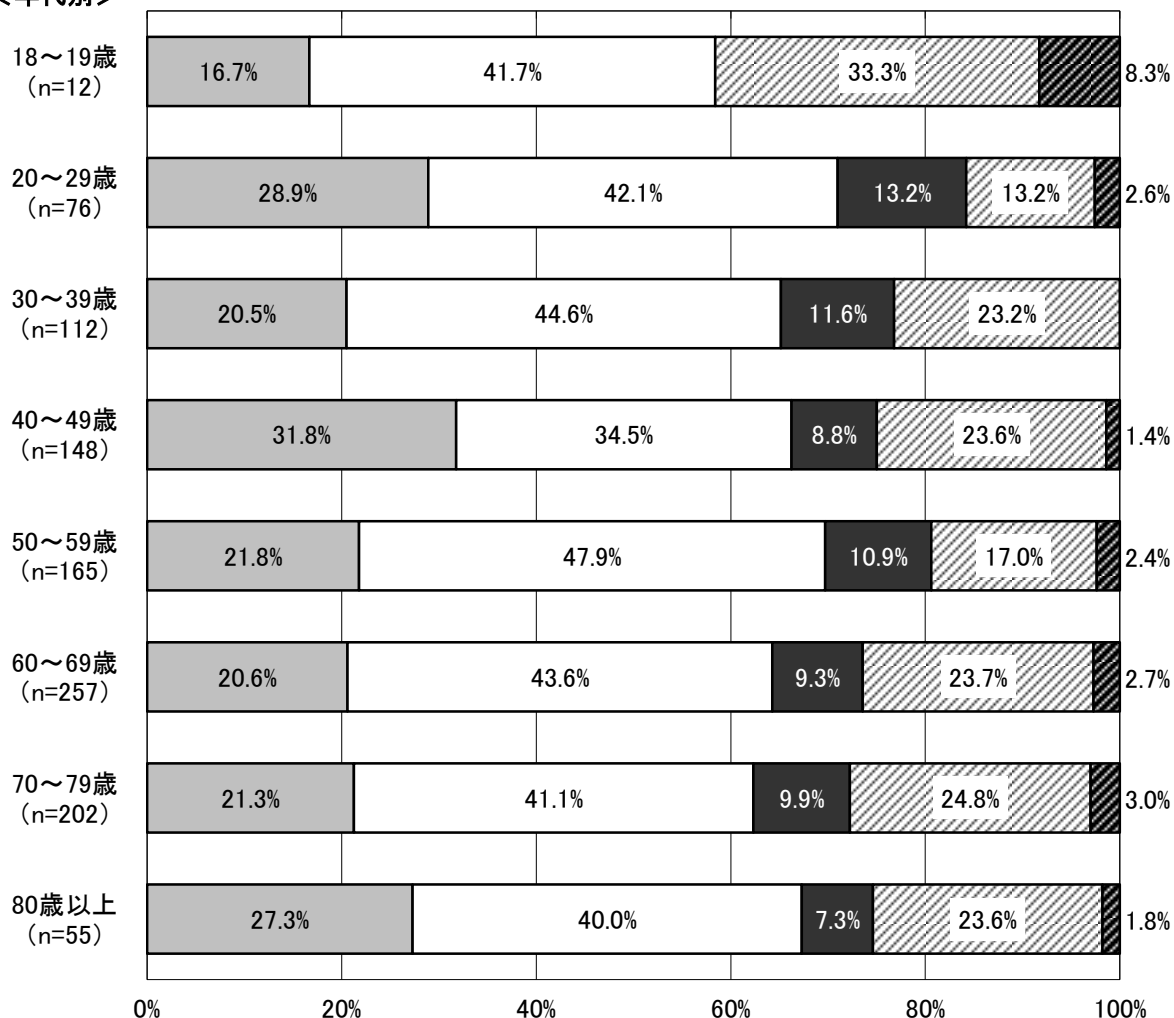
2. いいえ

自身の状況や考え方について、「はい」の比率が最も高いのは「お子様のご家庭のかかりつけ医はありますか」で90.6%となっている。「はい」が70%を超えるのは、「身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか」（84.9%）、「あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか」（79.8%）、「ご家庭のかかりつけ医はありますか」（77.7%）、「和歌山市が住みよいまちだと感じていますか」（77.7%）、「悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか」（72.8%）の5項目である。





<年代別>



問 10 市民図書館に望ましい設備

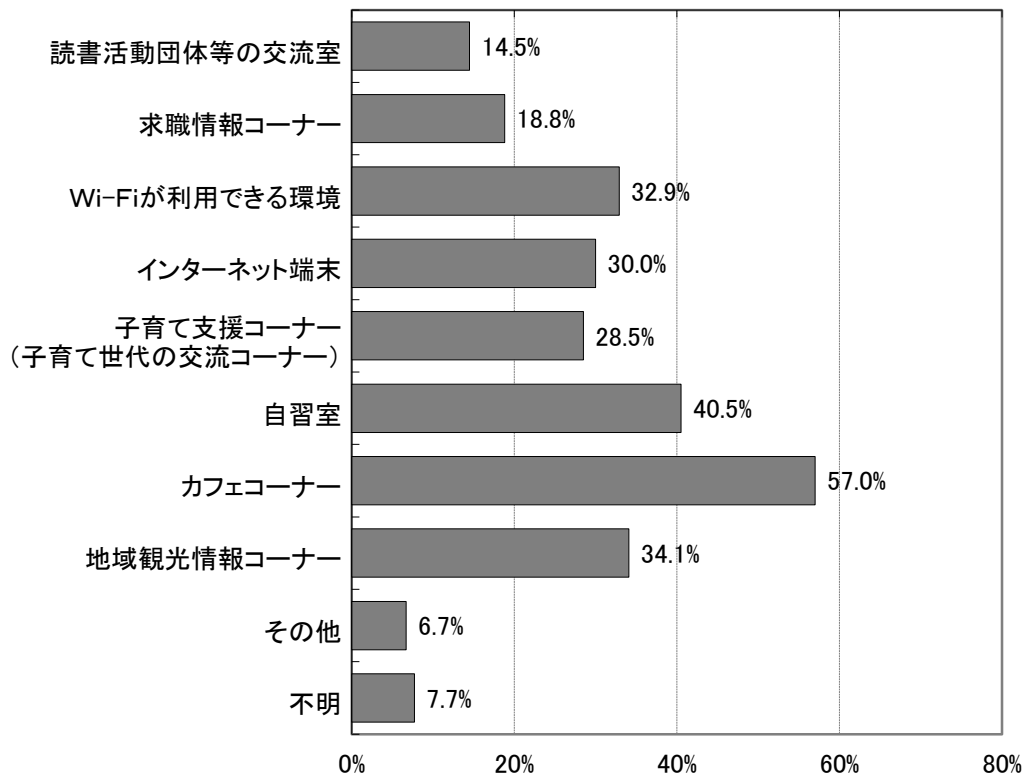
問 10 新しい市民図書館を建設する場合、どのような設備を望みますか？

あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 読書活動団体等の交流室 | 6. 自習室 |
| 2. 求職情報コーナー | 7. カフェコーナー |
| 3. Wi-Fiが利用できる環境 | 8. 地域観光情報コーナー |
| 4. インターネット端末 | 9. その他 () |
| 5. 子育て支援コーナー (子育て世代の交流コーナー) | |

新しい市民図書館に望む設備は、「カフェコーナー」が57.0%と最も多い。他の項目で30%を超えているのは、「自習室」(40.5%)、「地域観光情報コーナー」(34.1%)、「Wi-Fiが利用できる環境」(32.9%)、「インターネット端末」(30.0%)の4項目となっている。

n=1038



その他：「駐車場」、「子ども用トイレ・授乳室」、「キッズルーム」など

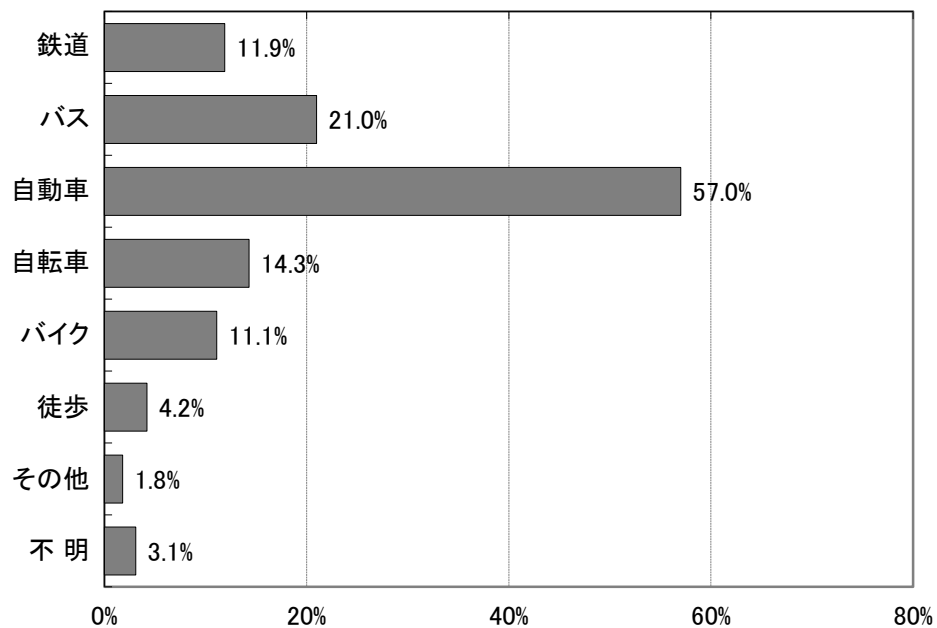
問 11 市民図書館への交通手段

問 11 新しい図書館を利用される場合、交通手段は主にどのようなものになりますか？

- | | |
|--------|------------|
| 1. 鉄道 | 5. バイク |
| 2. バス | 6. 徒歩 |
| 3. 自動車 | 7. その他 () |
| 4. 自転車 | |

新しい図書館を利用する場合の交通手段は、「自動車」が57.0%と最も多く、次いで「バス」(21.0%)、「自転車」(14.3%)の順となっている。

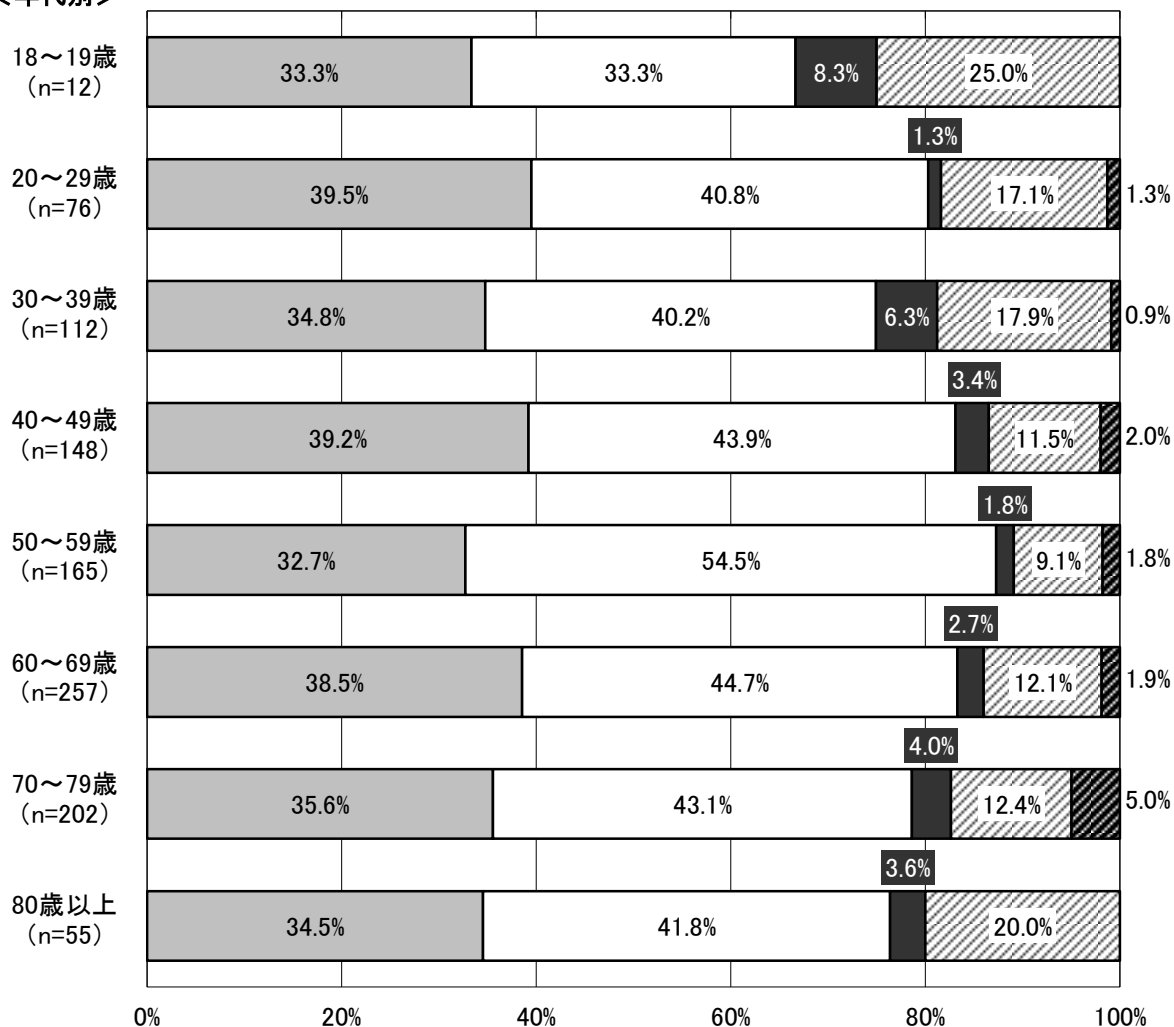
n=1038



その他：「タクシー」、「無料バス」など



<年代別>



問 13 市駅前広場に望ましい設備

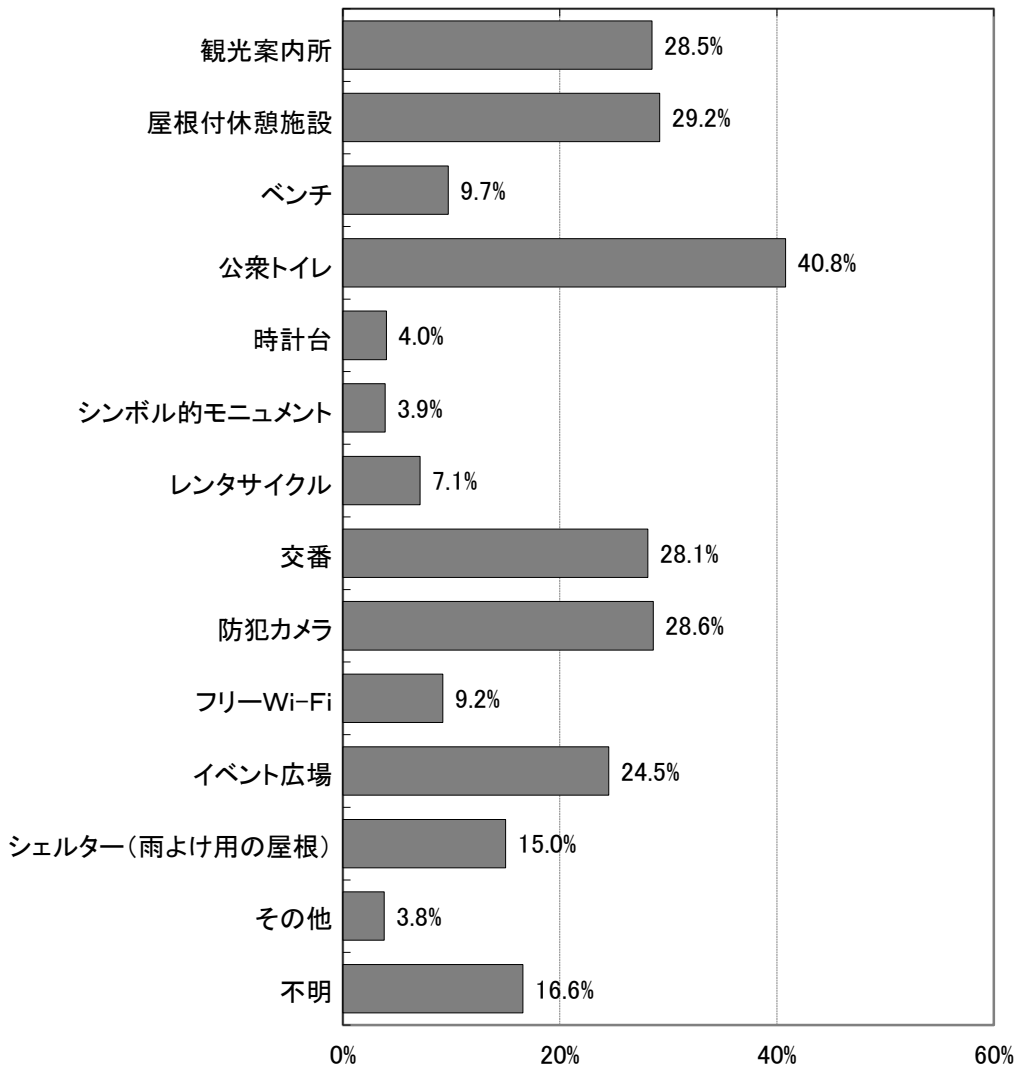
問 13. 和歌山市駅前広場を整備する場合、どのような設備を望みますか？

あてはまるものを3つお選びください。

- | | | |
|------------|------------------|--------------------|
| 1. 観光案内所 | 6. シンボリック的モニュメント | 11. イベント広場 |
| 2. 屋根付休憩施設 | 7. レンタサイクル | 12. シェルター（雨よけ用の屋根） |
| 3. ベンチ | 8. 交番 | 13. その他（ ） |
| 4. 公衆トイレ | 9. 防犯カメラ | |
| 5. 時計台 | 10. フリーWi-Fi | |

市駅前広場に望ましい設備は、「公衆トイレ」が40.8%と最も多い。他の項目で25%を超えているのは、「屋根付休憩施設」(29.2%)、「防犯カメラ」(28.6%)、「観光案内所」(28.5%)、「交番」(28.1%)の4項目となっている。

n=1038



その他：「駐車場」、「駐輪場」、「緑地帯・公園」、「おしゃれなカフェ」、「コンビニエンスストア」など

問 14 和歌山市駅周辺に望ましい都市機能

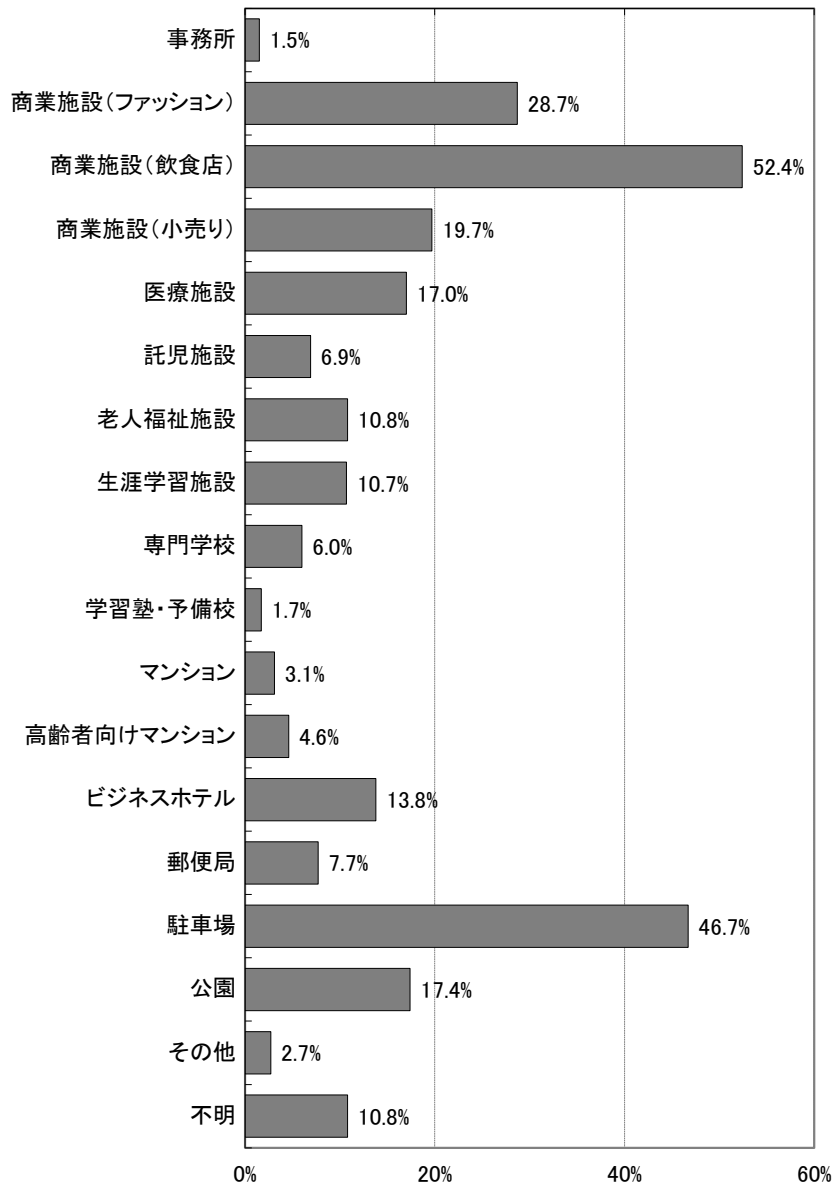
問 14 和歌山市駅周辺に、どのような都市機能を望みますか？

あてはまるものを3つお選びください。

- | | | |
|-----------------|----------------|-------------------------------|
| 1. 事務所 | 7. 老人福祉施設 | 13. ビジネスホテル |
| 2. 商業施設（ファッション） | 8. 生涯学習施設 | 14. 郵便局 |
| 3. 商業施設（飲食店） | 9. 専門学校 | 15. 駐車場 |
| 4. 商業施設（小売り） | 10. 学習塾・予備校 | 16. 公園 |
| 5. 医療施設 | 11. マンション | 17. その他（ ） |
| 6. 託児施設 | 12. 高齢者向けマンション | |

和歌山市駅周辺に望む都市機能は、「商業施設（飲食店）」が52.4%と最も多く、次いで「駐車場」（46.7%）となっている。「商業施設（ファッション）」（28.7%）の比率も高めとなっている。

n=1038



その他：「イベントホール」、「映画館」、「大型雑貨店」、「フィットネスクラブ」など

問 15 歩道拡幅への評価

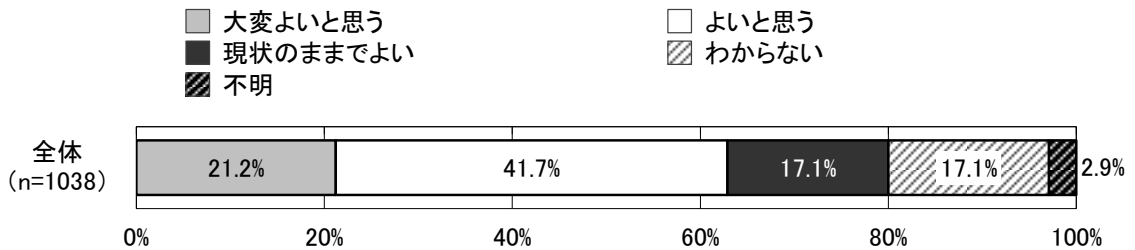
問15 市道市駅前線の車道を縮小し、歩道を拡幅することについて、どのように思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 大変よいと思う
- 2. よいと思う
- 3. 現状のままでよい
- 4. わからない

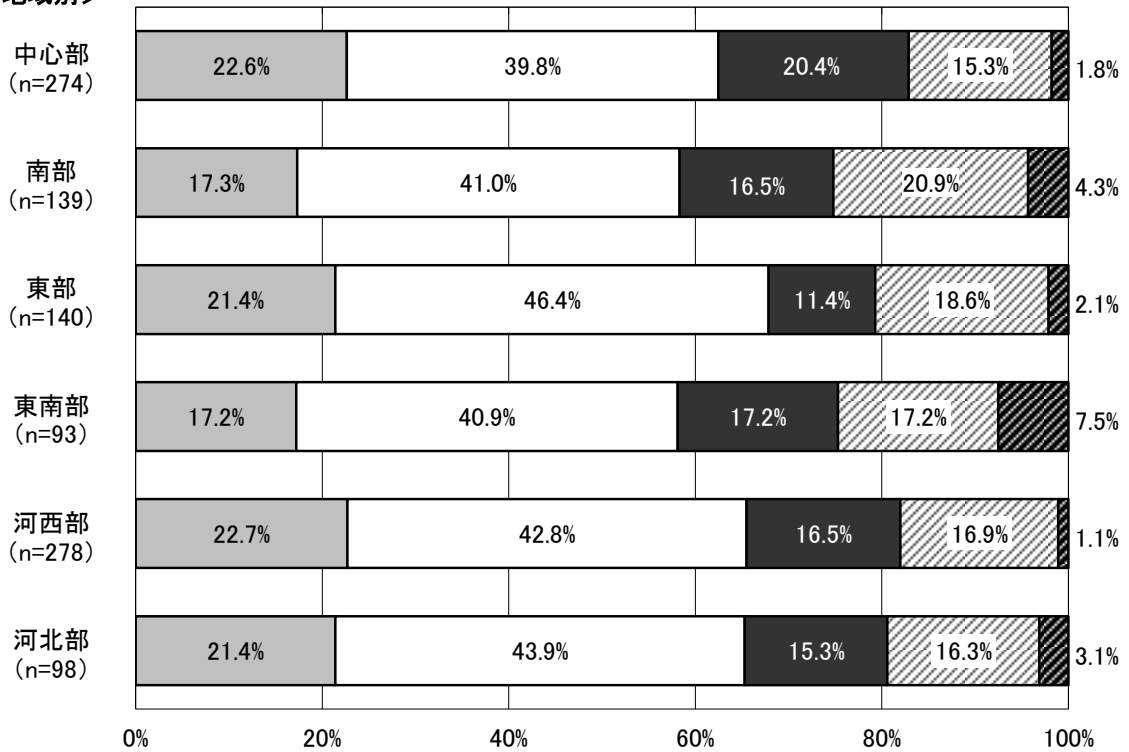
【理由： 】

市道市駅前線の歩道を拡幅することについて、「大変よいと思う」(21.2%)、「よいと思う」(41.7%)をあわせた 62.9%が賛成意見となっている。「現状のままでよい」は 17.1%、「わからない」は 17.1%となっている。

地域別にみると、東部の賛成意見の比率が最も高く、67.8%となっている。中心部の賛成意見は 62.4%となっている。



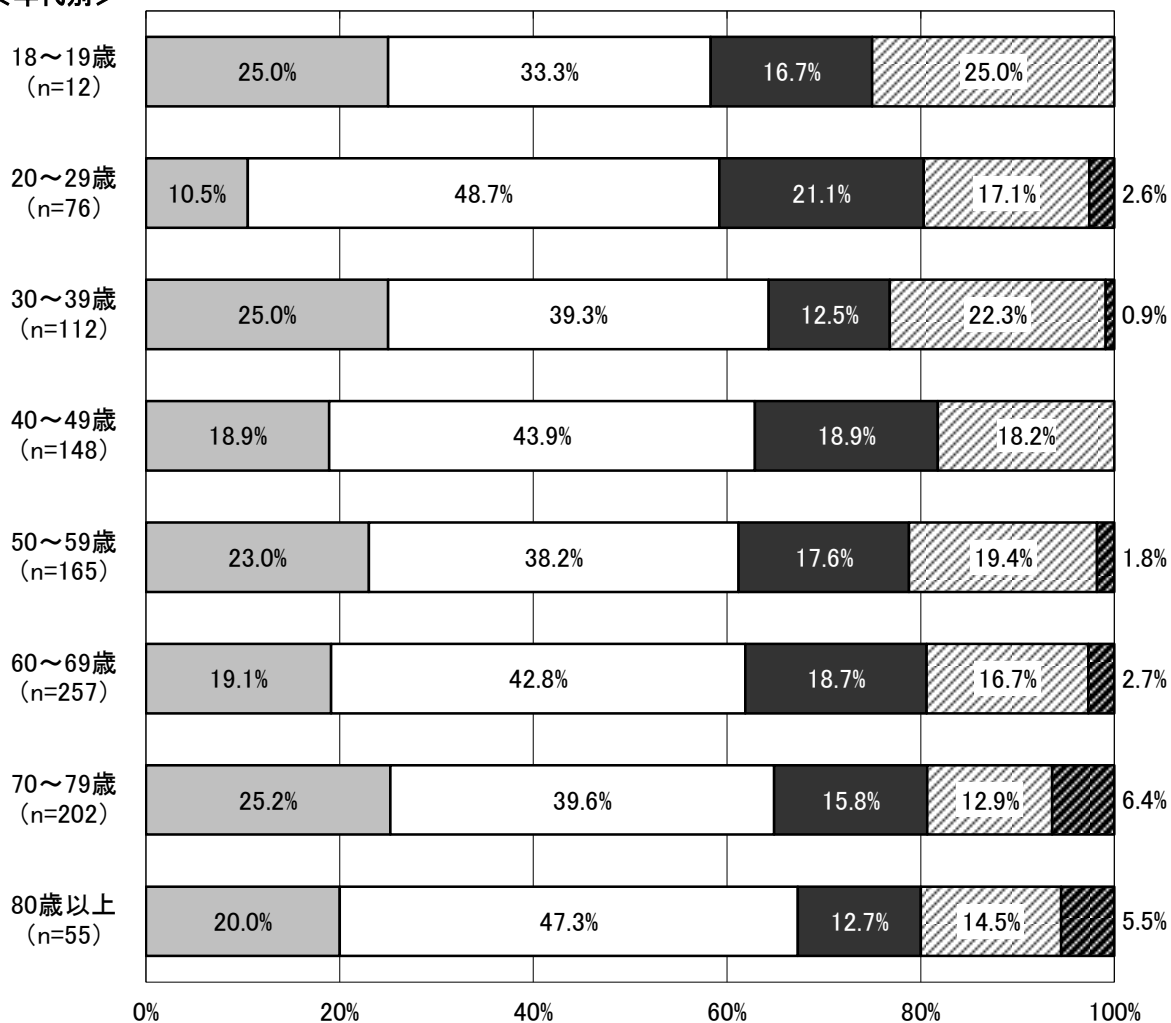
<地域別>



理由：「十分に広いから」、「通行人が少ないから」、「車道を縮小することで混雑が予想されるから」、「車道が狭くなると危ない」など



<年代別>



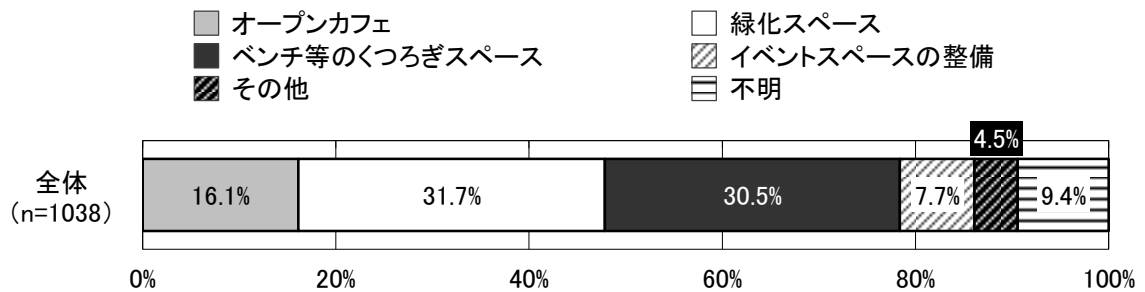
問 16 歩道活用策

問 16 歩道を拡幅した場合、歩道の活用策について、最も優先させてほしいことを1つお選びください。

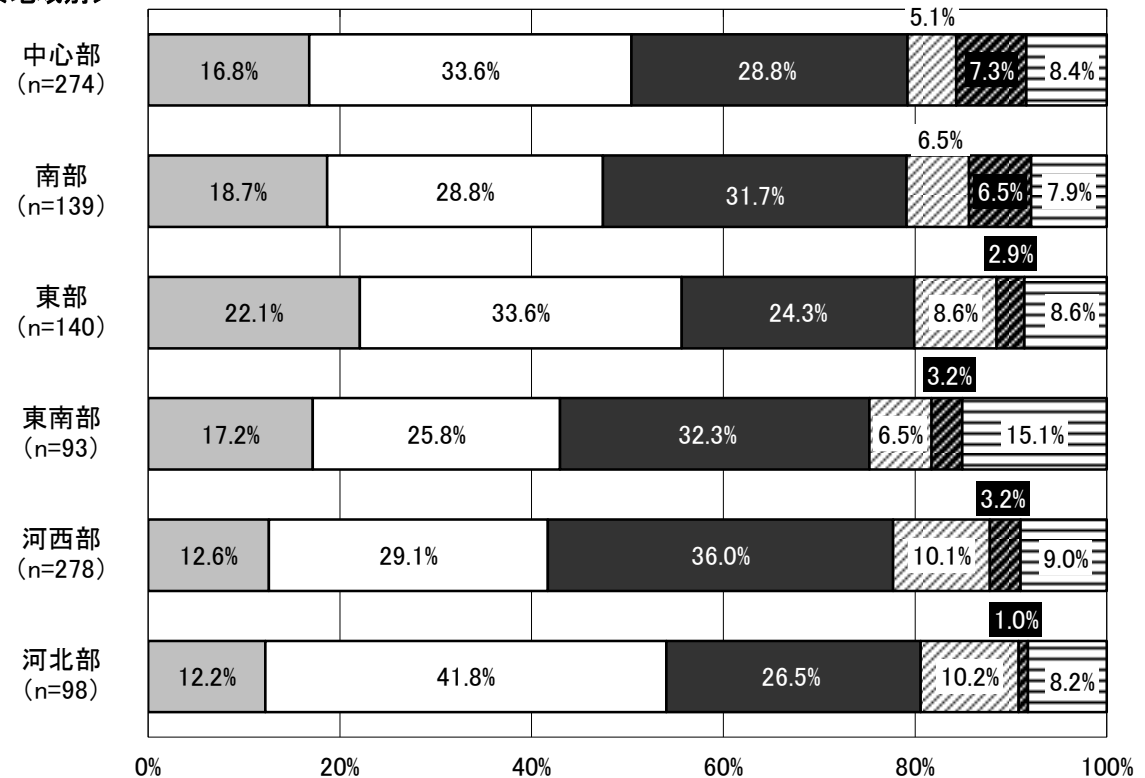
- 1. オープンカフェ
- 2. 緑化スペース
- 3. ベンチ等のくつろぎスペース
- 4. イベントスペースの整備
- 5. その他 ()

歩道の活用策について、最も優先させてほしいことは、「緑化スペース」が31.7%と最も多く、次いで「ベンチ等のくつろぎスペース」(30.5%)となっている。

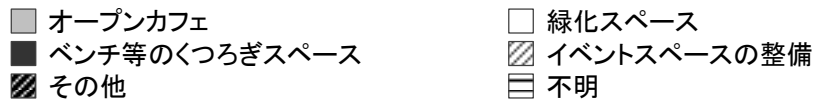
年代別にみると、年齢が高いほど「ベンチ等のくつろぎスペース」が、年齢が低いほど「オープンカフェ」の意見が高くなっている。



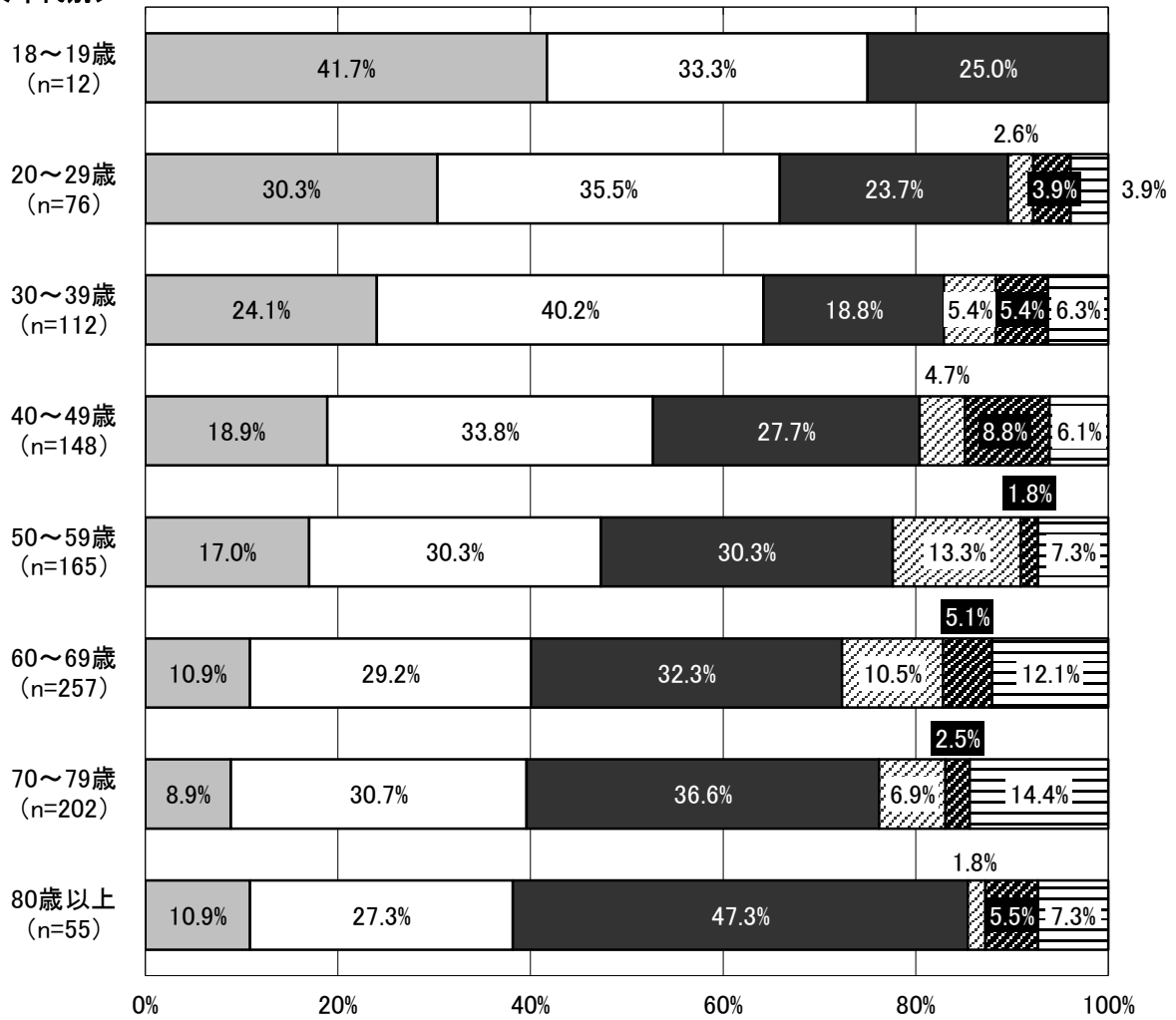
<地域別>



その他：「歩行者と自転車の通行の区別」、「城下町の再現」など



<年代別>



3. 和歌山市立伏虎中学校の跡地の活用について

(資料 P. 126)

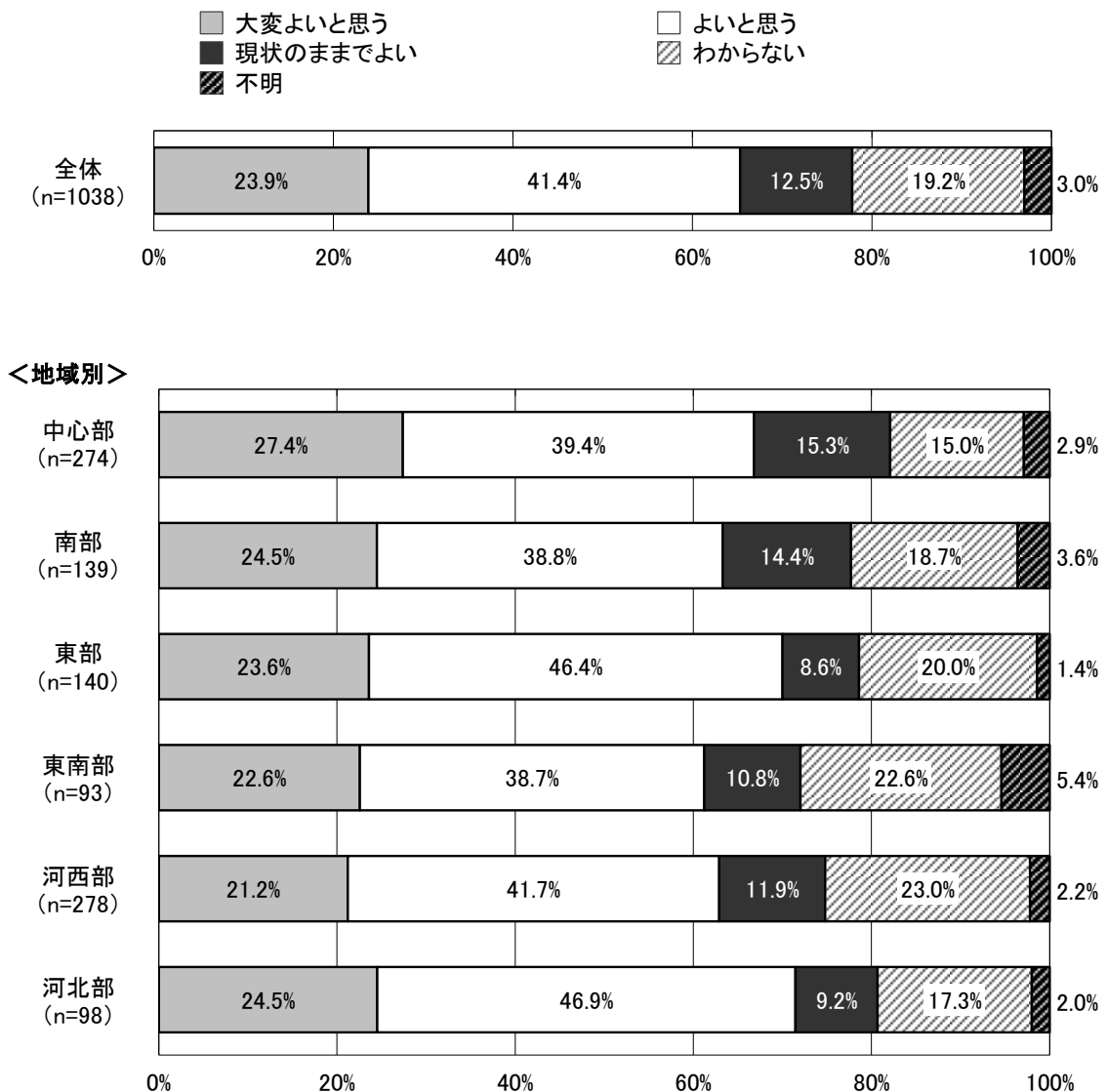
問17 市民会館移転への評価

問17 伏虎中学校跡地に新しい市民会館を移転することについて、どのように思いますか？
 あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 大変よいと思う | 3. 現状のままでよい |
| 2. よいと思う | 【理由： |
| | 4. わからない |

伏虎中学校跡地に新しい市民会館を移転することについて、「大変よいと思う」(23.9%)、「よいと思う」(41.4%)をあわせた65.3%が賛成意見となっている。「現状のままでよい」は12.5%、「わからない」は19.2%となっている。

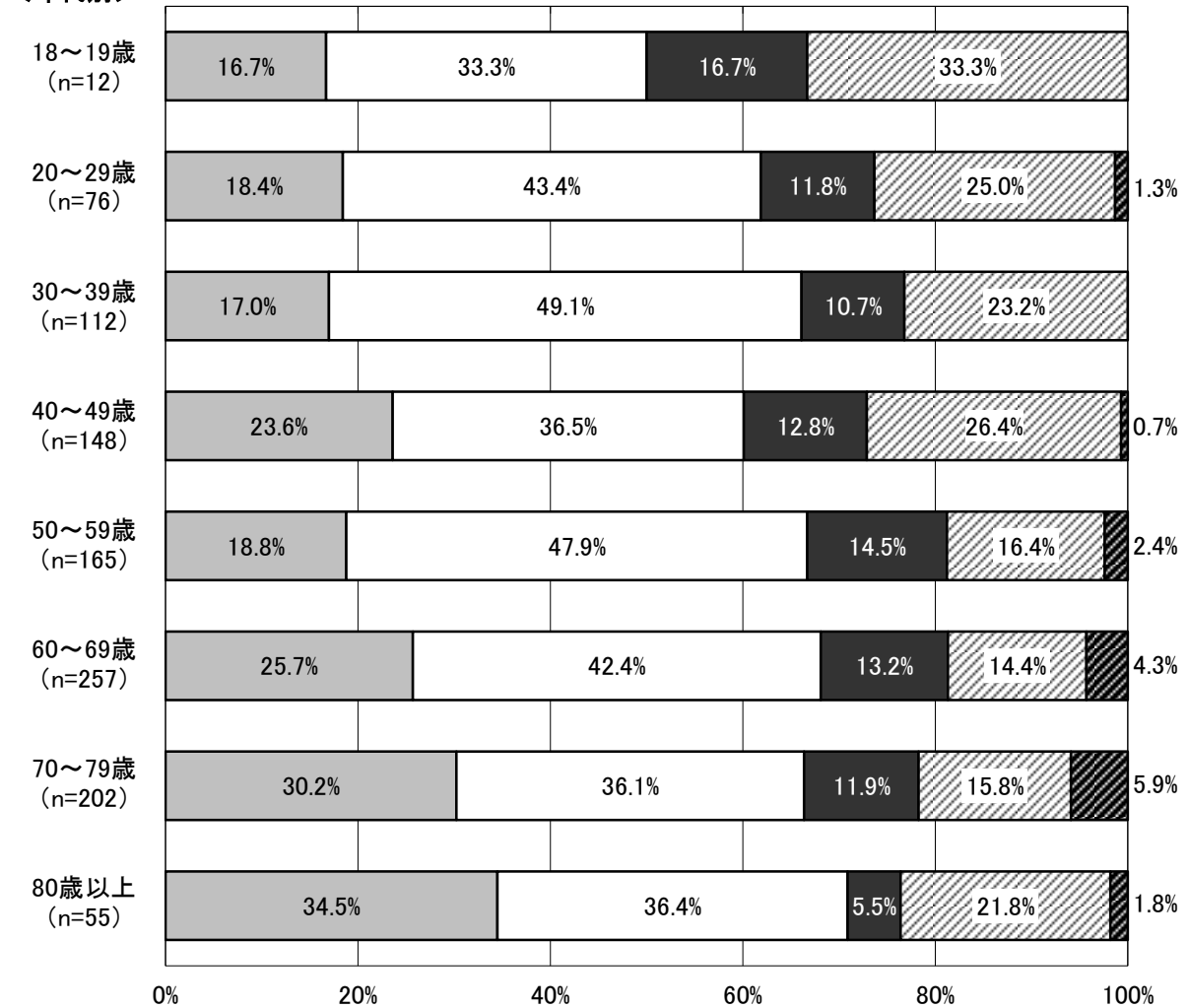
地域別にみると、河北部で賛成意見の比率が最も高く、71.4%となっている。中心部で66.8%となっている。



理由：「アクセスが悪くなる」、「経費がかかる」、「近くに和歌山県民文化会館があるから別のものを建てた方がよい」、「市民図書館跡を市民会館に」など



<年代別>



問 18 大学誘致への評価

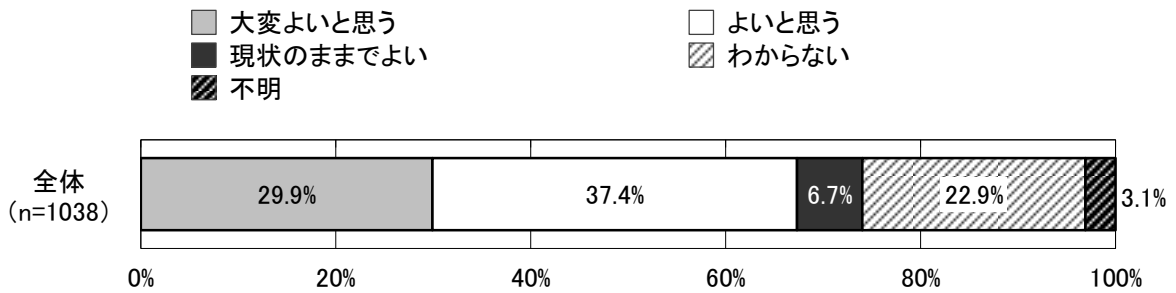
問 18 伏虎中学校跡地に大学（県立医科大学薬学部）を誘致することについて、どのように思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 大変よいと思う
- 2. よいと思う
- 3. 現状のままでよい
- 4. わからない

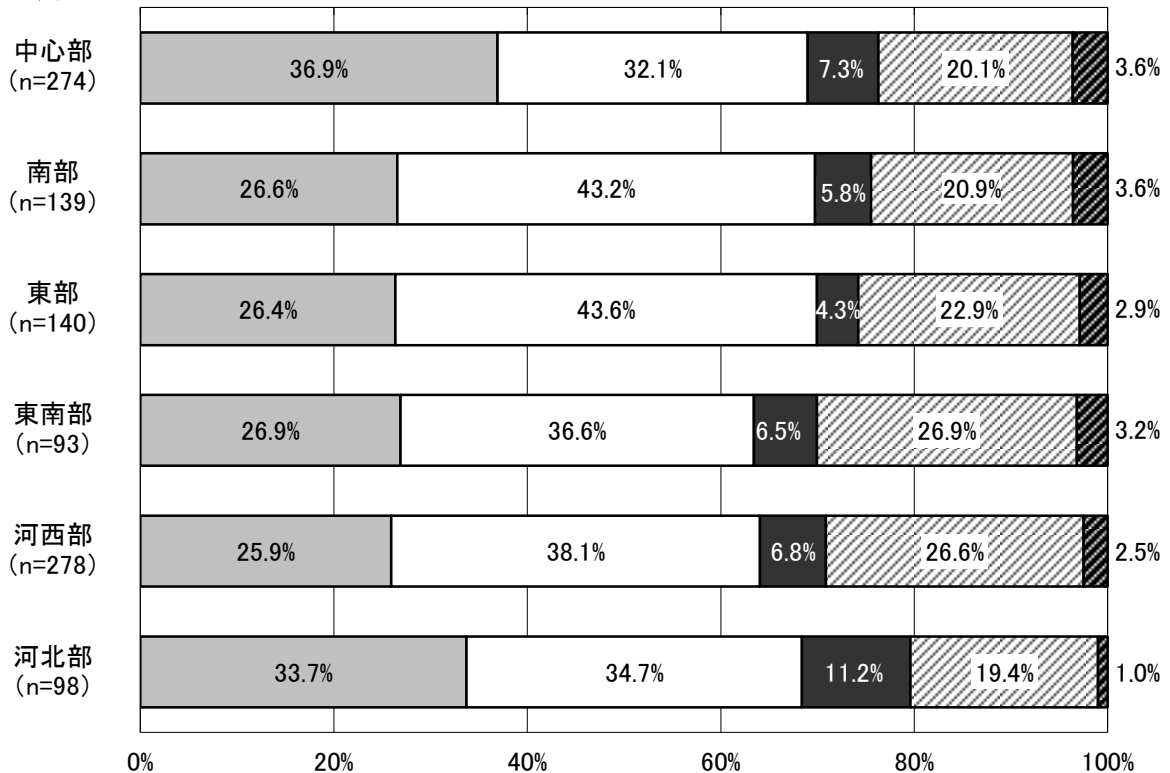
【理由： 】

伏虎中学校跡地に大学（県立医科大学薬学部）を誘致することについて、「大変よいと思う」(29.9%)、「よいと思う」(37.4%)をあわせた 67.3%が賛成意見となっている。「現状のままでよい」は 6.7%、「わからない」は 22.9%となっている。

地域別にみると、東部の賛成意見の比率が最も高く、70.0%となっている。中心部で 69.0%となっている。



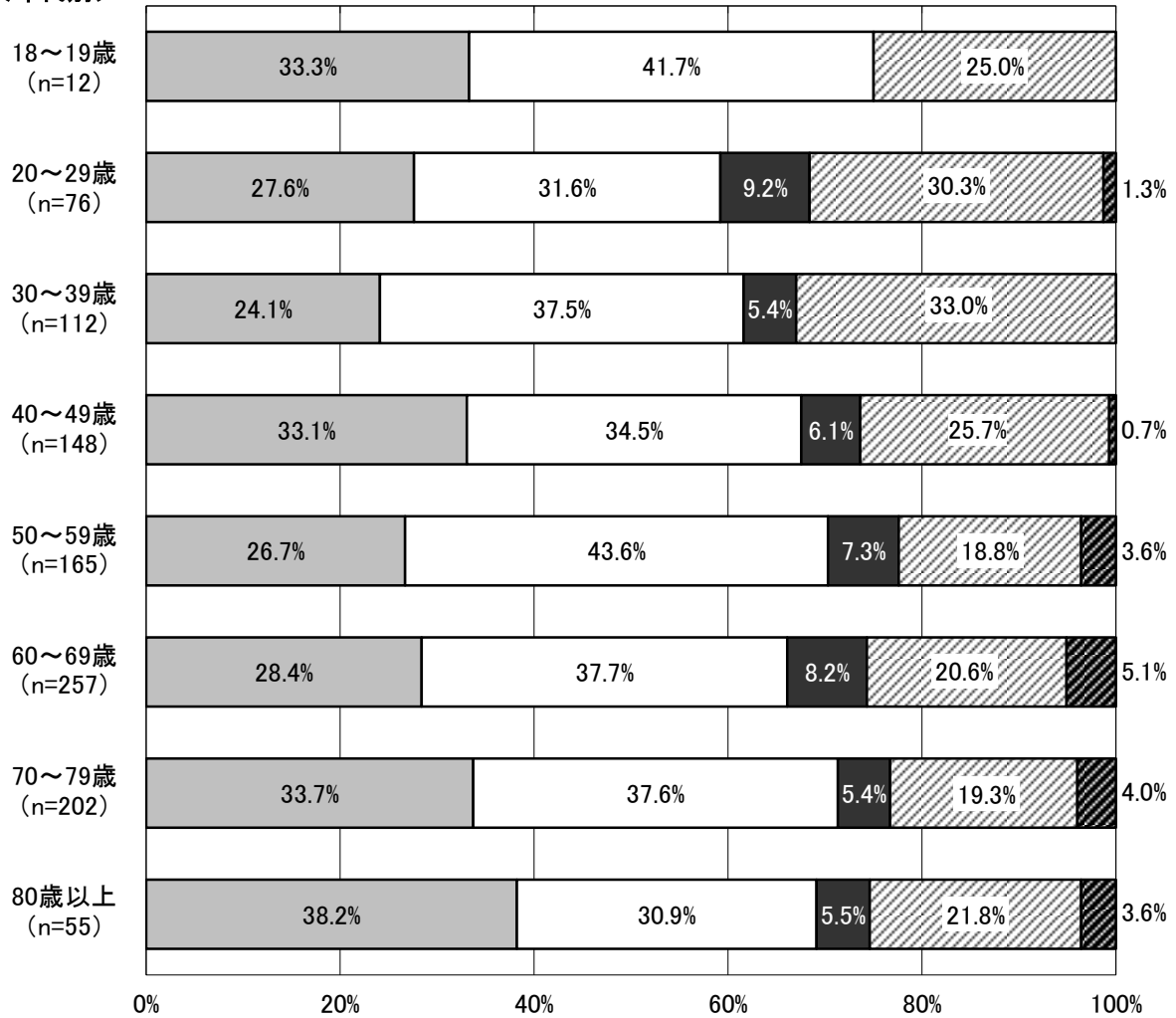
<地域別>



理由：「もっと適した施設があると思う」、「大学は郊外でよい」、「交通に支障をきたす」、「少人数の学部では活性化にならない」など



<年代別>



問 19 市民会館に望ましい設備

問 19 新しい市民会館を建設する場合、どのような設備を望みますか？

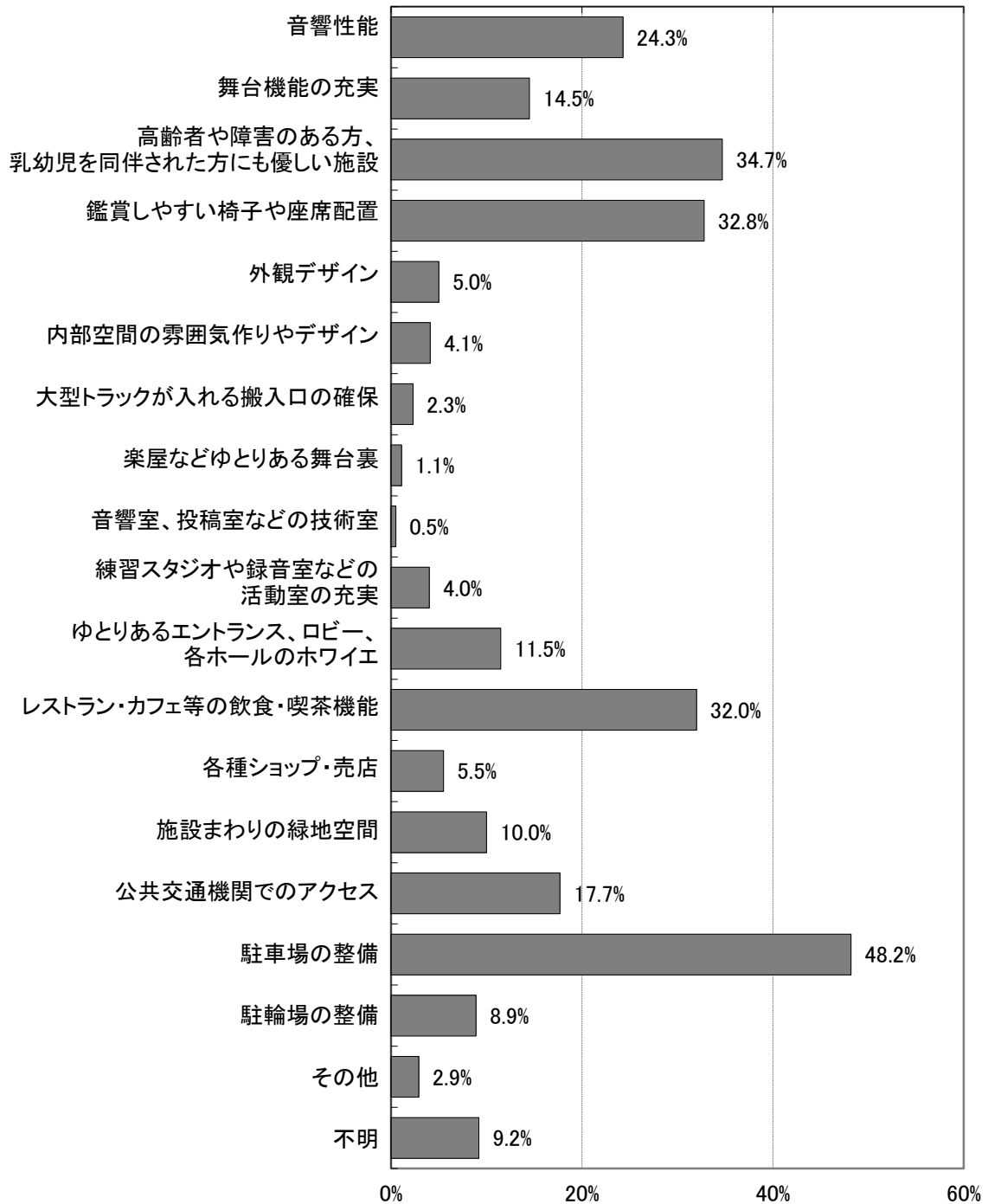
あてはまるものを3つお選びください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 音響性能 | 11. ゆとりあるエントランス、ロビー、
各ホールのホワイエ※ |
| 2. 舞台機能の充実 | 12. レストラン・カフェ等の飲食・喫茶機能 |
| 3. 高齢者や障害のある方、乳幼児を
同伴された方にも優しい施設 | 13. 各種ショップ・売店 |
| 4. 鑑賞しやすい椅子や座席配置 | 14. 施設まわりの緑地空間 |
| 5. 外観デザイン | 15. 公共交通機関でのアクセス |
| 6. 内部空間の雰囲気作りやデザイン | 16. 駐車場の整備 |
| 7. 大型トラックが入れる搬入口の確保 | 17. 駐輪場の整備 |
| 8. 楽屋などゆとりある舞台裏 | 18. その他 |
| 9. 音響室、投稿室などの技術室 | () |
| 10. 練習スタジオや録音室などの活動室の充実 | |

※ ホワイエ：劇場・会議室・ホールなどの入口から観客室に至る広い通路空間で、客の待ち合わせ場所、幕間の休憩や歓談、社交の場として使われる。

新しい市民会館に望む設備は、「駐車場の整備」が48.2%と最も多い。他の項目で30%を超えるのは「高齢者や障害のある方、乳幼児を同伴された方にも優しい施設」(34.7%)、「鑑賞しやすい椅子や座席配置」(32.8%)、「レストラン・カフェ等の飲食・喫茶機能」(32.0%)の3項目となっている。

n=1038



その他：「現状でよい」、「経費がかかる」、「小集会室の充実」など

問 20 望ましい市民ホールのタイプや用途

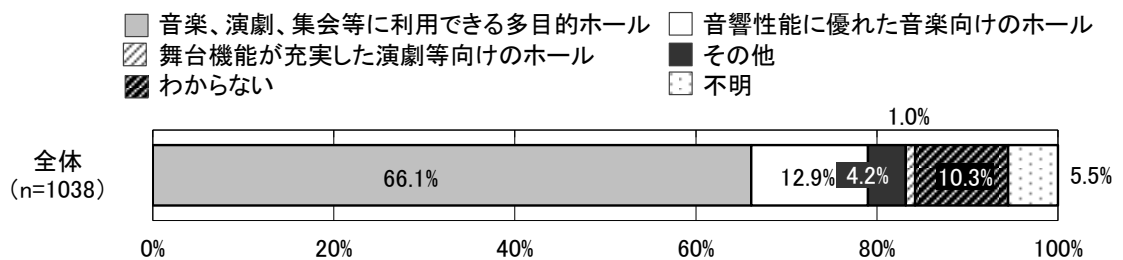
問 20 市民ホールについて、望ましいと思う【タイプ】や【用途】はどのようなものですか？
あてはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。

【タイプ】

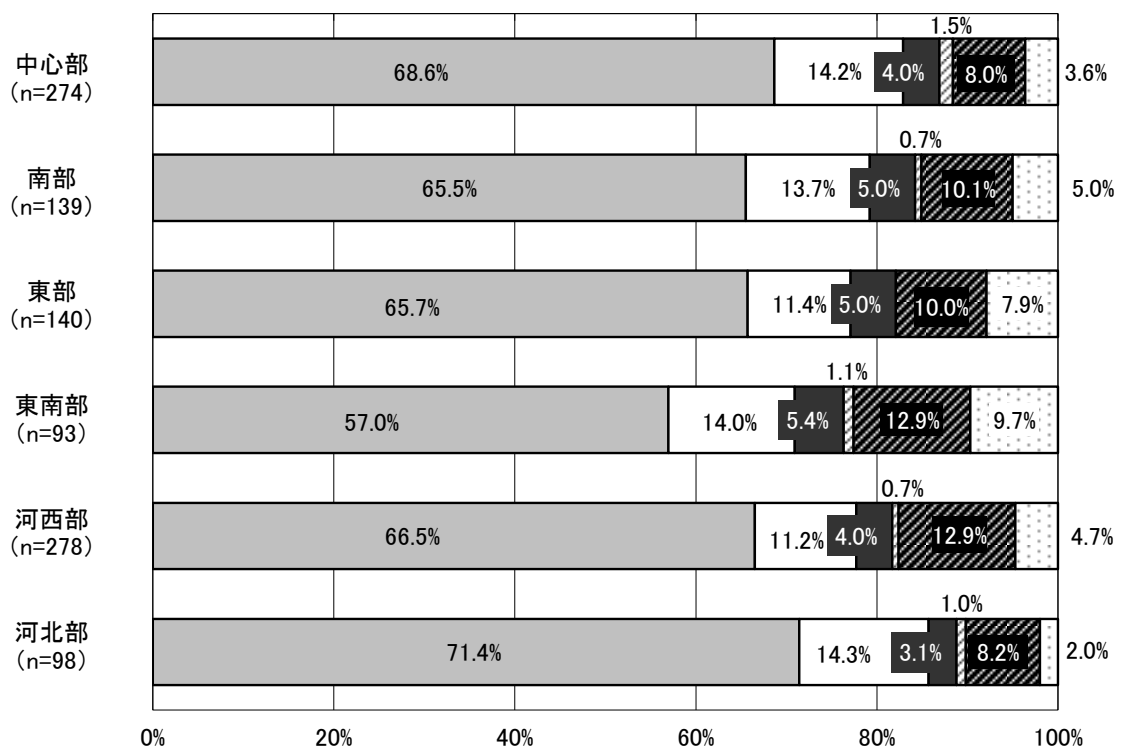
1. 音楽、演劇、集会等に利用できる多目的ホール
2. 音響性能に優れた音楽向けのホール
3. 舞台機能が充実した演劇等向けのホール
4. その他 ()
5. わからない

市民ホールに望ましいと思うタイプは、「音楽、演劇、集会等に利用できる多目的ホール」が 66.1% と多数を占めている。

年代別にみると、望ましいと思うタイプは、いずれの年代も「音楽、演劇、集会等に利用できる多目的ホール」が60%以上と高くなっており、20～29歳では「音響性能に優れた音楽向けのホール」(25.0%)が高めとなっている。



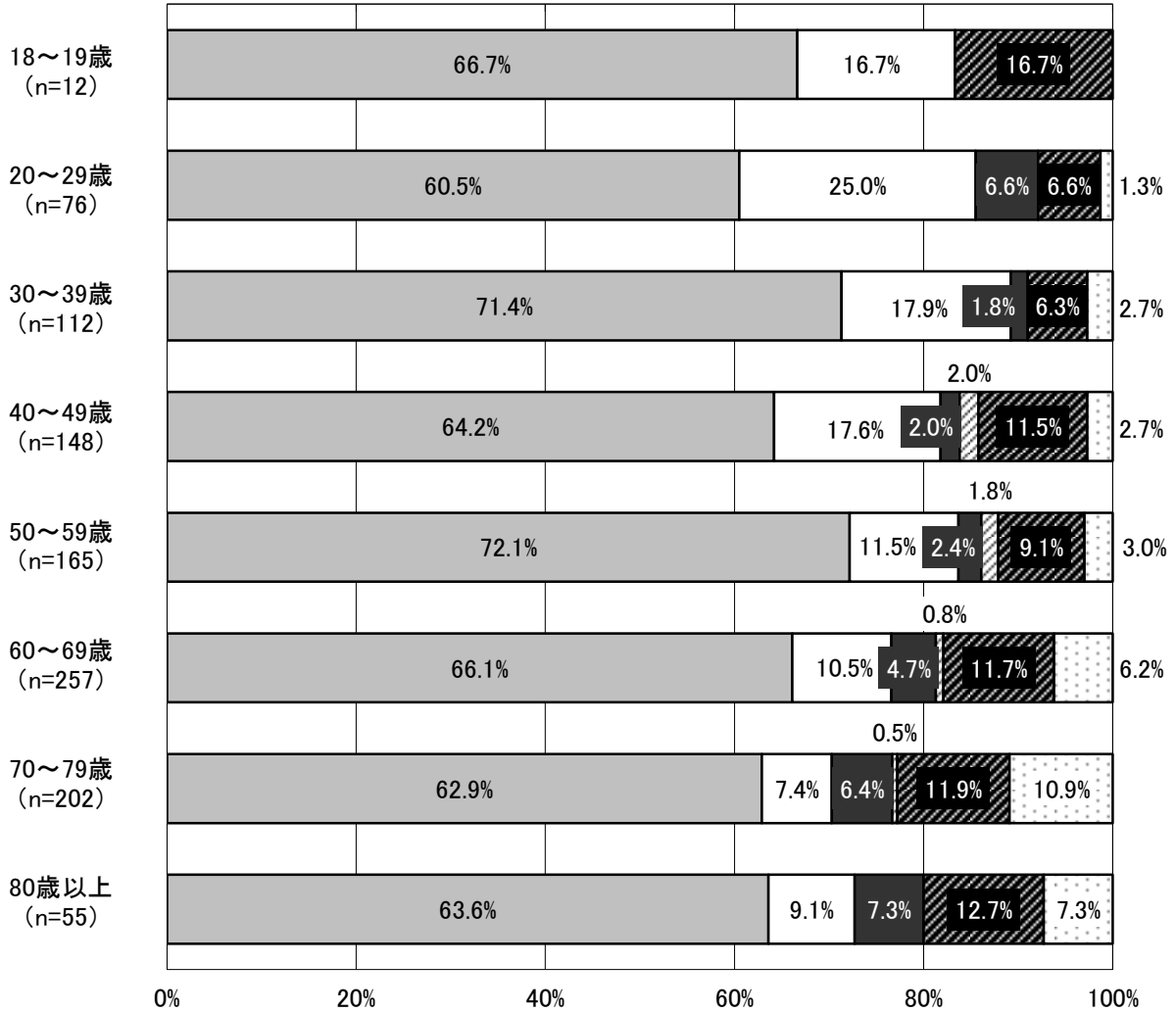
<地域別>



その他：「商業イベントや展示会もできる多目的ホール」、「レストラン他」など

- 音楽、演劇、集会等に利用できる多目的ホール
- 音響性能に優れた音楽向けのホール
- ▨ 舞台機能が充実した演劇等向けのホール
- その他
- わからない
- 不明

<年代別>



問 20 望ましい市民ホールのタイプや用途

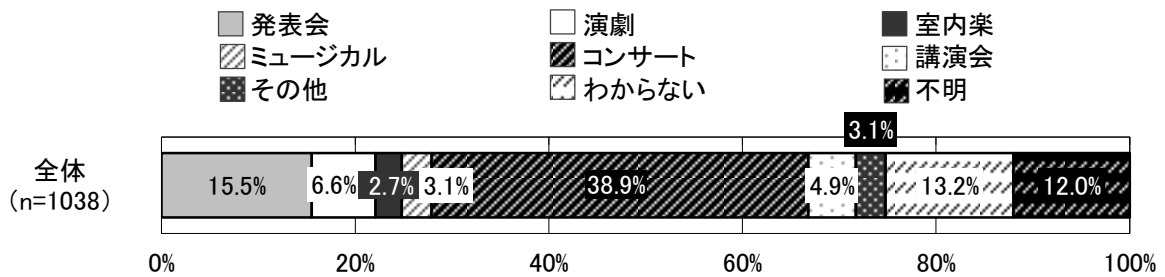
問 20 市民ホールについて、望ましいと思う【タイプ】や【用途】はどのようなものですか？
 あてはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。

【用途】

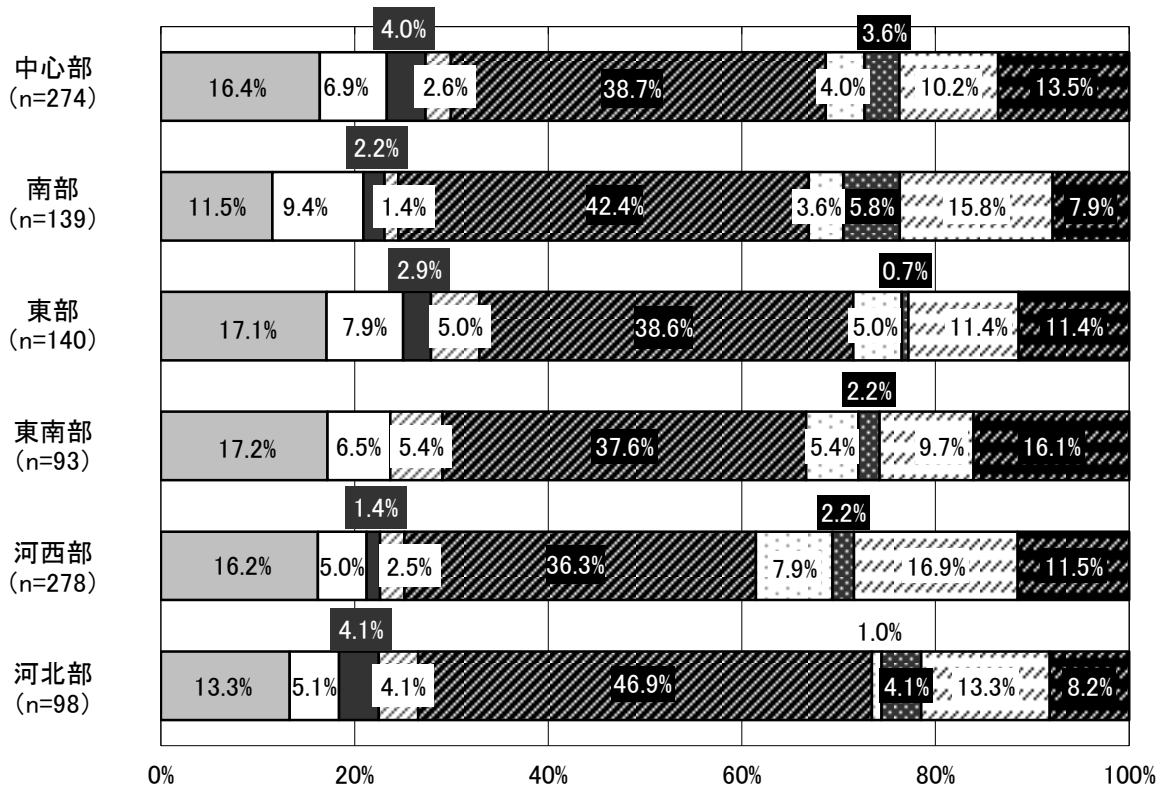
- | | |
|-----------|------------|
| 1. 発表会 | 5. コンサート |
| 2. 演劇 | 6. 講演会 |
| 3. 室内楽 | 7. その他 () |
| 4. ミュージカル | 8. わからない |

市民ホールに望ましいと思う用途は、「コンサート」が38.9%と最も多く、次いで「発表会」(15.5%)となっている。

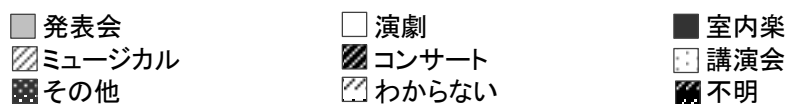
年齢別にみると、29歳以下で「コンサート」が半数を超えている。



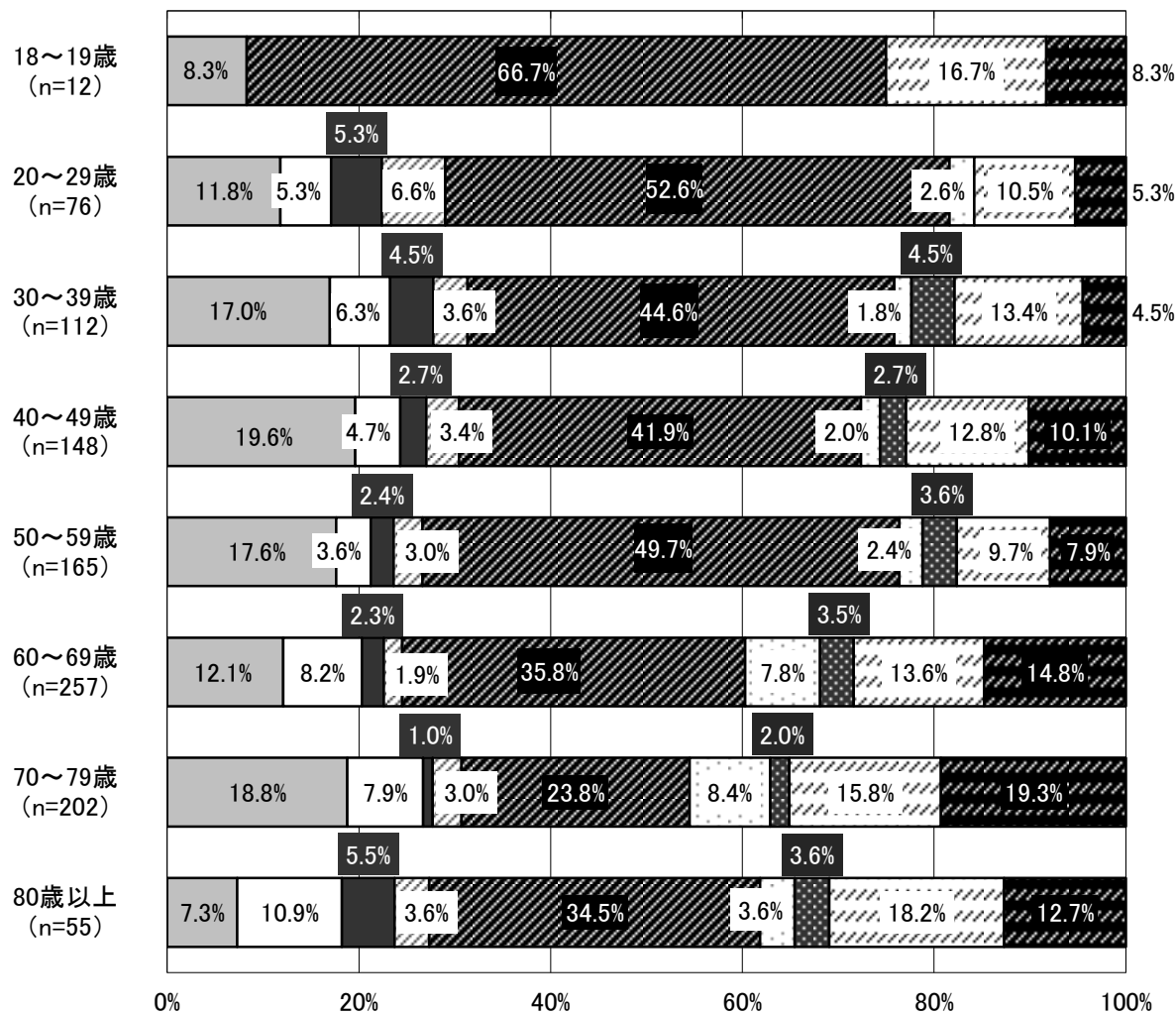
<地域別>



その他：「多目的ホール」、「コンベンション・カンファレンスホール」など



<年代別>



4. 男女共生について

問 21 「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について

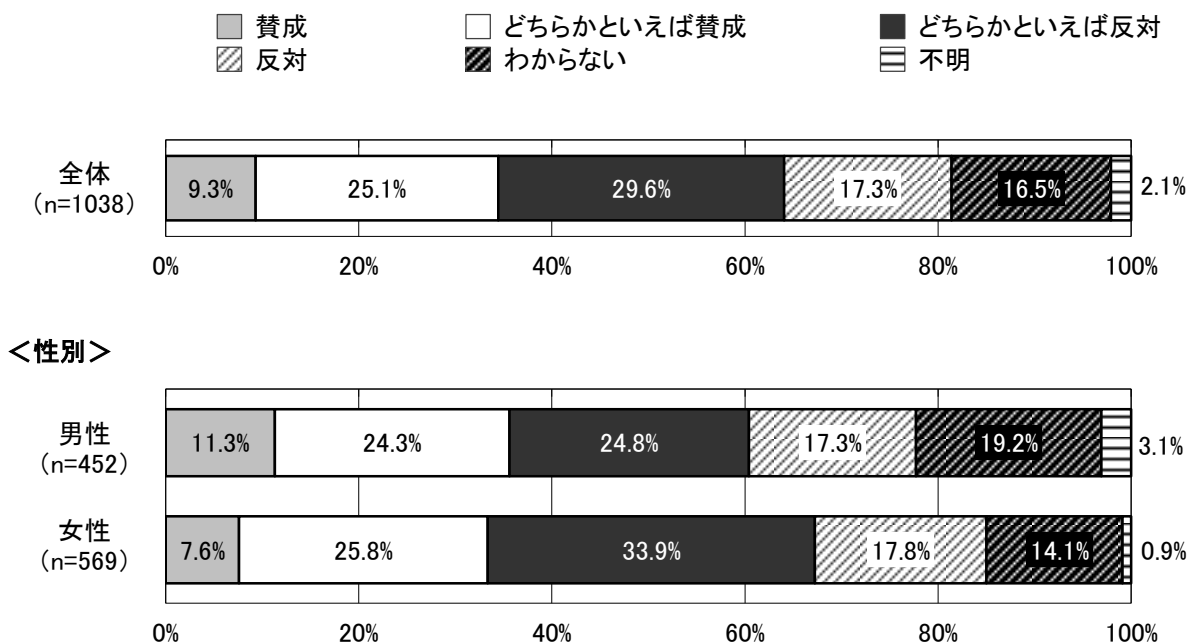
問 21 あなたは、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか？つぎの中から1つお選びください。

- 1. 賛成
- 2. どちらかといえば賛成
- 3. どちらかといえば反対
- 4. 反対
- 5. わからない

「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について、「賛成」(9.3%)、「どちらかといえば賛成」(25.1%)をあわせた賛成計は34.4%、「どちらかといえば反対」(29.6%)、「反対」(17.3%)を合わせた反対計は46.9%となっている。

性別にみると、賛成計は男女で大きな違いはみられないが、反対計は女性(51.7%)が男性(42.1%)を9.6ポイント上回り、男性は「わからない」(19.2%)が高めとなっている。

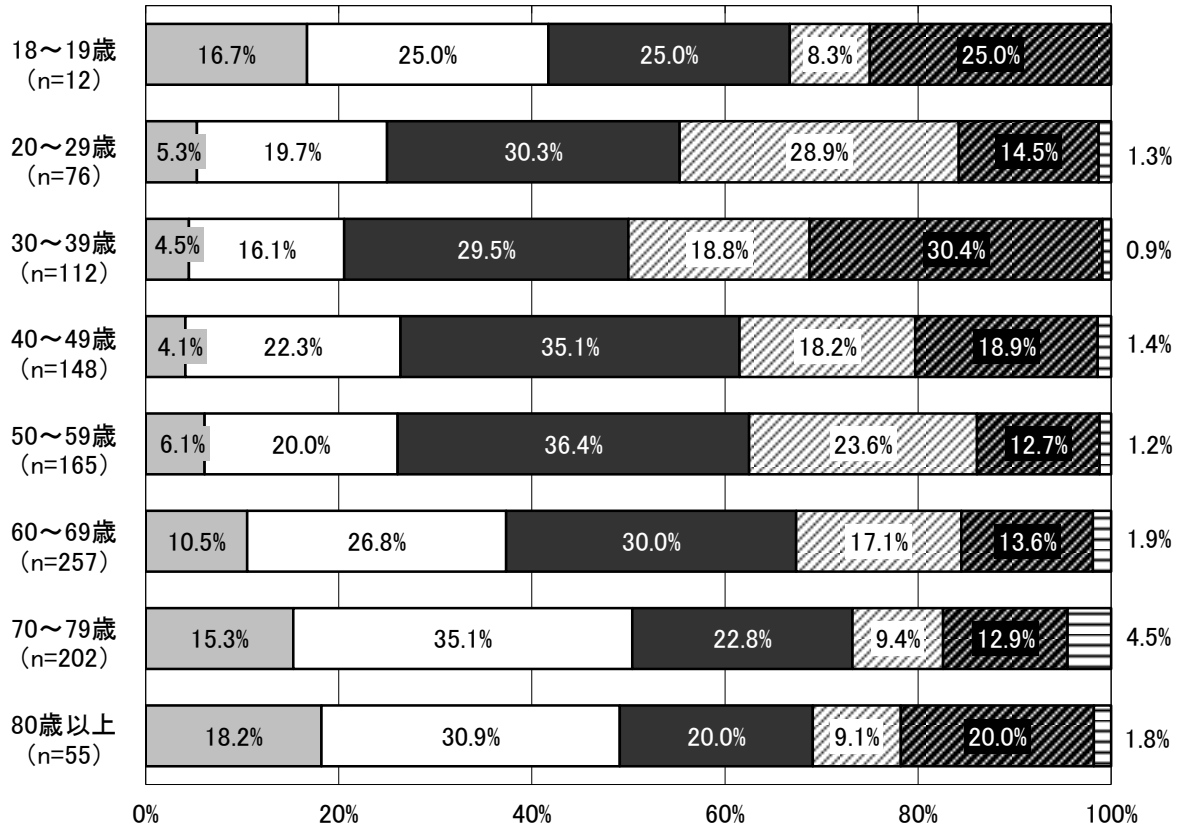
年代別にみると、20歳～69歳は反対計が賛成計を上回るのに対し、70歳以上、18～19歳は賛成計が反対計を上回っている。



賛成
 どちらかといえば賛成
 どちらかといえば反対

反対
 わからない
 不明

<年代別>



5. 人口減少・少子化対策について

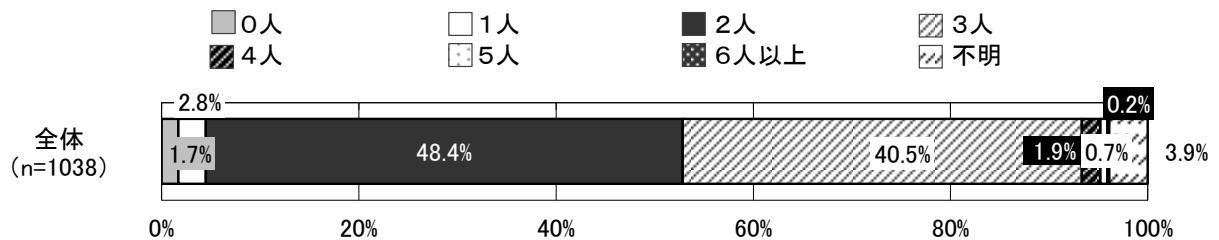
(資料 P. 127)

問 22 理想の子どもの人数

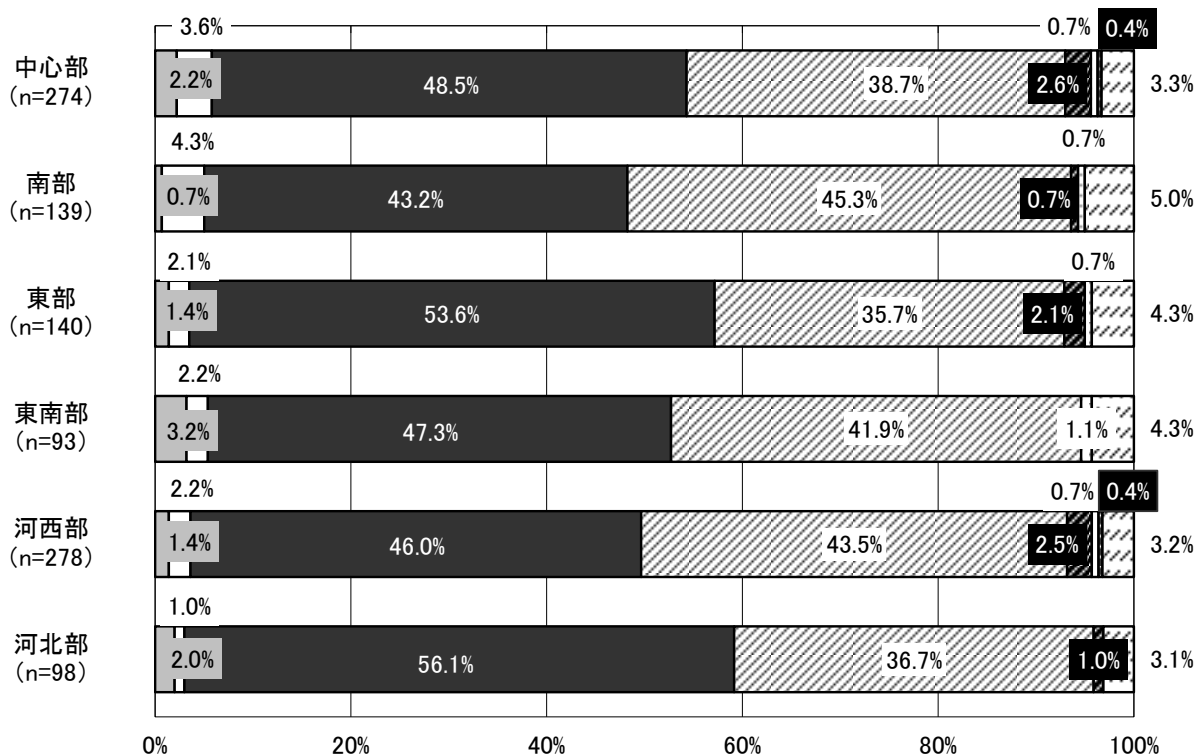
問 22 あなたの理想の子どもの人数は何人ですか？または、何人と考えていましたか？
(実際の出産予定や人数ではなく“理想の”合計人数をお選びください。)

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 3. 2人 | 5. 4人 | 7. 6人以上 |
| 2. 1人 | 4. 3人 | 6. 5人 | |

理想の子どもの人数は「2人」が48.4%と最も多く、次いで「3人」(40.5%)となっている。
年代別にみると、「2人」が59歳以下で半数を超えている。

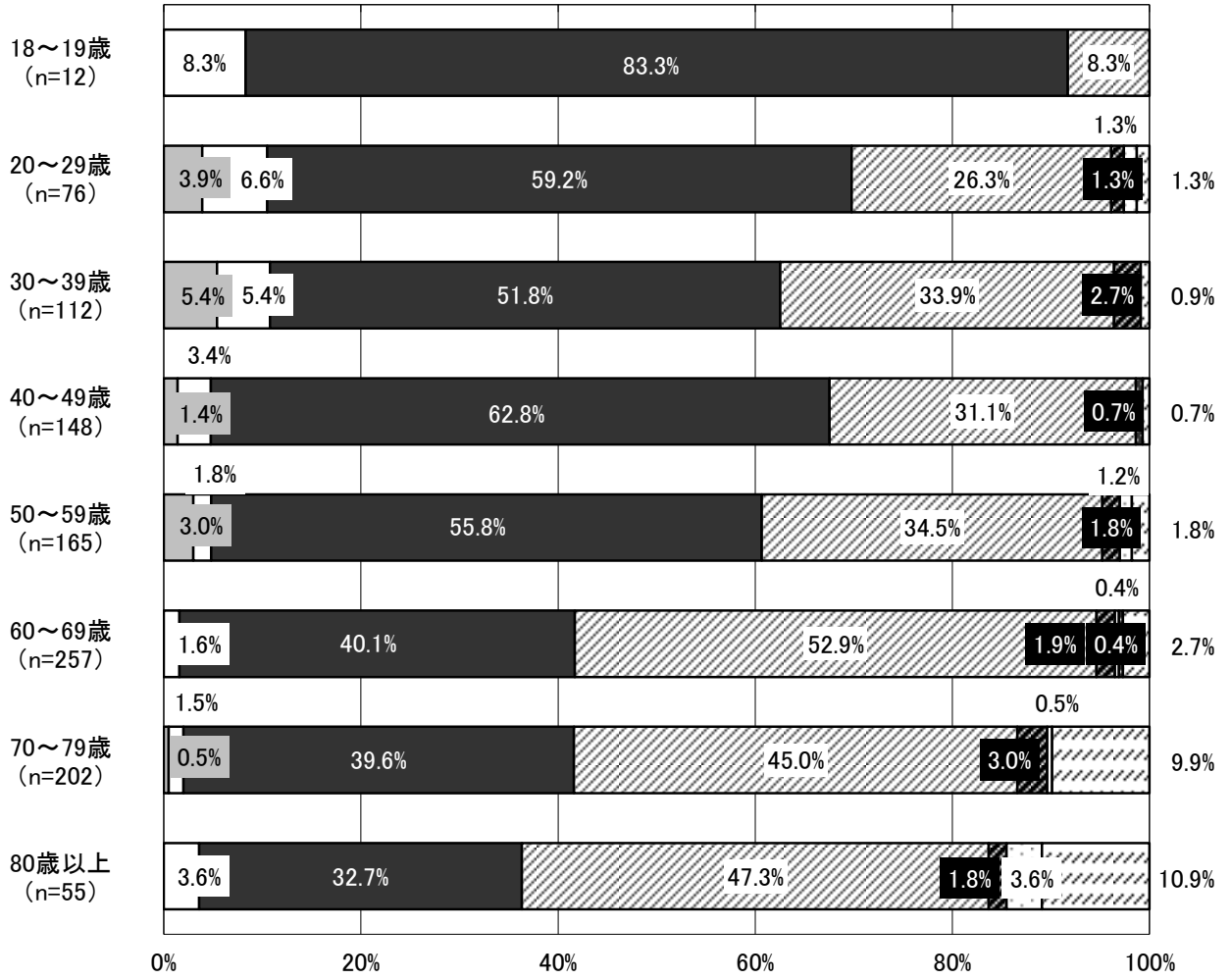


<地域別>





<年代別>



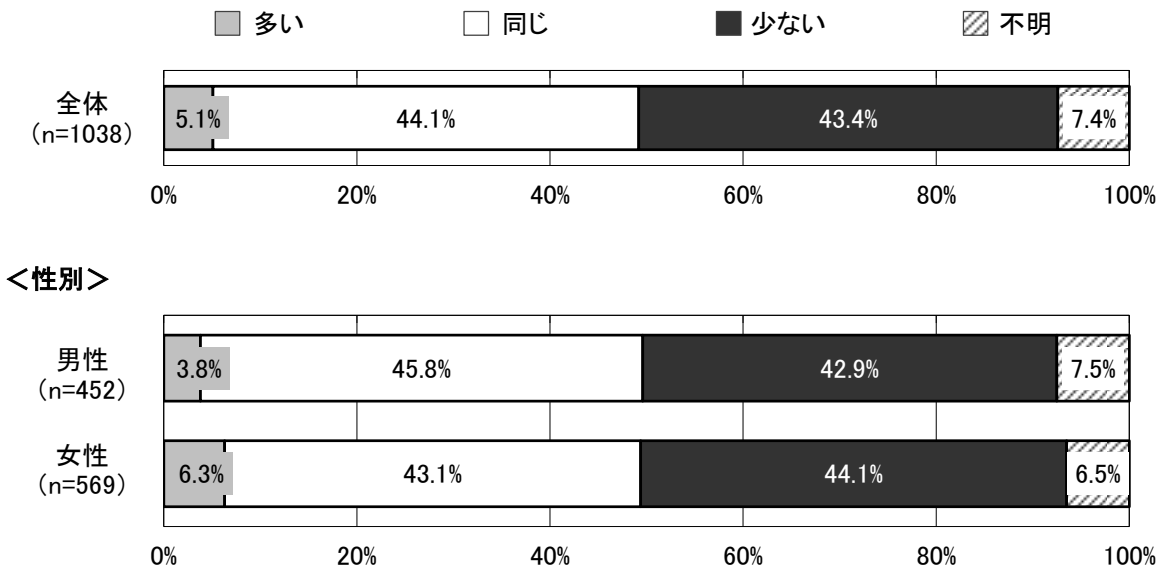
問 23 理想に対する現状の認識

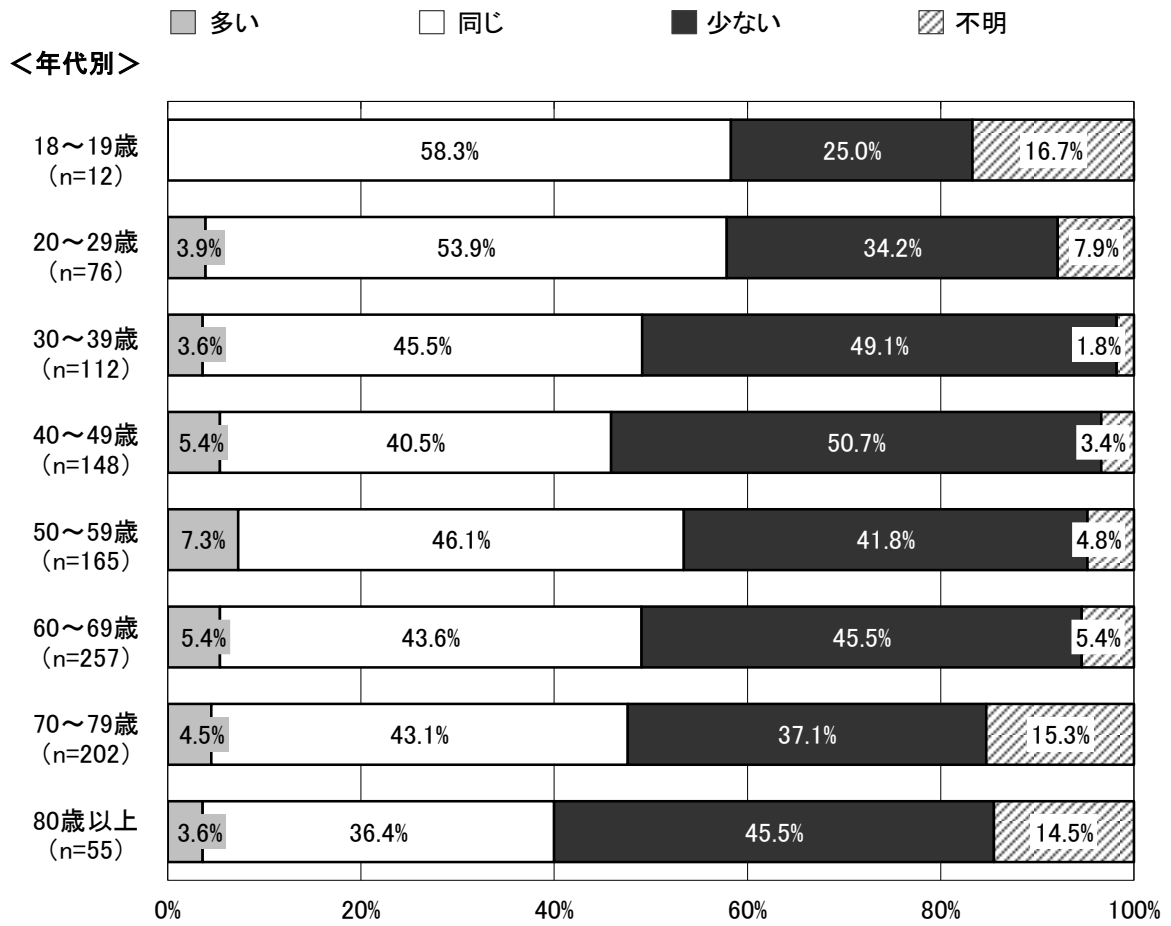
問 23 現実にいらっしゃる子どもの人数、または、持とうと予定されている子どもの人数は理想の人数と比べていかがですか？あてはまるものをお選びください。

1. 多い 2. 同じ 3. 少ない

理想の子どもの人数に対する現実の子どもの人数は、「同じ」(44.1%)と「少ない」(43.4%)がほぼ同率となっている。「多い」は5.1%となっている。

年代別にみると、20～29歳で「同じ」(53.9%)、30～39歳で「少ない」(49.1%)、40～49歳で「少ない」(50.7%)が多数を占めている。





問 24 理想の子ども的人数を持つことへのためらい

問 24 理想の人数の子どもを持つことにためらいを感じますか？または、ためらいを感じたことがありましたか。

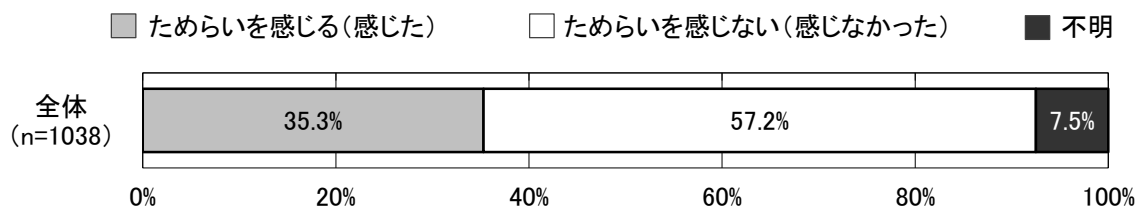
1. ためらいを感じる（感じた）

2. ためらいを感じない（感じなかった）

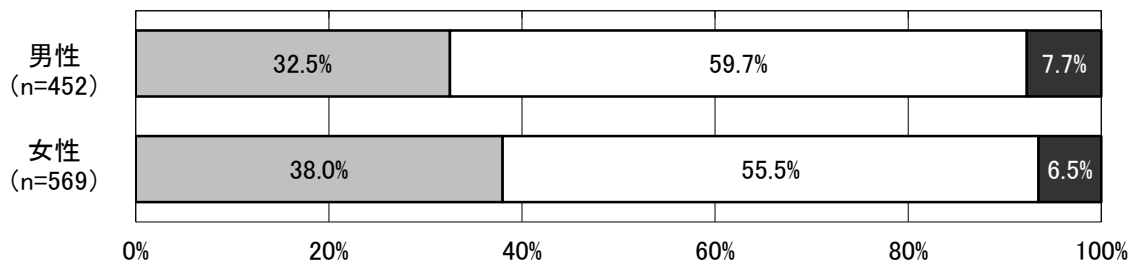
理想の人数の子どもを持つことについて、「ためらいを感じる（感じた）」が 35.3%、「ためらいを感じない（感じなかった）」が 57.2%となっている。

性別にみると、「ためらいを感じる（感じた）」が男性（32.5%）より女性（38.0%）が 5.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、30～39 歳で「ためらいを感じる（感じた）」が最も高く、54.5%と半数を超えている。

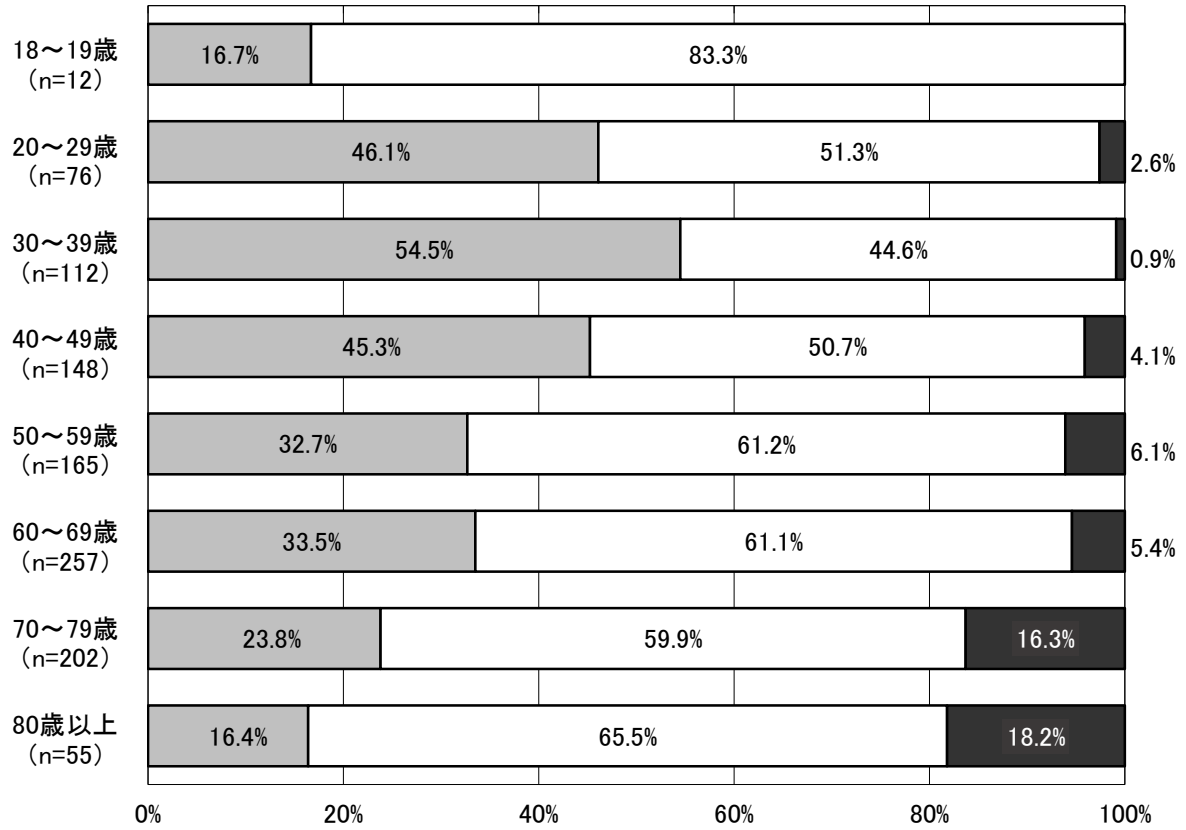


<性別>



■ ためらいを感じる(感じた) □ ためらいを感じない(感じなかった) ■ 不明

<年代別>



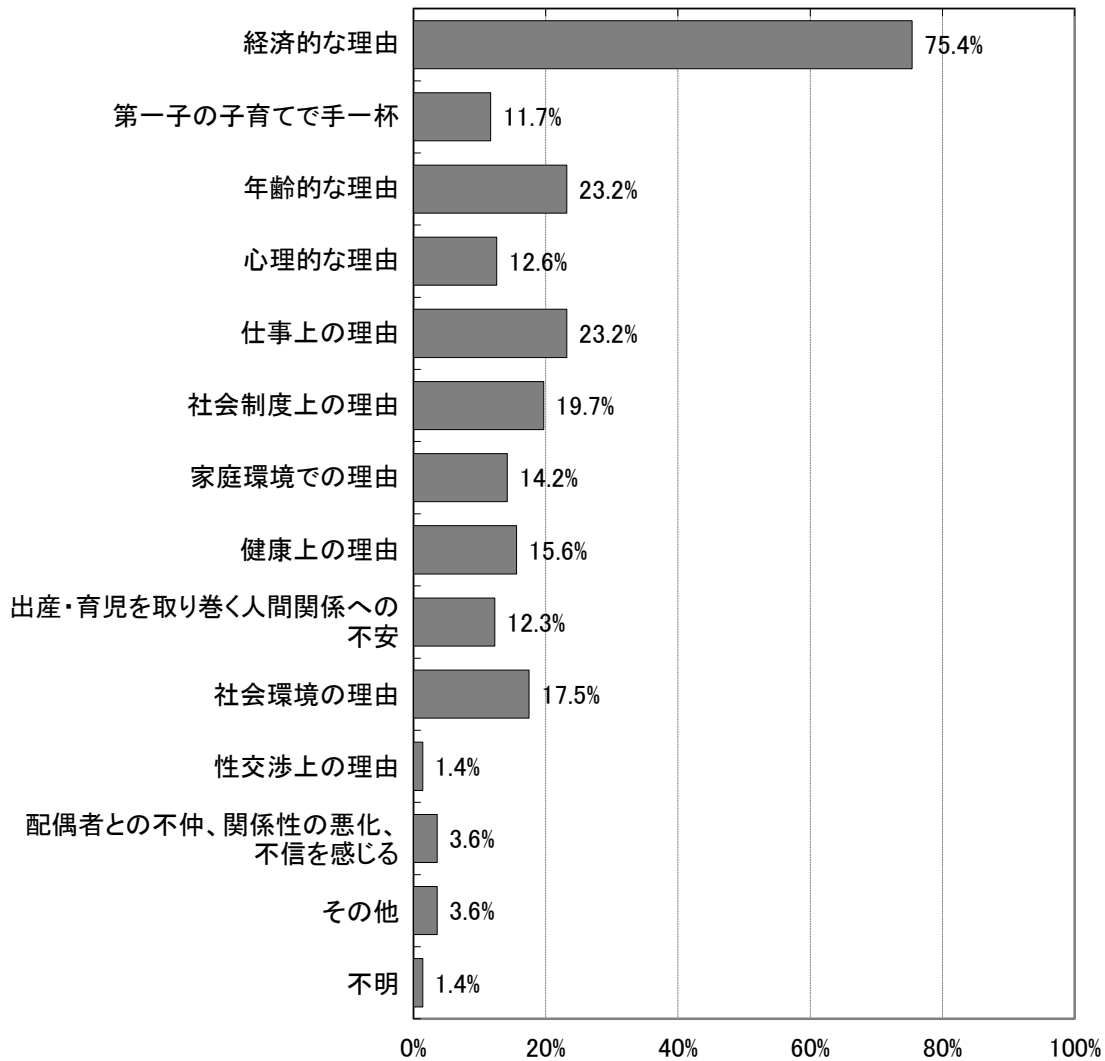
問 24-1 ためらいを感じた理由

問 24-1 問 24 で「1. ためらいを感じる（感じた）」と回答された方のみお答えください。
 ためらいを感じる（感じた）理由や原因としてあてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|----------------|---|
| 1. 経済的な理由 | 8. 健康上の理由 |
| 2. 第一子の子育てで手一杯 | 9. 出産・育児を取り巻く人間関係への不安 |
| 3. 年齢的な理由 | 10. 社会環境の理由 |
| 4. 心理的な理由 | 11. 性交渉上の理由 |
| 5. 仕事上の理由 | 12. 配偶者との不仲、関係性の悪化、不信を感じる |
| 6. 社会制度上の理由 | 13. その他（ ） |
| 7. 家庭環境での理由 | |

問 24 で「1. ためらいを感じる（感じた）」と回答した 366 人について、ためらいを感じた理由は、「経済的な理由」が 75.4%と最も多い。他の項目で 20%を超えるのは、「年齢的な理由」（23.2%）、「仕事上の理由」（23.2%）の 2 項目となっている。

n=366



その他：「保育園の制度」、「介護」、「中学校まで医療費と学費が無料などの制度があれば産みやすい」など

問 25 少子化対策に必要な取り組み

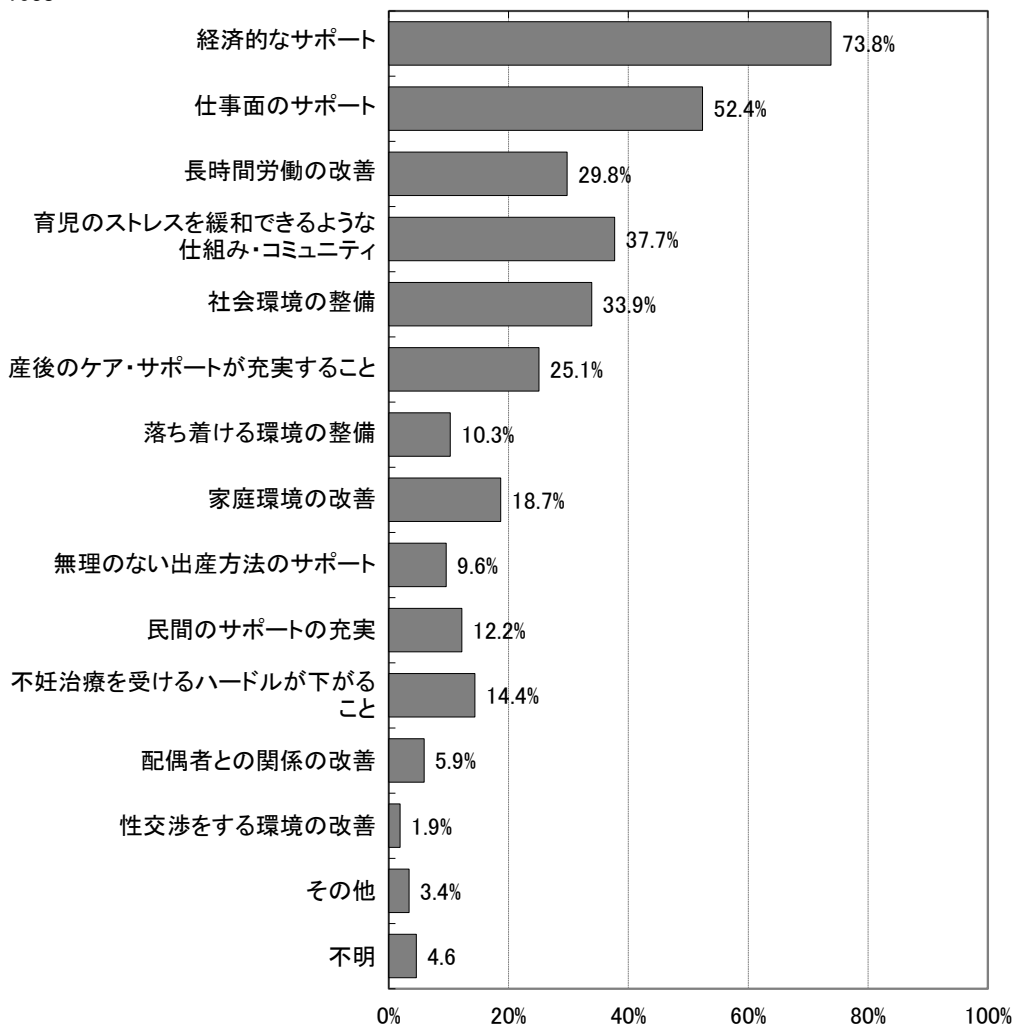
問 25 少子化対策として、どのような取り組みが必要と考えますか？

あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 経済的なサポート | 8. 家庭環境の改善 |
| 2. 仕事面のサポート | 9. 無理のない出産方法のサポート |
| 3. 長時間労働の改善 | 10. 民間のサポートの充実 |
| 4. 育児のストレスを緩和できるような
仕組み・コミュニティ | 11. 不妊治療を受けるハードルが下がること |
| 5. 社会環境の整備 | 12. 配偶者との関係の改善 |
| 6. 産後のケア・サポートが充実すること | 13. 性交渉をする環境の改善 |
| 7. 落ち着ける環境の整備 | 14. その他 () |

少子化対策として望む取り組みは、「経済的なサポート」が 73.8%と最も多く、次いで「仕事面のサポート」(52.4%)となっている。他の項目で 20%を超えるのは、「育児のストレスを緩和できるような仕組み・コミュニティ」(37.7%)、「社会環境の整備」(33.9%)、「長時間労働の改善」(29.8%)、「産後のケア・サポートが充実すること」(25.1%) の 4 項目となっている。

n=1038



その他：「長時間保育、学童保育の充実」、「託児施設の充実」、「積極的な婚活支援や保育支援を実施する」、「景気回復」、「人口流出させない」、「和歌山の活性化」など

6. 災害や防犯対策について

問 26 災害への備え

問 26 あなたは現在、災害に対し、備えを行っていますか？

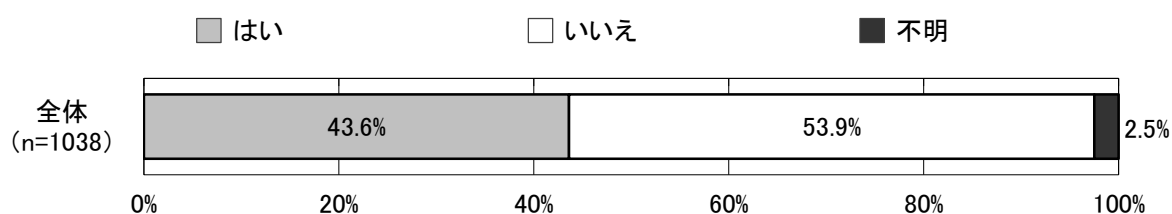
1. はい

2. いいえ

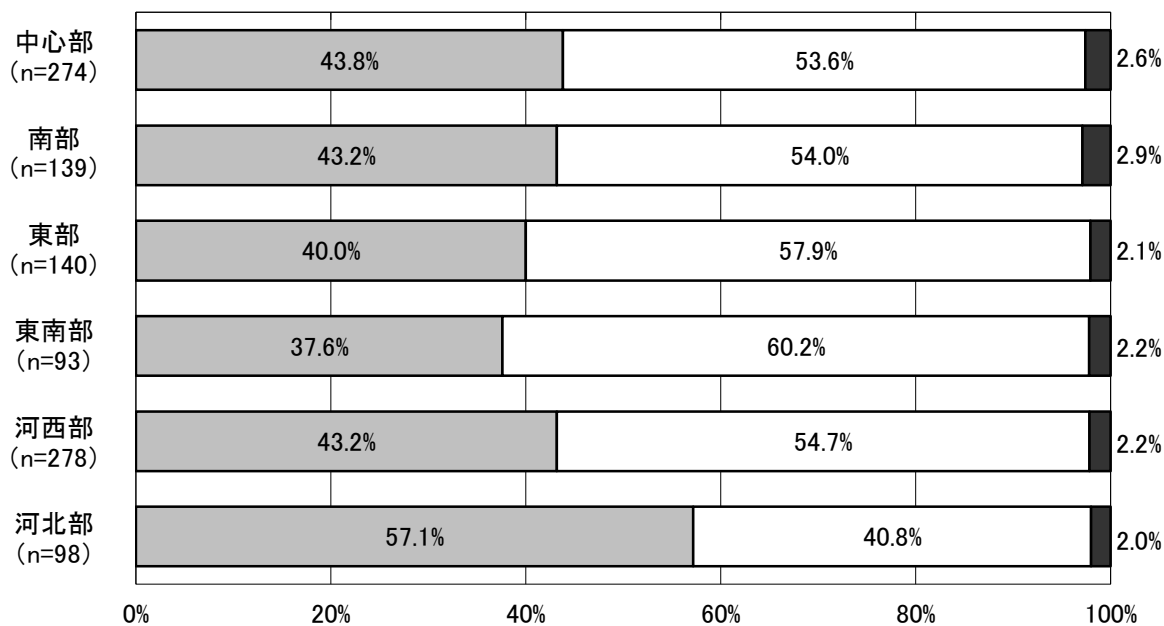
災害に対する備えの実施は、「いいえ」が53.9%となっており、「はい」(43.6%)を上回る。

地域別にみると、実施率は河北部(57.1%)が最も高く、他の地域は半数を下回っている。

年代別にみると、実施率は40~49歳(50.0%)が最も高い。20~29歳は最も実施率が低く、28.9%となっている。

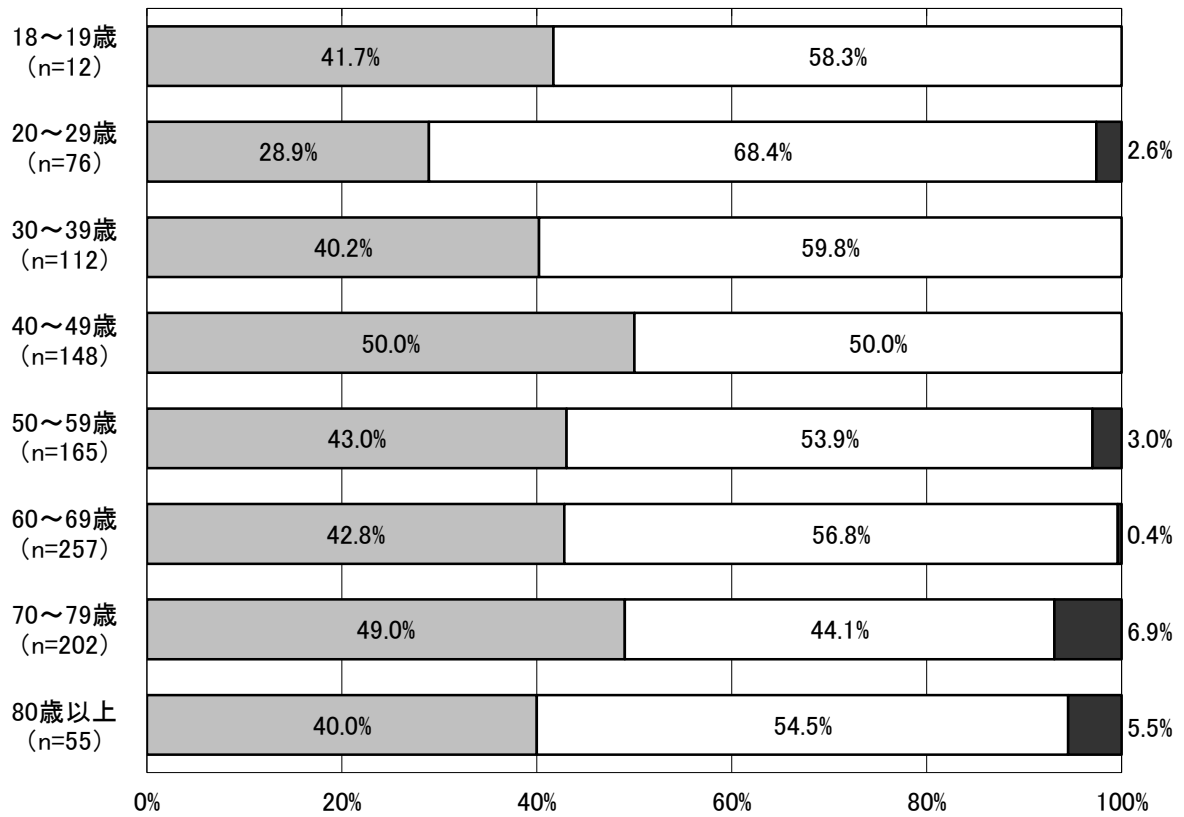


<地域別>



■ はい □ いいえ ■ 不明

<年代別>



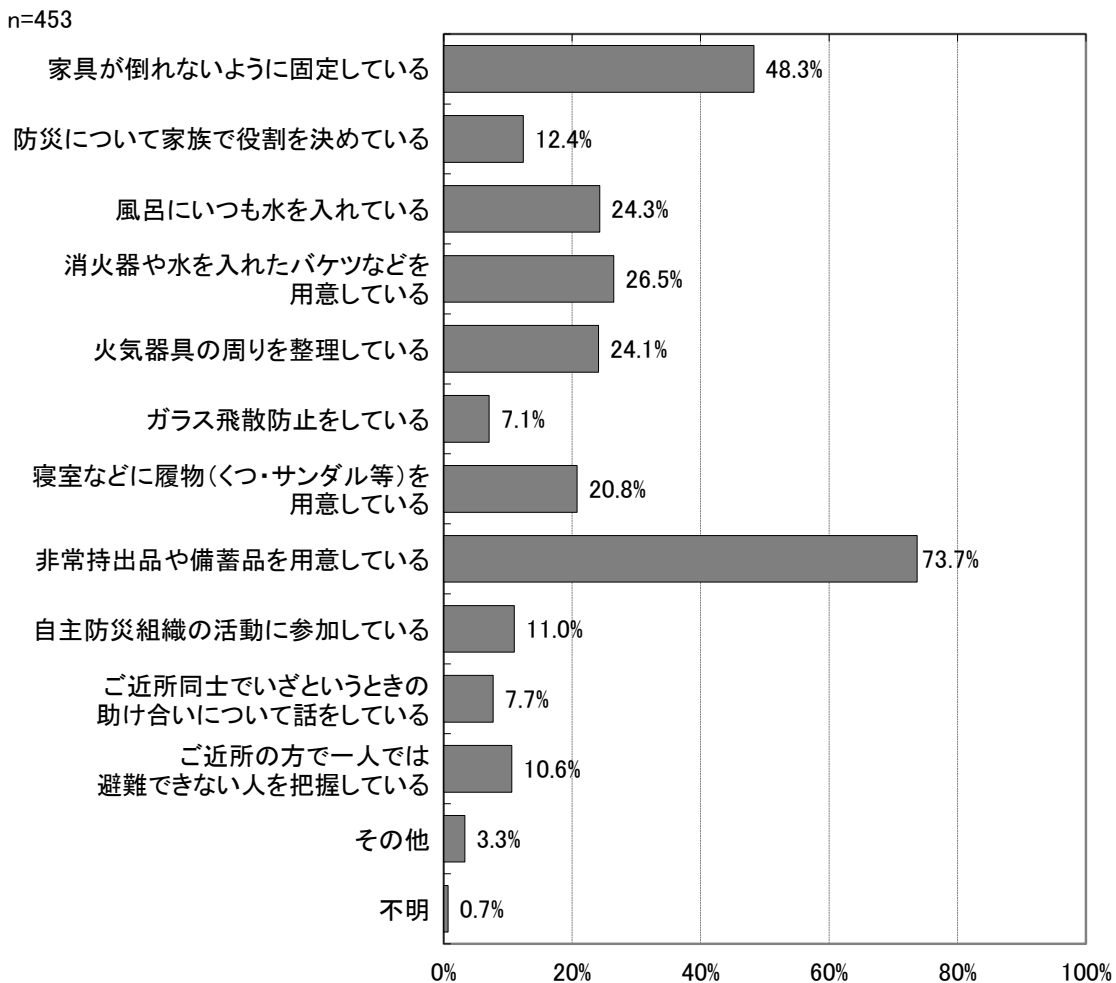
問 26-1 災害に備えていること

問 26-1 問 26 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 家具が倒れないように固定している | 8. 非常持出品や備蓄品を用意している |
| 2. 防災について家族で役割を決めている | 9. 自主防災組織の活動に参加している |
| 3. 風呂にいつも水を入れている | 10. ご近所同士でいざというときの
助け合いについて話をしている |
| 4. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している | 11. ご近所の方で一人では
避難できない人を把握している |
| 5. 火気器具の周りを整理している | |
| 6. ガラス飛散防止をしている | |
| 7. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）
を用意している | 12. その他（ ） |

問 26 で「1. はい」と回答した 453 人について、災害に備えていることは、「非常持出品や備蓄品を用意している」が 73.7%と最も高く、次いで「家具が倒れないように固定している」(48.3%)、「消火器や水を入れたバケツなどを用意している」(26.5%)、「風呂にいつも水を入れている」(24.3%)、「火気器具の周りを整理している」(24.1%)、「寝室などに履物(くつ・サンダル等)を用意している」(20.8%)の順となっている。



その他：「避難場所の確認」、「倒れてきそうな大型家具は必要最低限にしている」、「上に物を積み上げない」など

問 27 避難場所の認知度

問 27 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

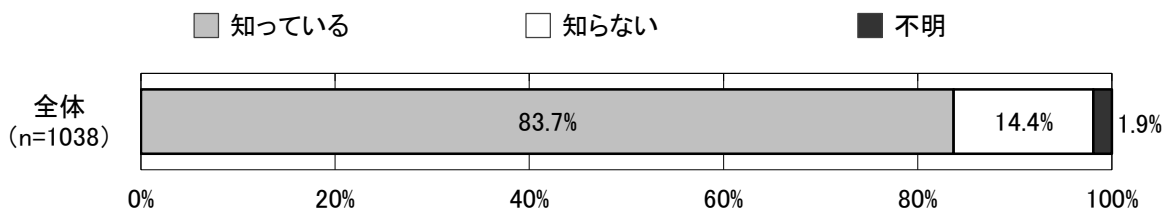
1. 知っている

2. 知らない

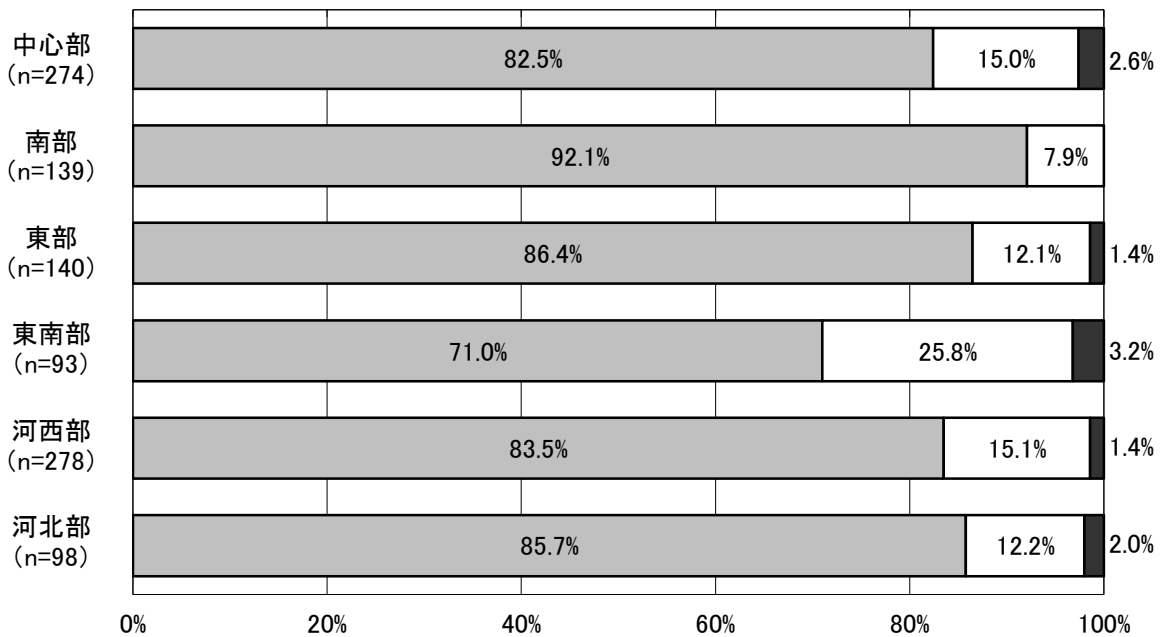
避難場所について、「知っている」が 83.7%、「知らない」が 14.4%となっている。

地域別にみると、認知率が最も高いのは南部で 92.1%、最も低いのは東南部で 71.0%となっている。

年代別にみると、39 歳以下で認知率が 8 割を下回っている。

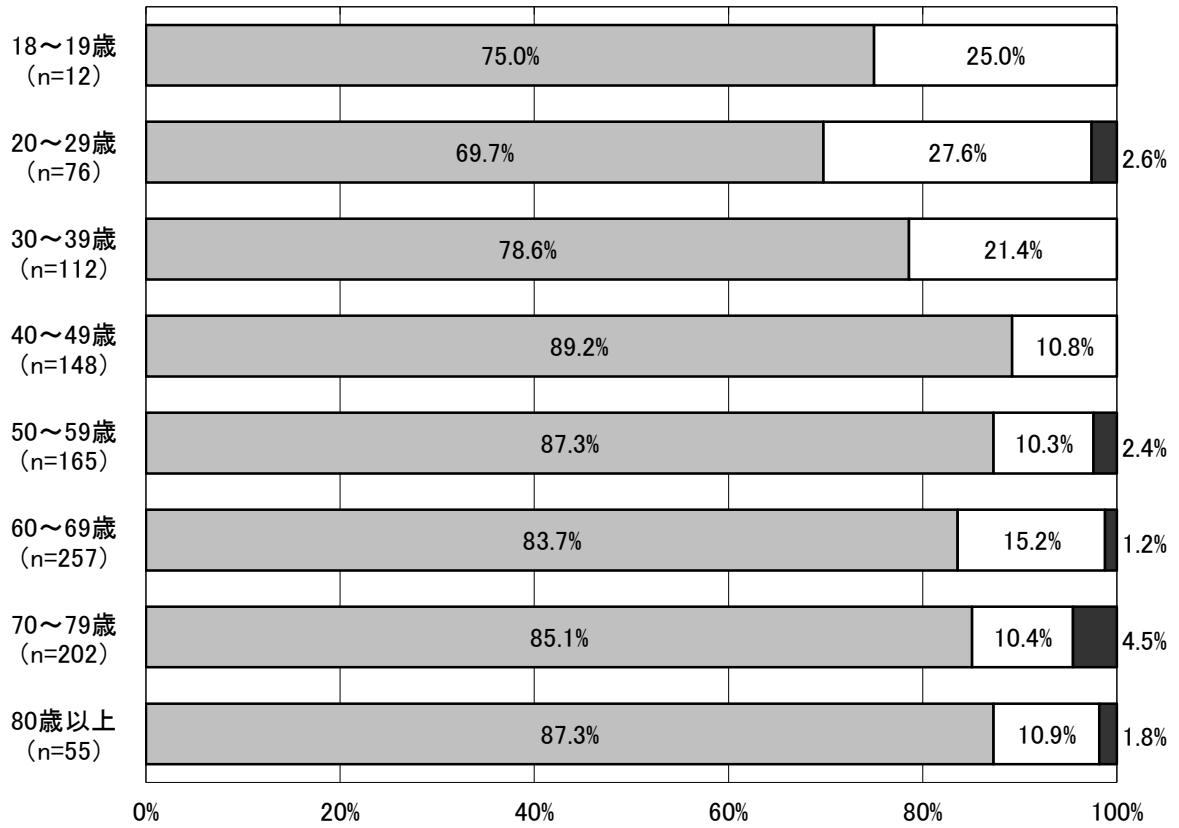


<地域別>



■ 知っている □ 知らない ■ 不明

<年代別>



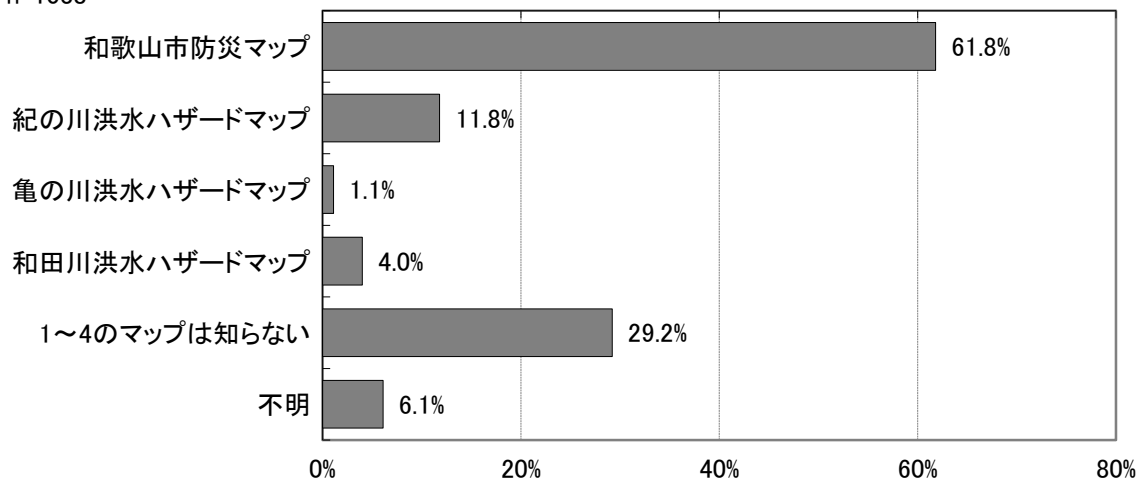
問 28 ハザードマップの認知度

問 28 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？
あてはまるものをすべてお選びください。

1. 和歌山市防災マップ
2. 紀の川洪水ハザードマップ
3. 亀の川洪水ハザードマップ
4. 和田川洪水ハザードマップ
5. 1～4のマップは知らない

ハザードマップの認知度は、「和歌山市防災マップ」が 61.8%と最も多い。「1～4 のマップは知らない」は 29.2%となっている。

n=1038

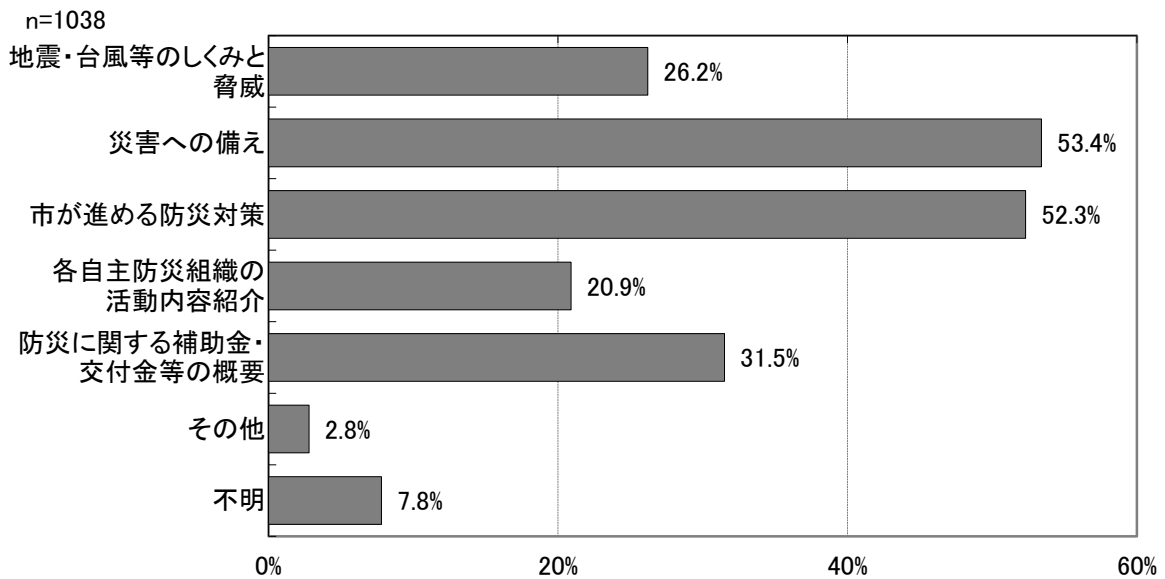


問 29 掲載してほしい防災情報

問 29 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 地震・台風等のしくみと脅威 | 4. 各自主防災組織の活動内容紹介 |
| 2. 災害への備え | 5. 防災に関する補助金・交付金等の概要 |
| 3. 市が進める防災対策 | 6. その他 () |

掲載してほしい防災情報は、「災害への備え」(53.4%)、「市が進める防災対策」(52.3%)が半数を超えている。「防災に関する補助金・交付金等の概要」(31.5%)も高めとなっている。



その他:「ホームページを見ることができない」、「市報わかやまが届いていない」、「避難場所の表示」、「どこへ避難したらどういふ備えがあるか」、「医療関係の防災対策や訓練の様子」など

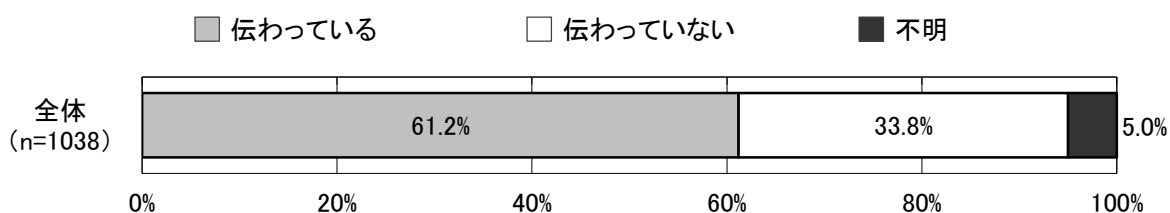
問 30 防災行政無線からの情報伝達

問 30 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？。

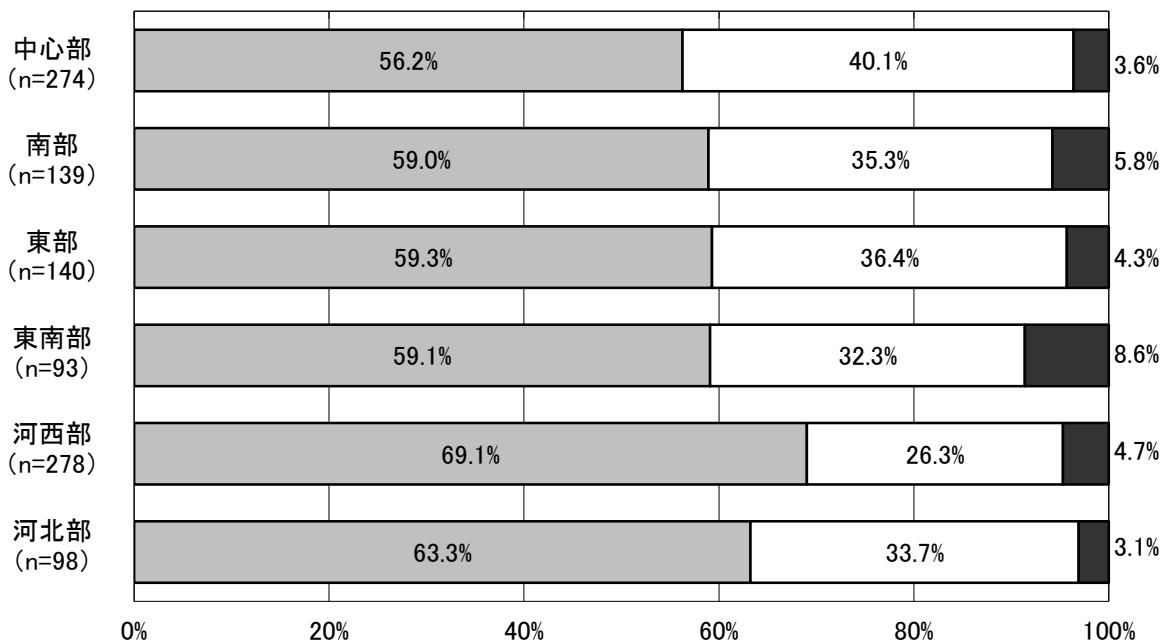
1. 伝わっている
2. 伝わっていない【理由： 】

防災行政無線からの情報伝達は、「伝わっている」が61.2%、「伝わっていない」は33.8%となっている。

地域別にみると、いずれの地域も「伝わっている」が半数以上となっている。「伝わっていない」は中心部で40.1%と高めとなっている。



<地域別>



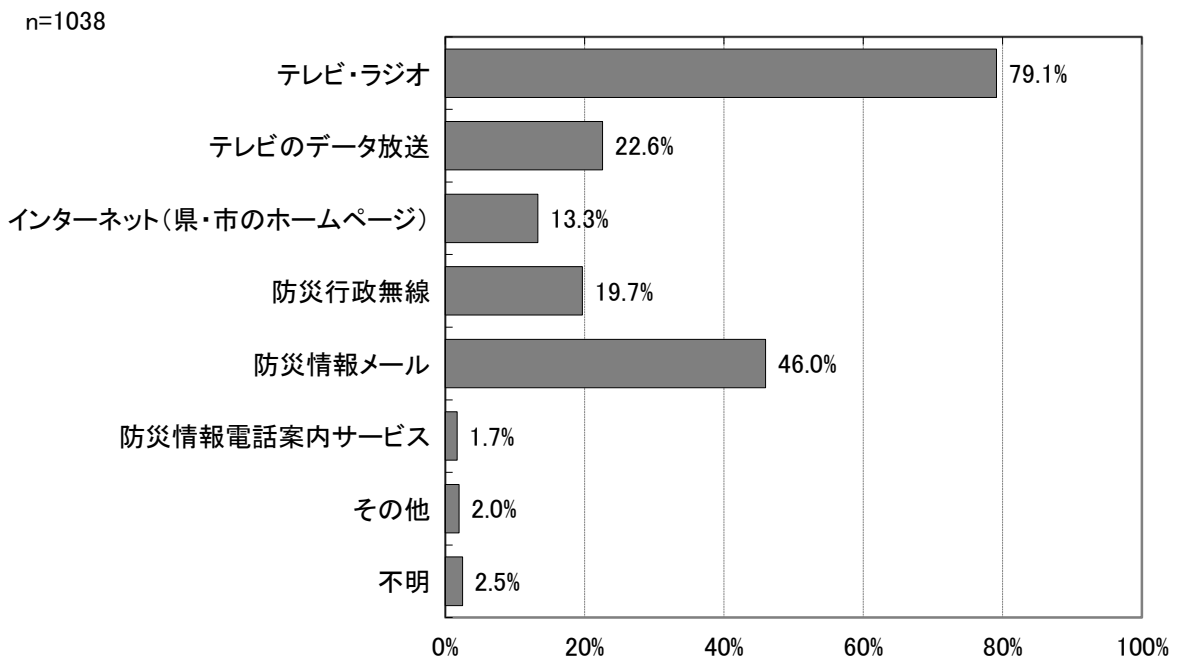
理由：「音量が小さい」、「音が割れて聞こえにくい」、「室内にいと聞こえない」、「存在していることも知らなかった」、「スピーカーが設置されていない」など

問 31 災害時の情報源

問 31 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 5. 防災情報メール |
| 2. テレビのデータ放送 | 6. 防災情報電話案内サービス |
| 3. インターネット(県・市のホームページ) | 7. その他 () |
| 4. 防災行政無線 | |

災害時の情報源は「テレビ・ラジオ」が79.1%と最も高く、次いで「防災情報メール」(46.0%)、「テレビのデータ放送」(22.6%)、「防災行政無線」(19.7%)の順となっている。



その他：「スマートフォン・携帯」、「アプリケーション」、「地域の放送」、「緊急地震速報」など

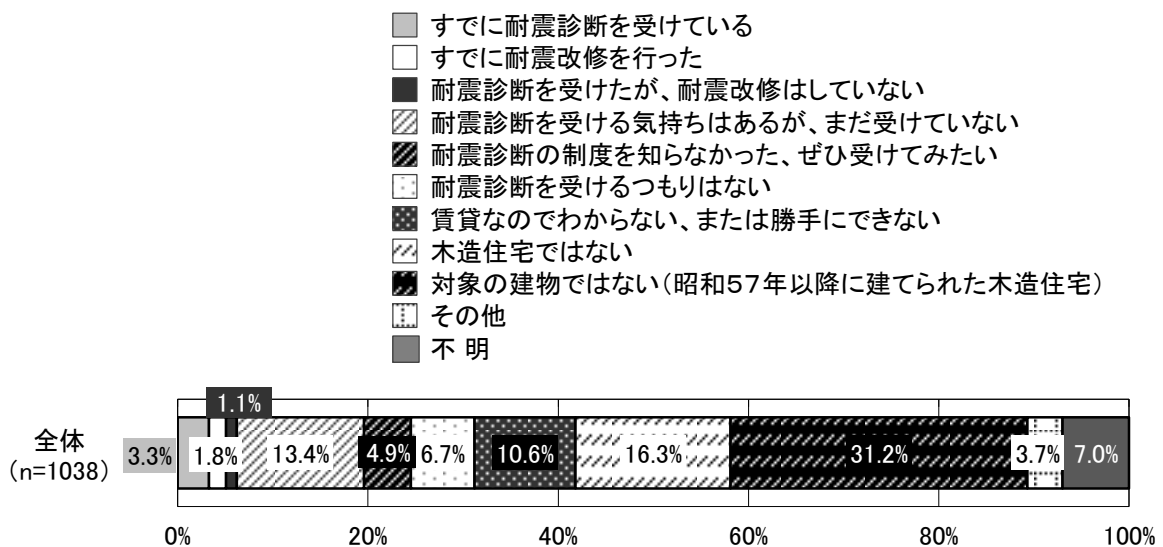
問 32 木造住宅耐震診断の受診状況

問 32 和歌山市では昭和 56 年（1981 年）以前に建てられた木造住宅に、無料で木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断をする制度があります。お住まいの耐震診断についてお答えください。

1. すでに耐震診断を受けている
2. すでに耐震改修を行った
3. 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
4. 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
5. 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
6. 耐震診断を受けるつもりはない
7. 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
8. 木造住宅ではない
9. 対象の建物ではない（昭和 57 年以降に建てられた木造住宅である）
10. その他（ ）

木造住宅耐震診断の受診状況は「対象の建物ではない（昭和 57 年以降に建てられた木造住宅）」（31.2%）、「木造住宅ではない」（16.3%）など対象外を除くと、「耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない」が 13.4%、「賃貸なのでわからない、または勝手にできない」が 10.6%となっている。

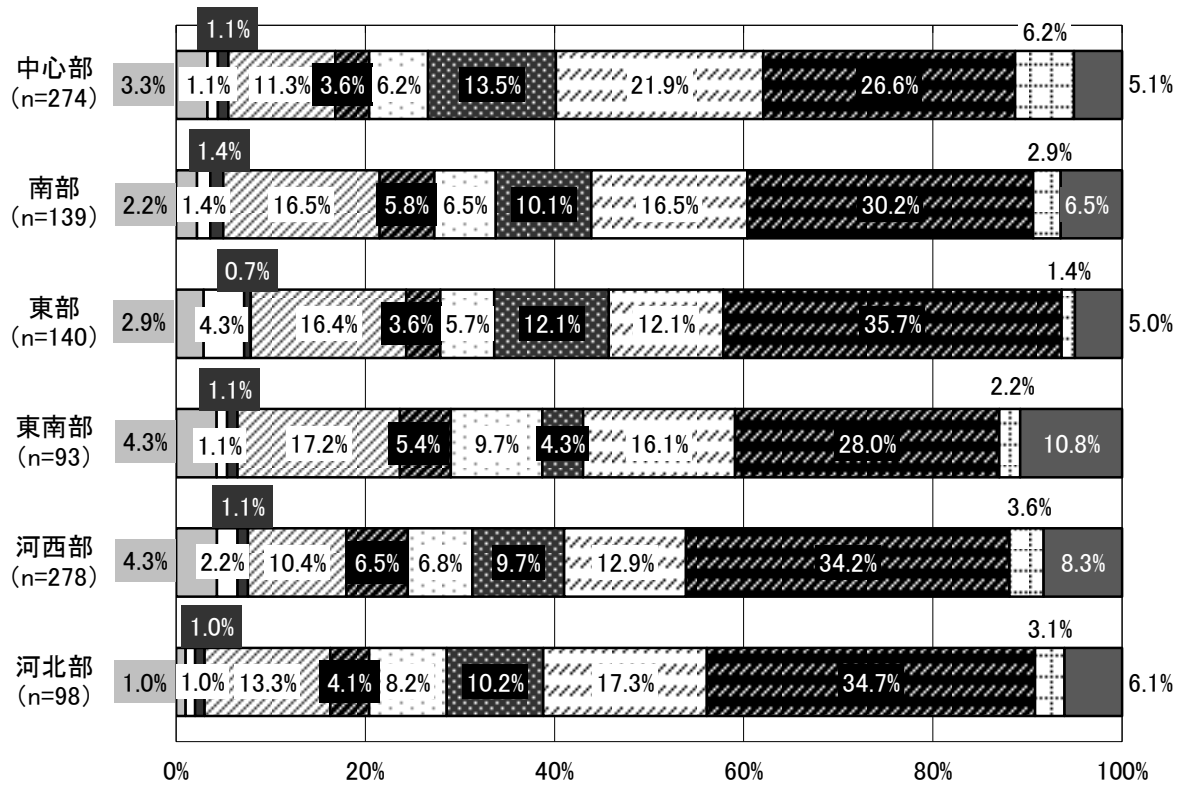
地域別にみると、「耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない」は東南部で 17.2%、「賃貸なのでわからない、または勝手にできない」は中心部で 13.5%と、他の地域より高めとなっている。



その他：「集合住宅だから」、「県営住宅だから」、「所有者ではないから」、「新築だから」、「知らなかった」、「分からない」など

- すでに耐震診断を受けている
- すでに耐震改修を行った
- 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
- ▨ 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
- ▩ 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
- ▧ 耐震診断を受けるつもりはない
- 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
- ▨ 木造住宅ではない
- 対象の建物ではない(昭和57年以降に建てられた木造住宅)
- ▨ その他
- 不明

<地域別>

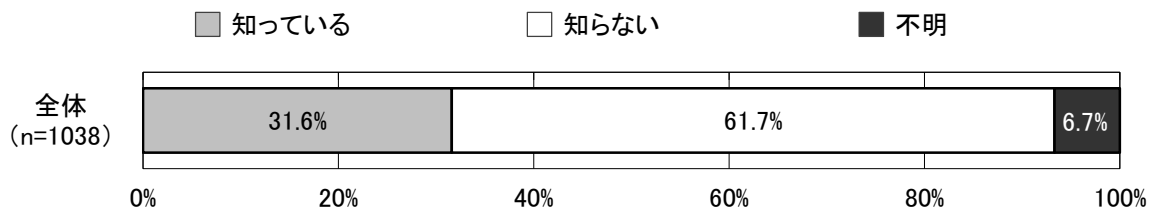


問 33 耐震改修費補助制度の認知

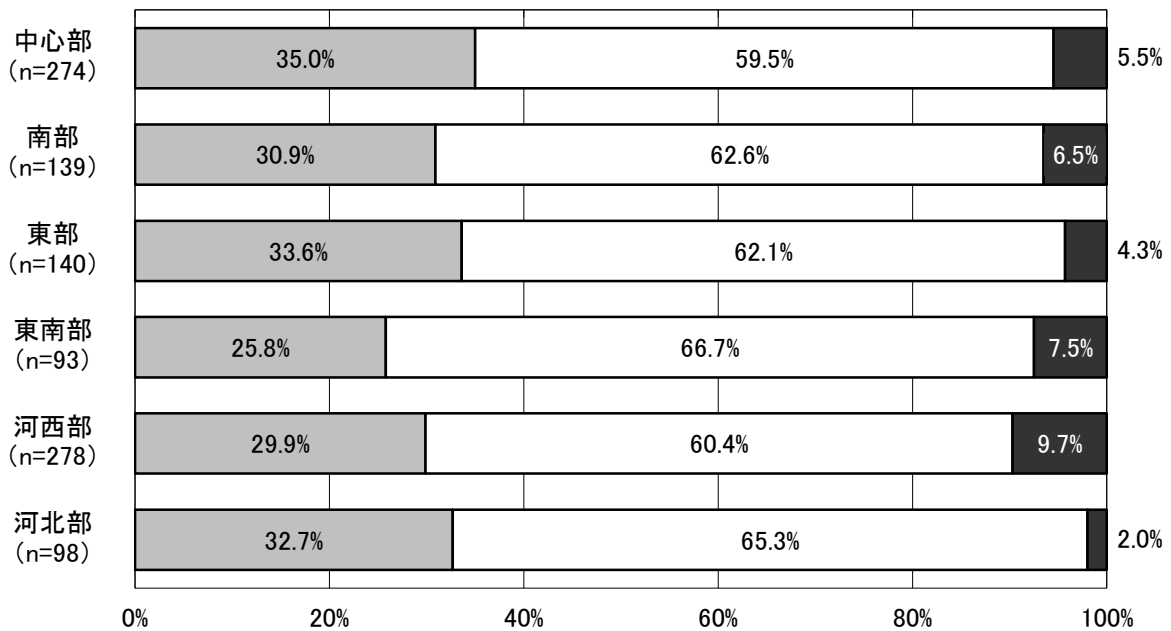
問 33 耐震診断の結果、耐震性が低いと判定された戸建て住宅、長屋及び共同住宅について、基準を満たす耐震改修を行った場合、耐震改修費（設計・工事・リフォーム）の一部を補助する制度があるのを知っていますか？

1. 知っている 2. 知らない

耐震改修費補助制度の認知状況は、「知っている」が31.6%、「知らない」が61.7%となっている。地域別にみると、中心部の認知率が最も高く、35.0%となっている。



<地域別>



問 34 「住宅用火災警報器」の設置について

問 34 あなたは、ご自宅に「住宅用火災警報器」（煙式・熱式）を設置していますか？

1. 設置している

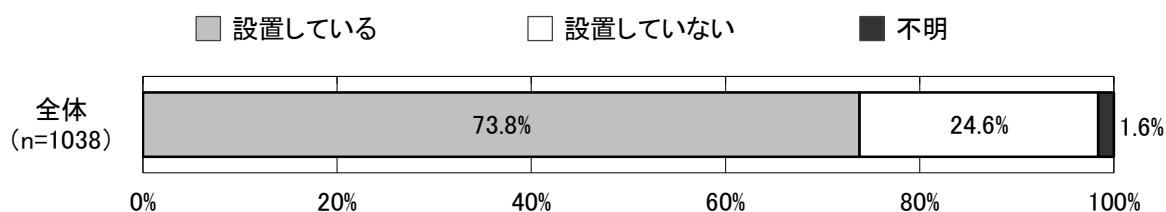
2. 設置していない

(共同住宅等で自動火災報知設備が設置されている場合は、設置していると回答してください。)

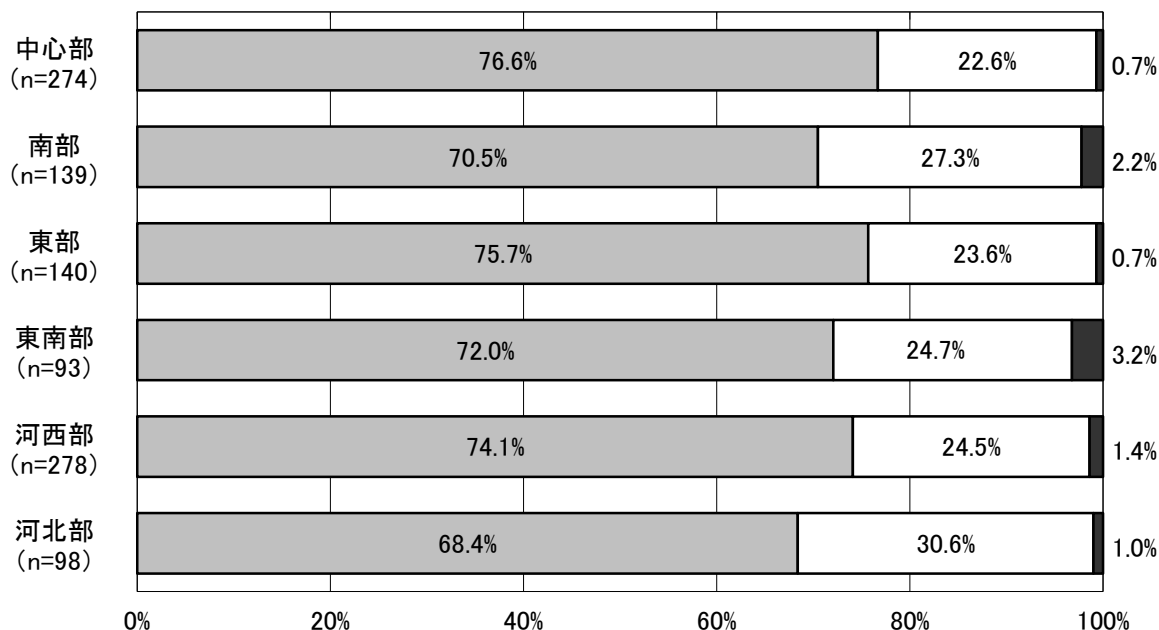
※ 「住宅用火災警報器」とは、火災が発生したときの煙や熱を自動的に感知して、警報音や音声などで火災を知らせてくれるものです。

「住宅用火災警報器」の設置状況は、「設置している」が73.8%、「設置していない」が24.6%となっている。

地域別にみると、河北部で「設置していない」が30.6%と最も高くなっている。



<地域別>



問 34-1 「住宅用火災警報器」の設置義務についての認知度

問 34-1 問 34 で「2. 設置していない」と回答された方のみお答えください。

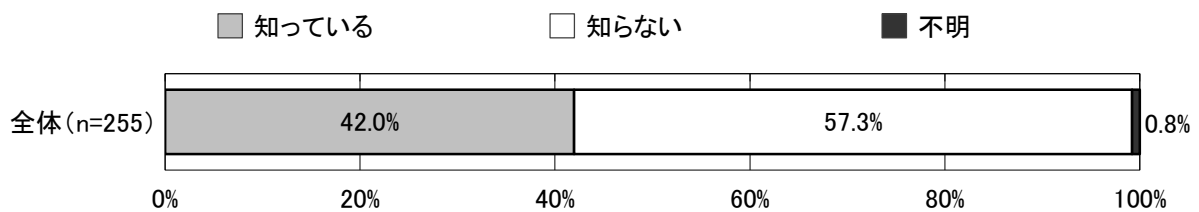
和歌山市では、すべての住宅の寝室等に「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられていることを知っていますか？

1. 知っている

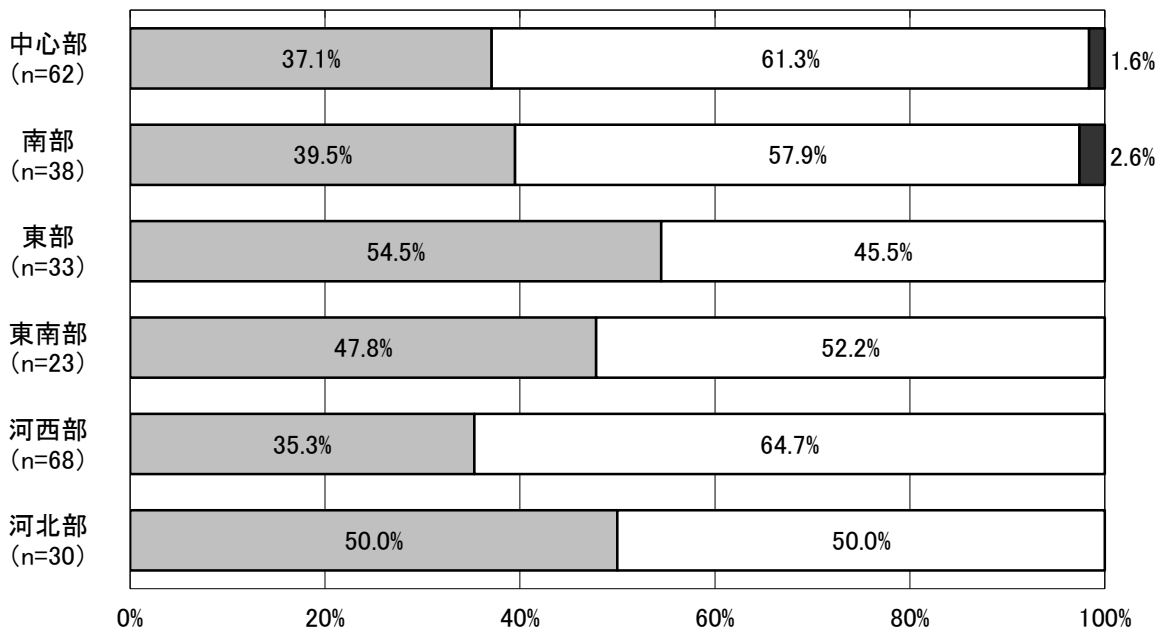
2. 知らない

「住宅用火災警報器」の設置義務の認知状況は、「知らない」が 57.3%で、「知っている」(42.0%)を上回っている。

地域別にみると、「知っている」が東部(54.5%)、河北部(50.0%)で高めとなっており、河西部(35.3%)が低めとなっている。



<地域別>



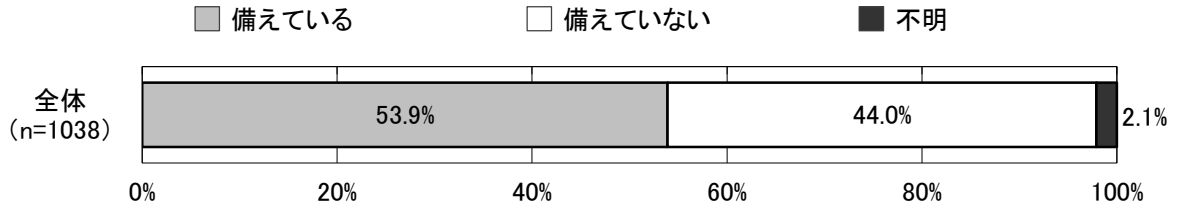
問 35 消火器設置の有無

問 35 あなたは、火災に備えて自宅に「消火器」を備えていますか？

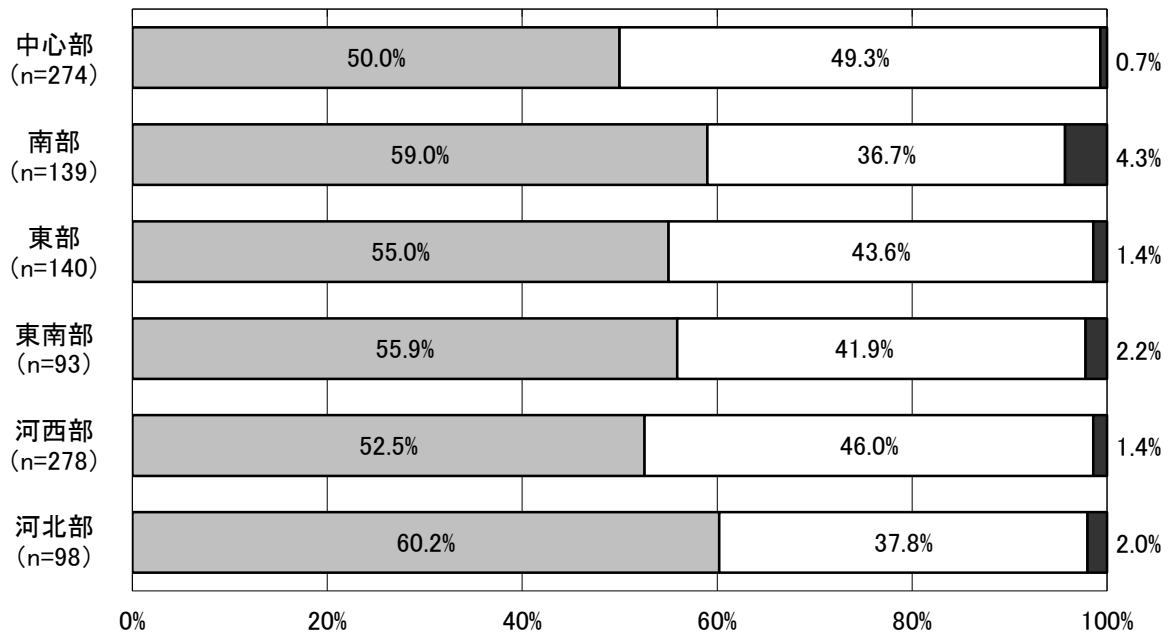
1. 備えている

2. 備えていない

消火器の設置状況は、「備えている」が 53.9%、「備えていない」(44.0%) となっている。
全地域で「備えている」が 50%を超えている。



<地域別>



問 36 消火器廃棄方法の認知

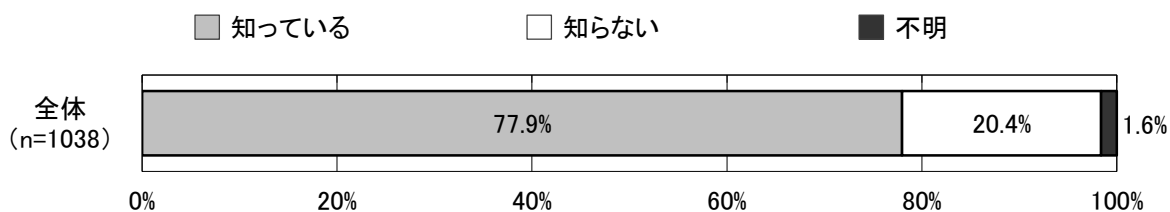
問 36 あなたは、消火器が一般のゴミとして捨てられないことを知っていますか。

※ 古くなった消火器を廃棄するときは、リサイクルシールを貼り、特定窓口（消火器販売店等）か指定引取場所へ持っていかなくてはなりません。

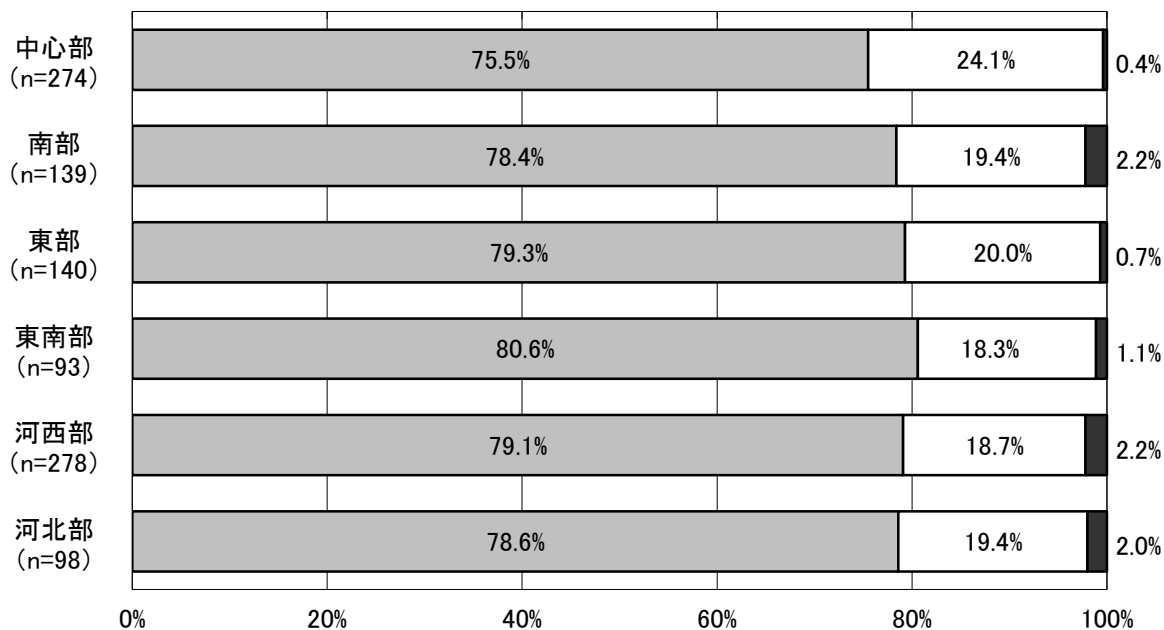
1. 知っている

2. 知らない

消火器廃棄方法の認知状況は、「知っている」が77.9%、「知らない」が20.4%となっている。地域別にみると、「知らない」が中心部（24.1%）でやや高めとなっている。



<地域別>



問 37 和歌山市の治安状況

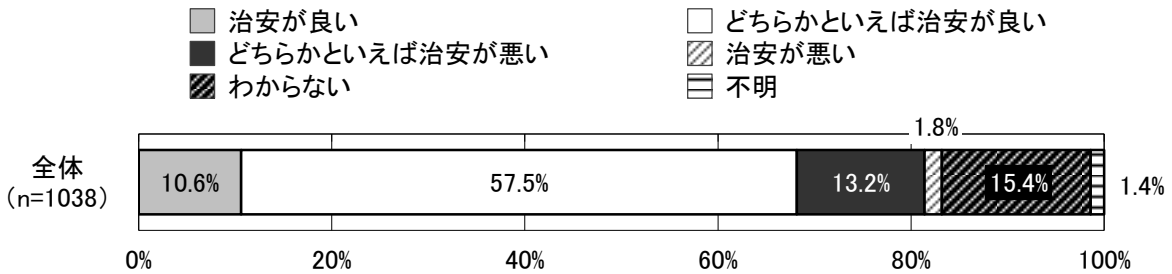
問 37 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？

- 1. 治安が良い
- 2. どちらかといえば治安が良い
- 3. どちらかといえば治安が悪い
- 4. 治安が悪い
- 5. わからない

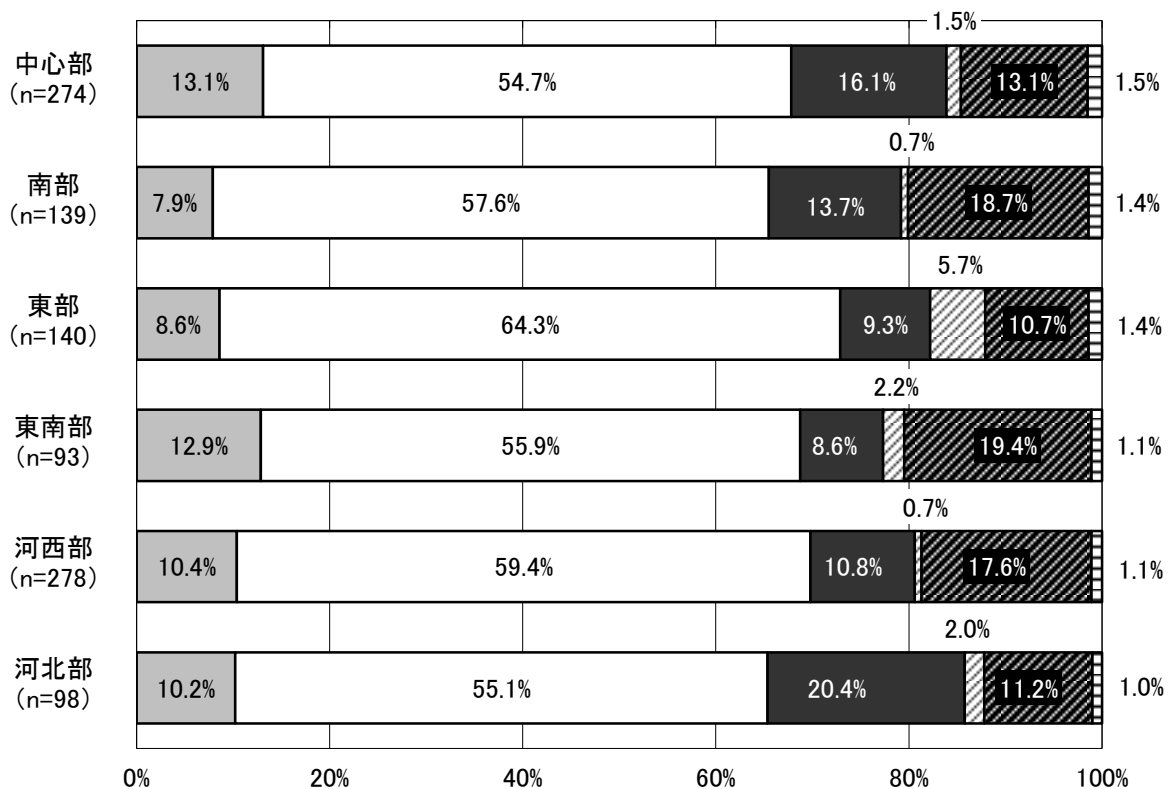
和歌山市の治安状況について、「治安が良い」(10.6%)と「どちらかといえば治安が良い」(57.5%)をあわせた68.1%は治安が良いと感じており、「どちらかといえば治安が悪い」(13.2%)と「治安が悪い」(1.8%)を合わせた15.0%は治安が悪いと感じている。

地域別にみると、治安が良いと感じている比率は東部(72.9%)で最も高く、治安が悪いと感じている比率は河北部(22.4%)で最も高くなっている。

年代別にみると、治安が良いと感じている比率は80歳以上(72.7%)が最も高く、治安が悪いと感じている比率は18~19歳(25.0%)が最も高く、次いで30~39歳(21.5%)となっている。

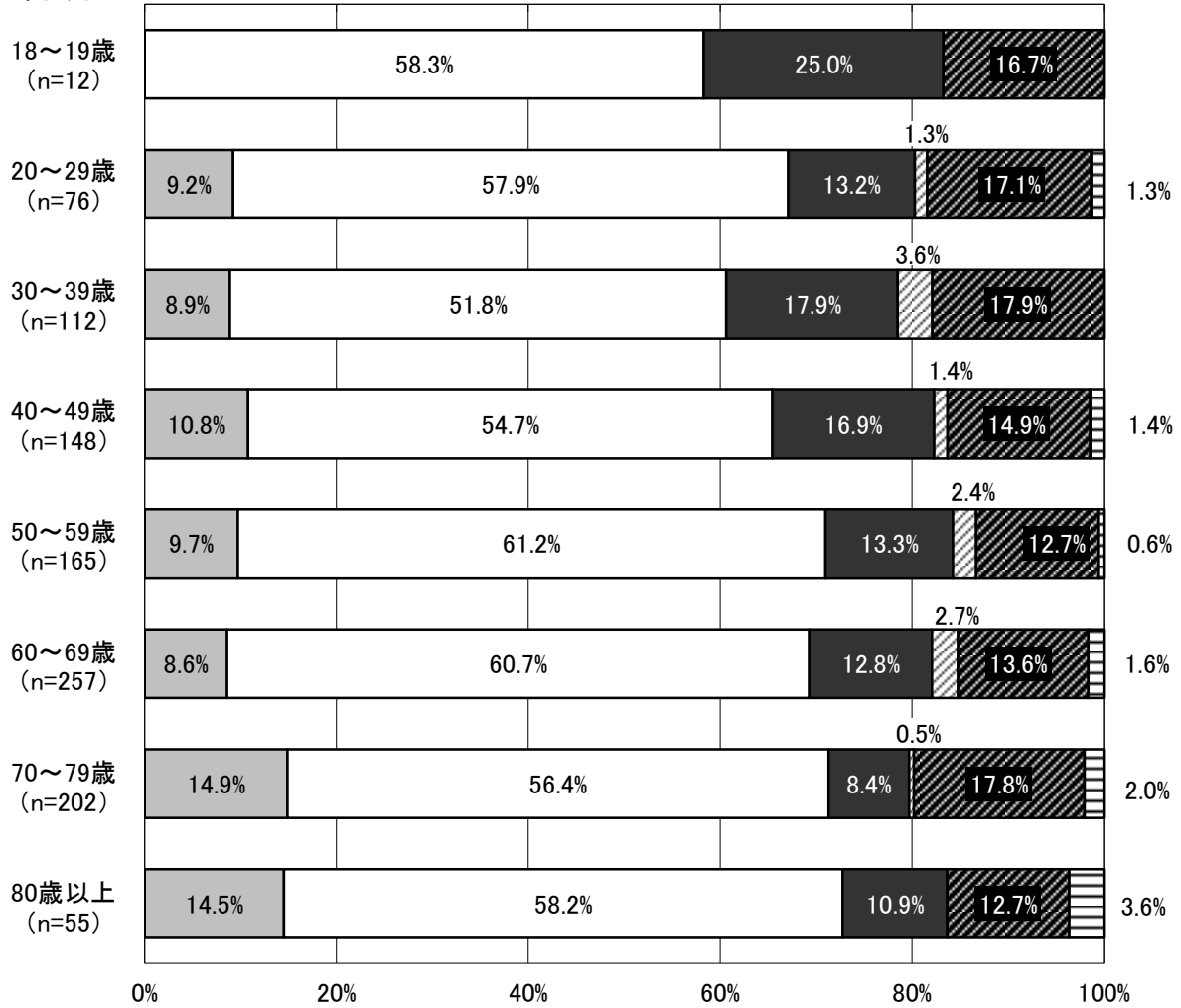


<地域別>



- 治安が良い
- どちらかといえば治安が悪い
- どちらかといえば治安が良い
- 治安が悪い
- わからない
- 不明

<年代別>



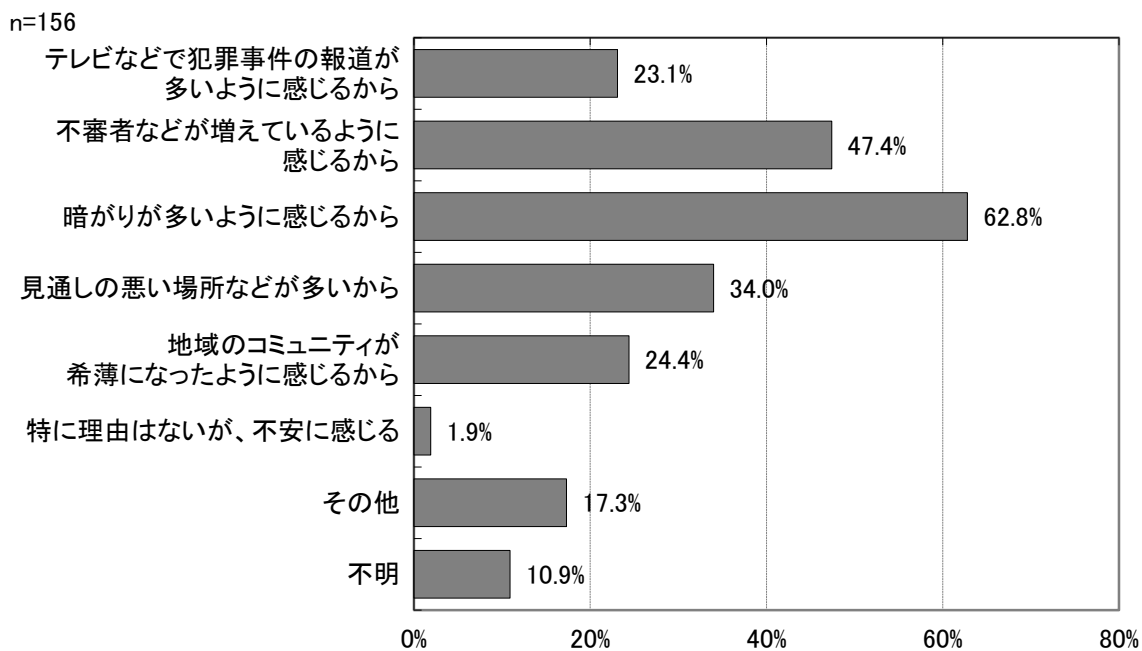
問 37-1 治安が悪いと感じる理由

問 37-1 問 37 で「3. どちらかといえば治安が悪い」、「4. 治安が悪い」とお答えの方のみお答えください。

あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか？つぎの中からあてはまるものをすべてお選びください。

1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
2. 不審者などが増えているように感じるから
3. 暗がりが多いように感じるから
4. 見通しの悪い場所などが多いから
5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
6. 特に理由はないが、不安を感じる
7. その他 ()

問 37 で「3. どちらかといえば治安が悪い」、「4. 治安が悪い」と回答した 156 人について、治安が悪いと感じる理由は、「暗がりが多いように感じるから」が 62.8%と最も多く、次いで「不審者などが増えているように感じるから」(47.4%)、「見通しの悪い場所などが多いから」(34.0%)の順となっている。



その他：「物が盗まれたり、いたずらが多い」、「空き家の多さ」、「モラルの低さを感じる」、「夜中に暴走している人がいる」など

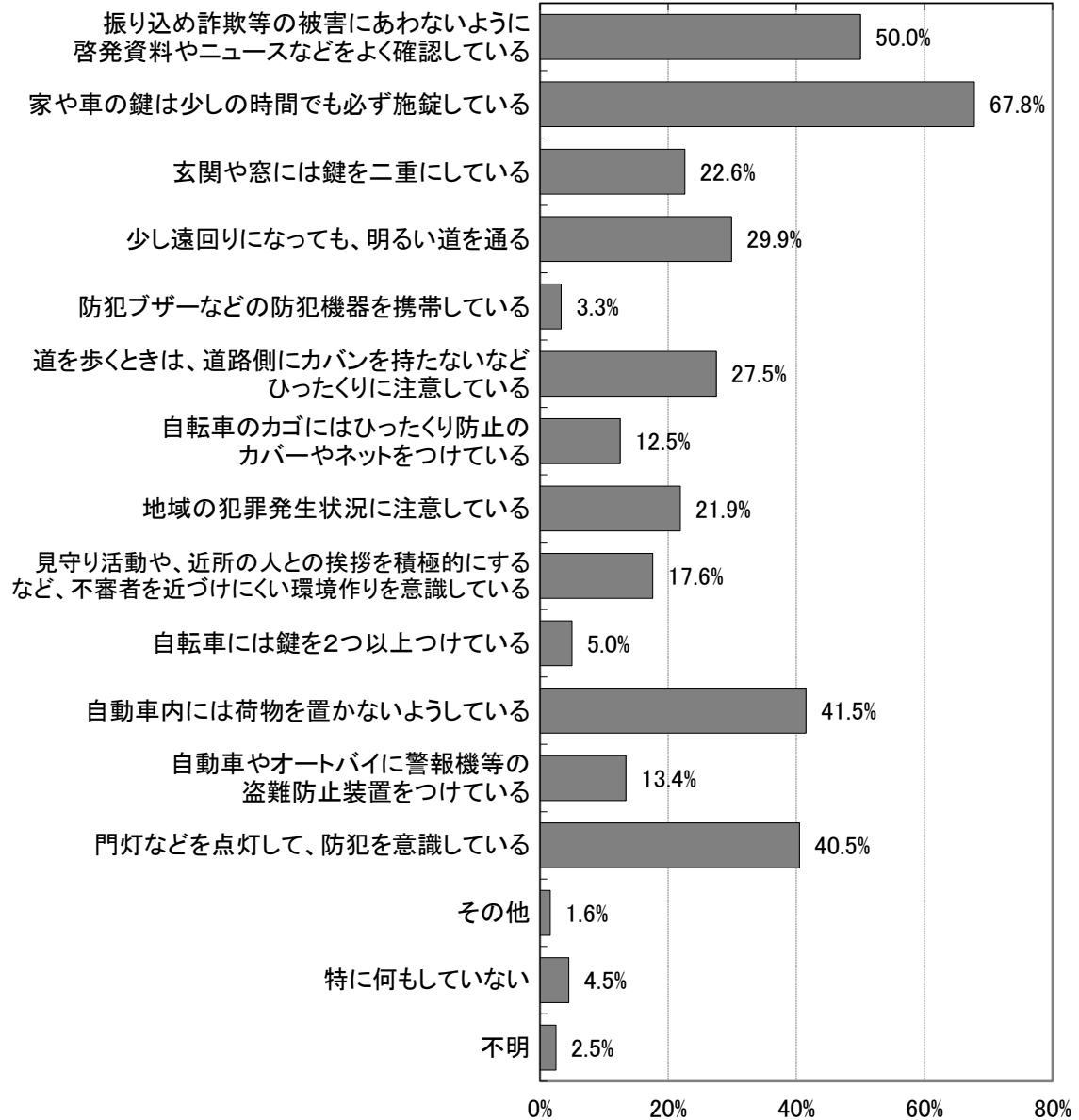
問 38 犯罪被害に遭わないための心がけ

問 38 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか？つぎの中からあてはまるものをすべてお選びください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひったくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひったくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、不審者を近づけにくい環境作りを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他
15. 特に何もしていない

犯罪被害に遭わないための心がけは、「家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している」が 67.8%と最も多く、次いで「被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している」(50.0%)、「自動車内には荷物を置かないようしている」(41.5%)、「門灯などを点灯して、防犯を意識している」(40.5%)の順となっている。

n=1038



7. スポーツについて

問 39 週 1 回以上の運動やスポーツ

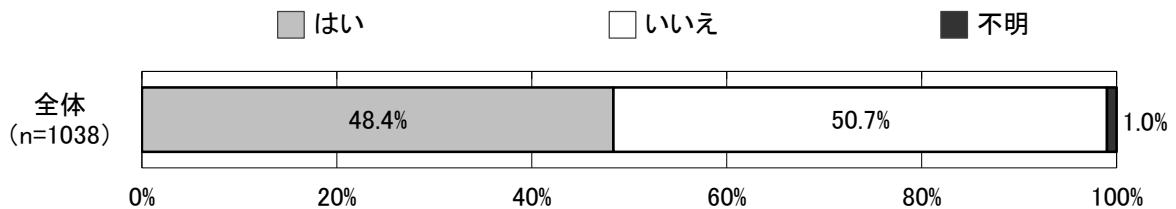
問 39 あなたは、週 1 回以上運動（ウォーキングや軽い体操などを含む）やスポーツをしていますか？

1. はい

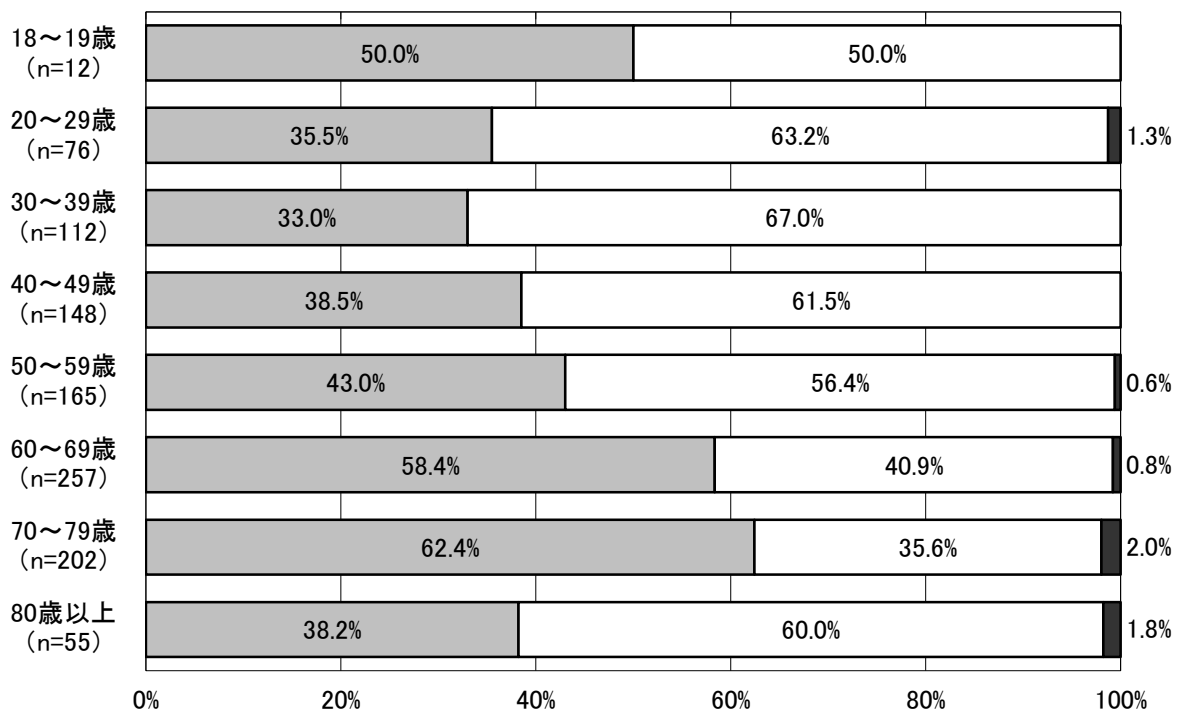
2. いいえ

週 1 回以上の運動やスポーツをしているかどうかについて、「はい」は 48.4%、「いいえ」は 50.7% となっている。

年代別にみると、「はい」が 70～79 歳で 62.4%と最も高く、30～39 歳で 33.0%と最も低くなっている。



<年代別>



問 39-1 スポーツをしている理由

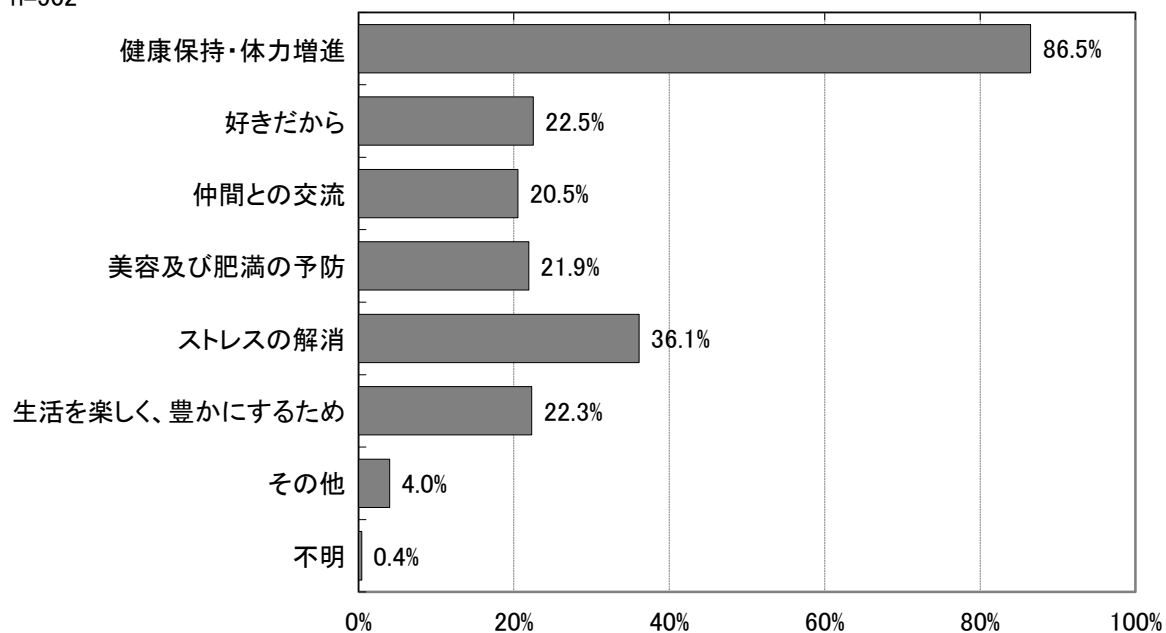
問 39-1 問 39 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っている理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 健康保持・体力増進 | 5. ストレスの解消 |
| 2. 好きだから | 6. 生活を楽しく、豊かにするため |
| 3. 仲間との交流 | 7. その他 |
| 4. 美容及び肥満の予防 | () |

問 39 で「1. はい」と回答した 502 人について、運動やスポーツを行っている理由は、「健康保持・体力増進」が 86.5%で最も高く、次いで「ストレスの解消」(36.1%)となっている。

n=502



その他：「犬の散歩」、「リハビリ」、「習慣」など

問 39-2 スポーツをしていない理由

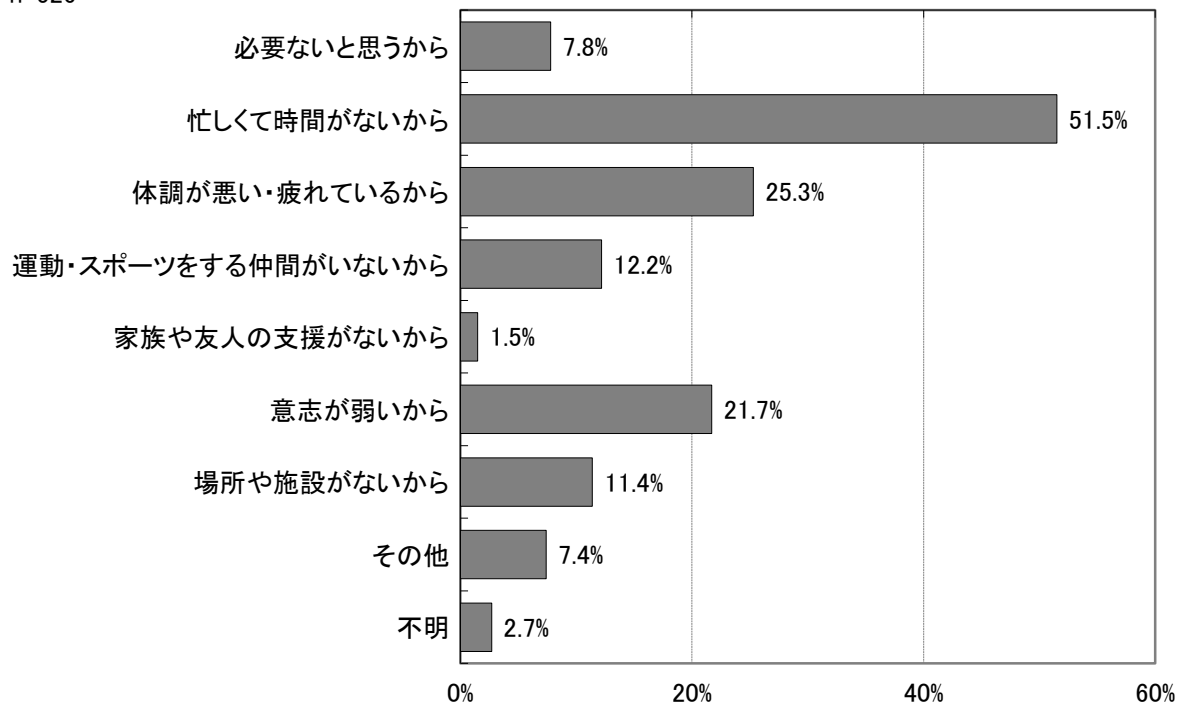
問 39-2 問 39 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 必要ないと思うから | 5. 家族や友人の支援がないから |
| 2. 忙しくて時間がないから | 6. 意志が弱いから |
| 3. 体調が悪い・疲れているから | 7. 場所や施設がないから |
| 4. 運動・スポーツをする仲間がいないから | 8. その他 () |

問 39 で「2. いいえ」と回答した 526 人について、運動やスポーツを行っていない理由は、「忙しくて時間がないから」が 51.5%と最も高く、次いで「体調が悪い・疲れているから」(25.3%)、「意志が弱いから」(21.7%) の順となっている。

n=526



その他：「仕事をしているから」、「スポーツ以外で体を動かしているから」、「お金が掛かるから」など

問 39-3 運動やスポーツをするために必要な条件

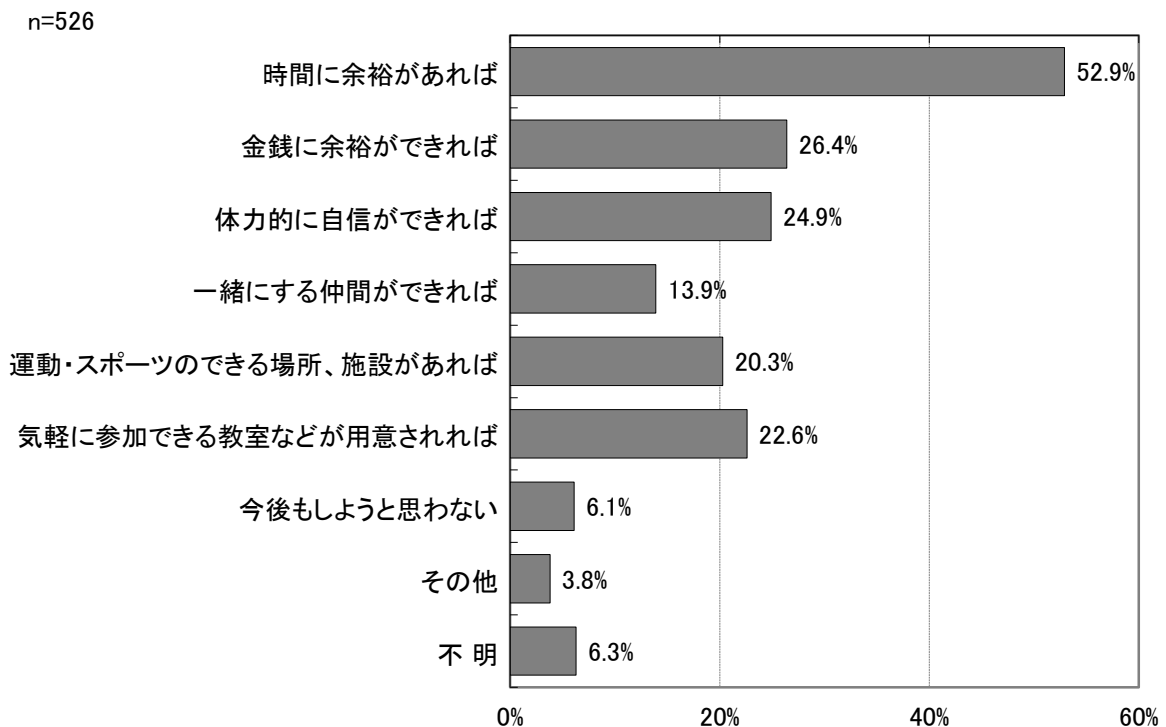
問 39-3 問 39 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。

今後どのような状況になれば、運動やスポーツをしようと思えますか？

あてはまるものをすべてお選びください。

1. 時間に余裕があれば
2. 金銭に余裕ができれば
3. 体力的に自信ができれば
4. 一緒にする仲間ができれば
5. 運動・スポーツのできる場所、施設があれば
6. 気軽に参加できる教室などが用意されれば
7. 今後もしようと思わない
8. その他 ()

問 39 で「2. いいえ」と回答した 526 人について、今後運動やスポーツをするために必要な条件は、「時間に余裕があれば」が 52.9%と最も高く、次いで「金銭に余裕ができれば」(26.4%)、「体力的に自信ができれば」(24.9%)、「気軽に参加できる教室などが用意されれば」(22.6%)、「運動・スポーツのできる場所、施設があれば」(20.3%)の順となっている。



その他：「午後 9 時以降でも安くて運動のできる場所・施設があれば」、
「子どもが成長したら」、「子どもと一緒にできれば」、「健康になれば」など

8. 健康について

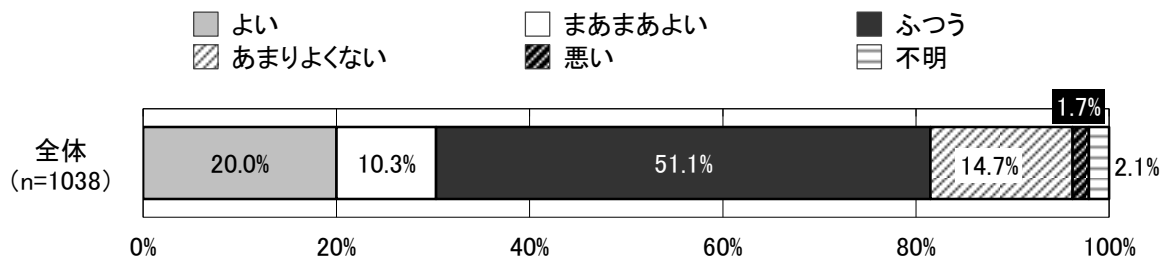
問 40 健康状態

問 40 あなたの健康状態はいかがですか？

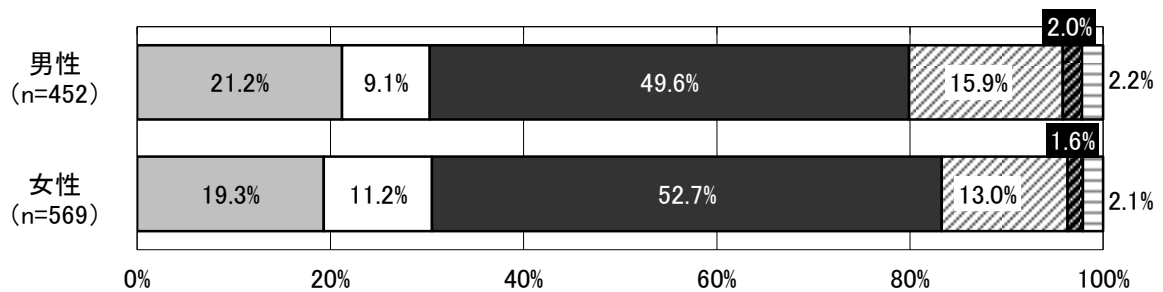
- | | | |
|-----------|--------|------------|
| 1. よい | 3. ふつう | 4. あまりよくない |
| 2. まあまあよい | 5. 悪い | |

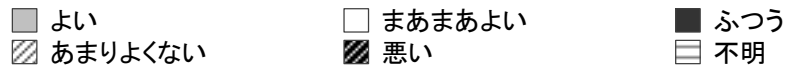
健康状態は、「よい」(20.0%)と「まあまあよい」(10.3%)を合わせたよい計は30.3%、「あまりよくない」(14.7%)と「悪い」(1.7%)を合わせた悪い計は16.4%、「ふつう」は51.1%となっている。

年代別にみると、「よい」と「まあまあよい」を合わせたよい計は18~19歳(66.6%)が最も高く、「あまりよくない」と「悪い」を合わせた悪い計は80歳以上が32.7%と最も高くなっている。

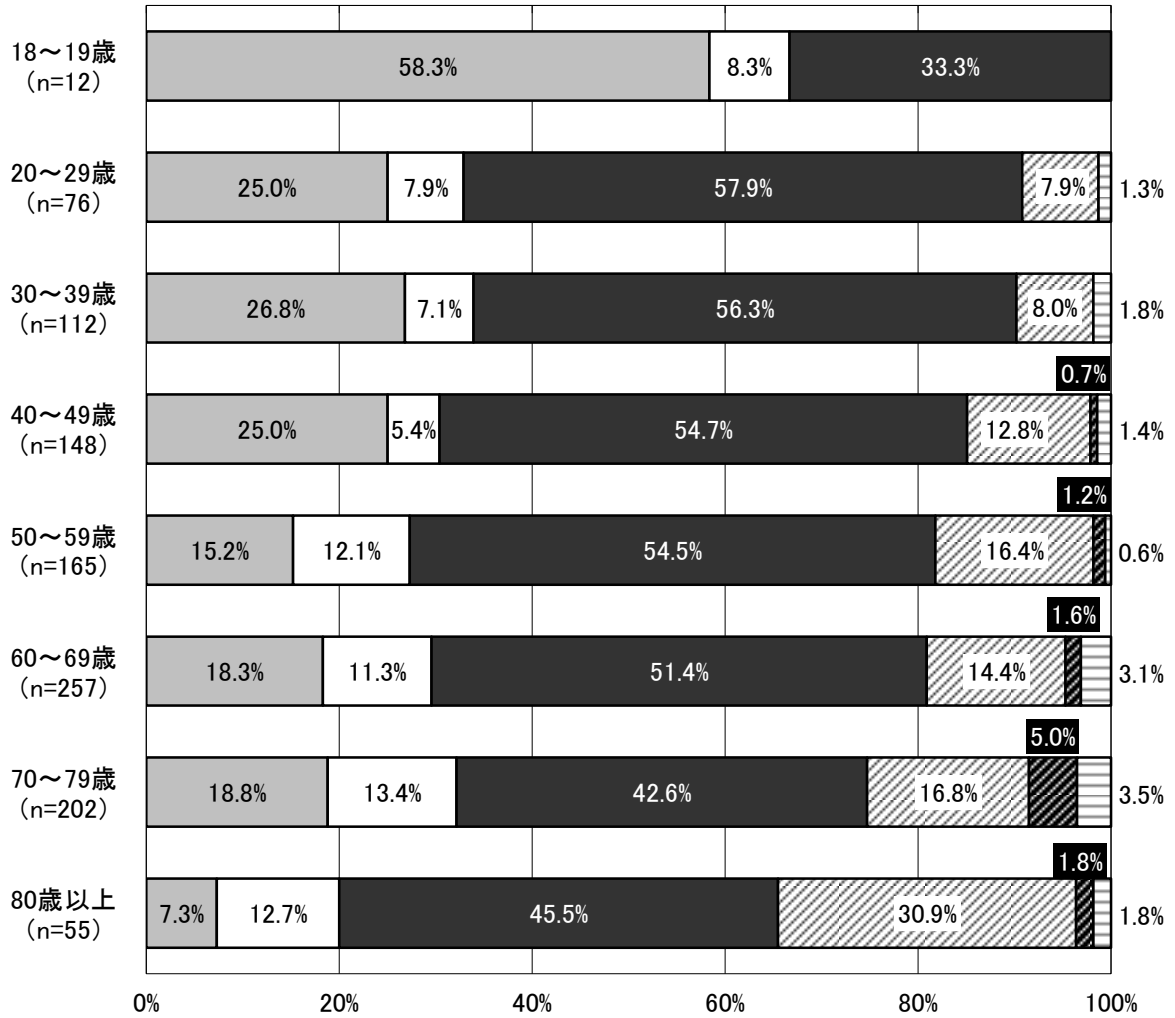


<性別>





<年代別>



問 41 健康づくりへの意識的な取り組み

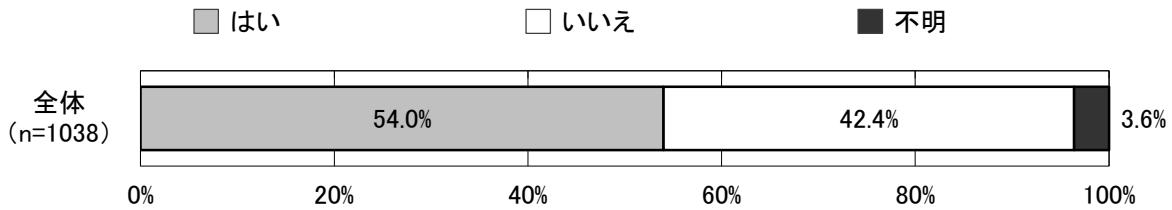
問 41 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい

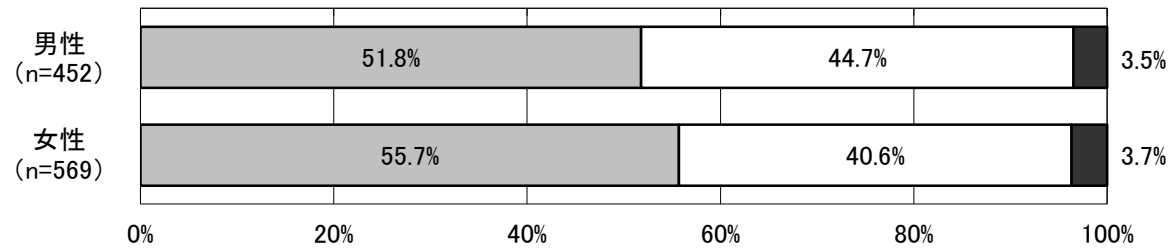
2. いいえ

意識的に健康づくりに取り組んでいるかどうかについて、「はい」が54.0%、「いいえ」が42.4%となっている。

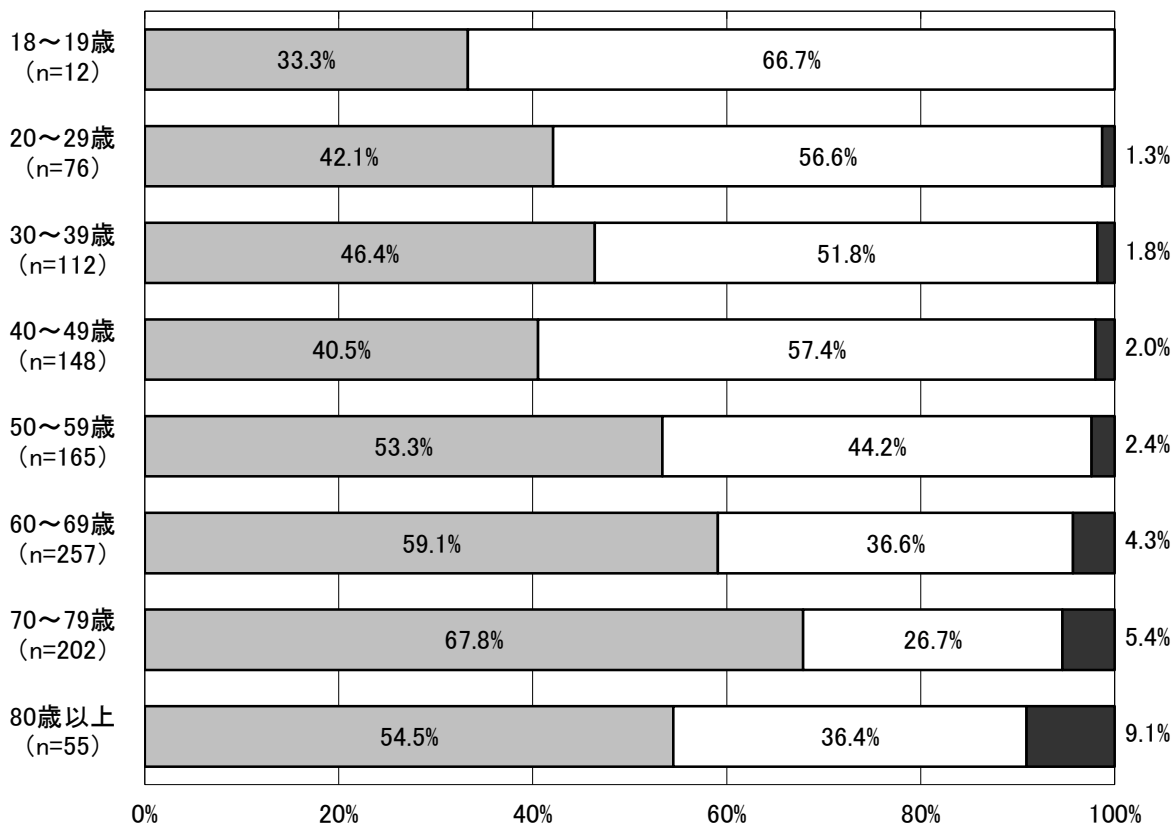
年代別にみると、50歳以上で「はい」が50%を超えている。



<性別>



<年代別>



問 42 喫煙状況

問 42 あなたは、タバコを吸っていますか？（20歳以上の方のみお答えください。）

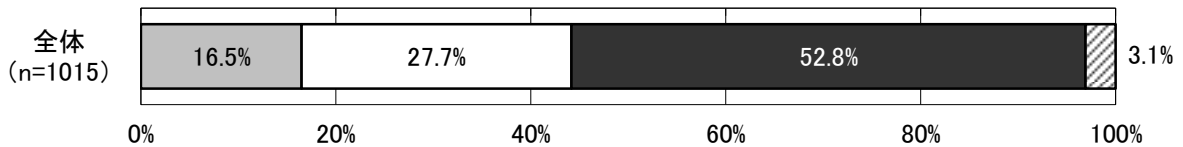
- 1. 現在吸っている
- 2. 吸ったことはあるが今は吸っていない
- 3. 吸ったことがない

喫煙状況は、「現在吸っている」が16.5%、「吸ったことはあるが今は吸っていない」が27.7%、「吸ったことがない」が52.8%となっている。

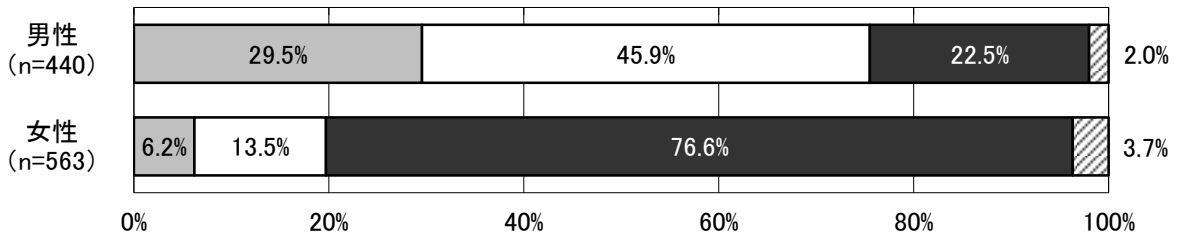
性別にみると、「現在吸っている」は男性が29.5%、女性が6.2%で男性が23.3ポイント上回る。

年代別にみると、「現在吸っている」は40～49歳で24.3%と最も高く、次いで50～59歳（20.6%）となっている。

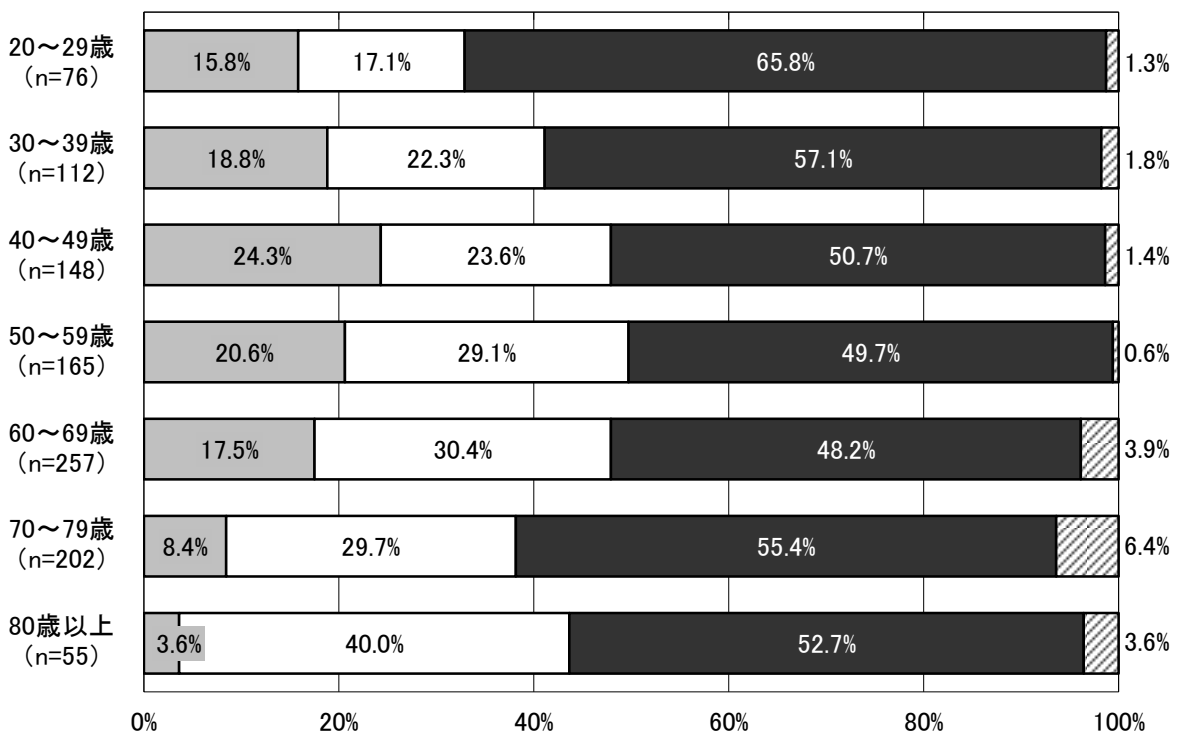
■ 現在吸っている
 ■ 吸ったことはあるが今は吸っていない
 ■ 吸ったことがない
 ▨ 不明



<性別>



<年代別>



問 43 がん検診受診状況

問 43 あなたは、定期的に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんのいずれか）を受けていますか？

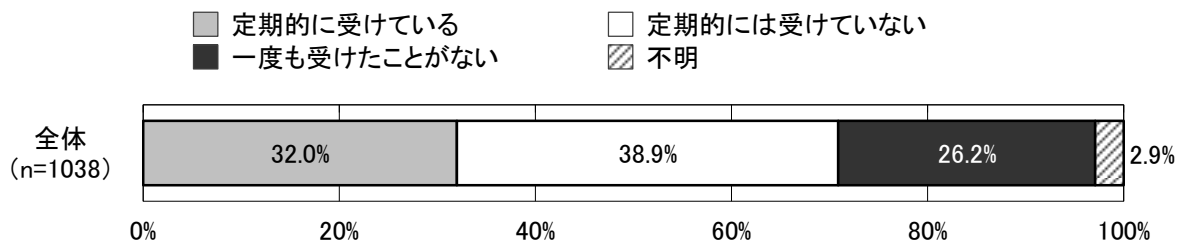
1. 定期的に受けている 2. 定期的には受けていない 3. 一度も受けたことがない

※ 定期的な検診とは、「胃がん・肺がん・大腸がん」は1年に1回、「子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

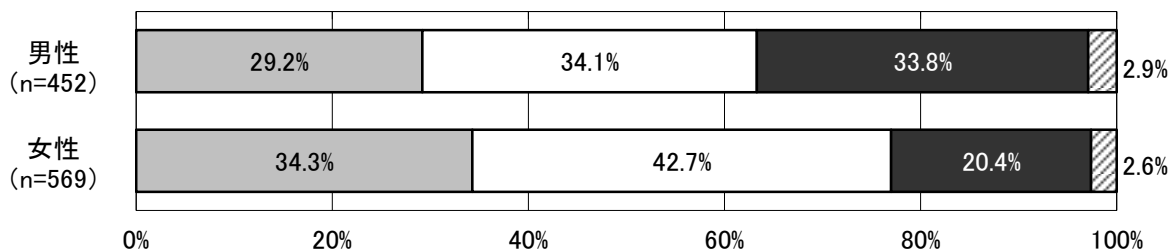
がん検診の受診状況は、「定期的に受けている」が32.0%、「定期的には受けていない」が38.9%、「一度も受けたことがない」が26.2%となっている。

性別にみると、「定期的に受けている」が女性（34.3%）より男性（29.2%）が5.1ポイント低くなっている。

年代別にみると、「定期的に受けている」が40歳以上で30%を超えており、「定期的に受けている」が最も高いのは50～59歳（39.4%）となっている。

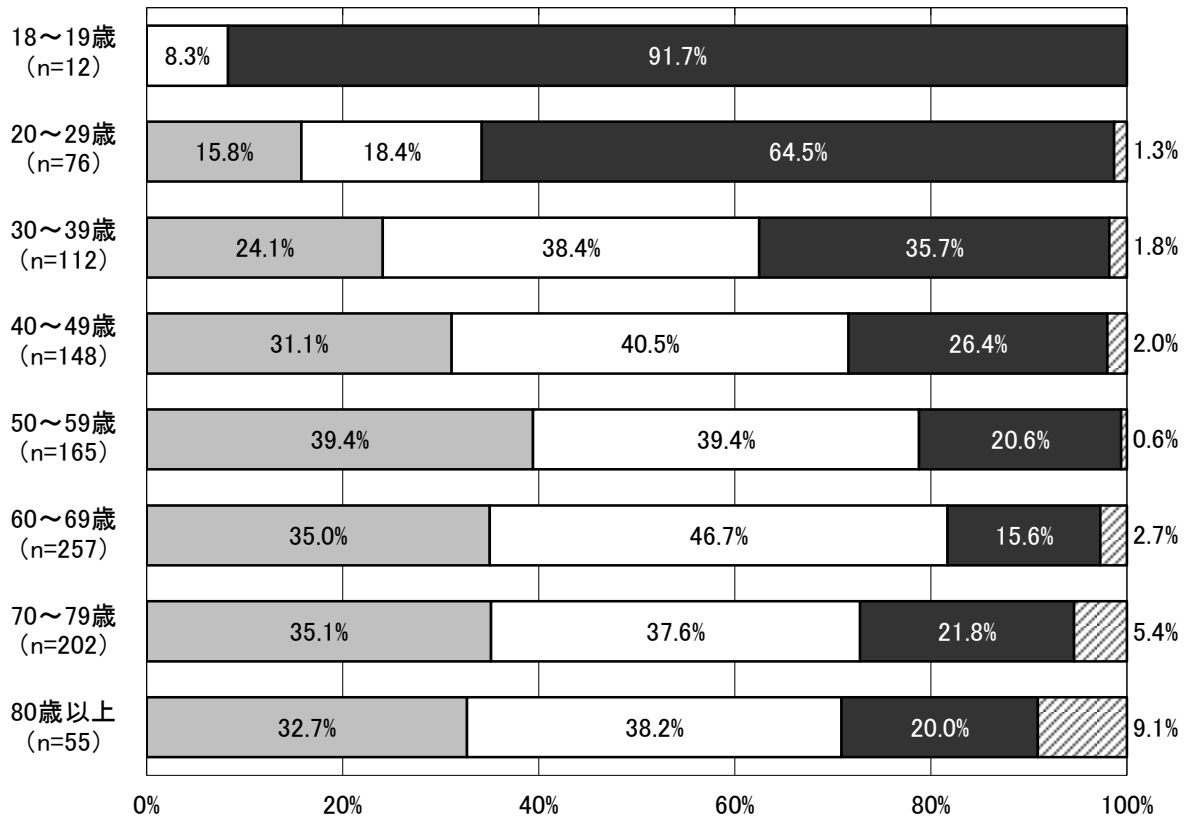


<性別>



定期的に受けている
 定期的には受けていない
 一度も受けたことがない
 不明

<年代別>



問 44 朝食の習慣

問 44 あなたは、ふだん朝食を食べていますか？

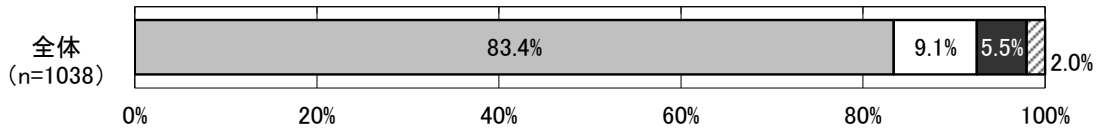
1. 毎日食べる

2. 時々食べる

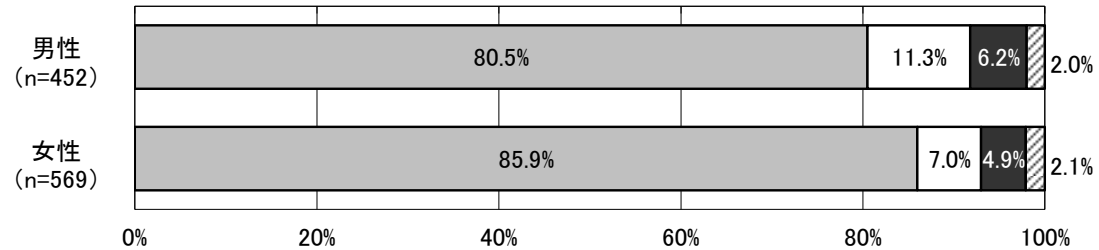
3. 食べない

朝食について、「毎日食べる」が83.4%、「時々食べる」が9.1%、「食べない」が5.5%となっている。性別にみると、「毎日食べる」が女性（85.9%）より男性（80.5%）が5.4ポイント低くなっている。年代別にみると、29歳以下で「毎日食べる」が70%を下回っている。

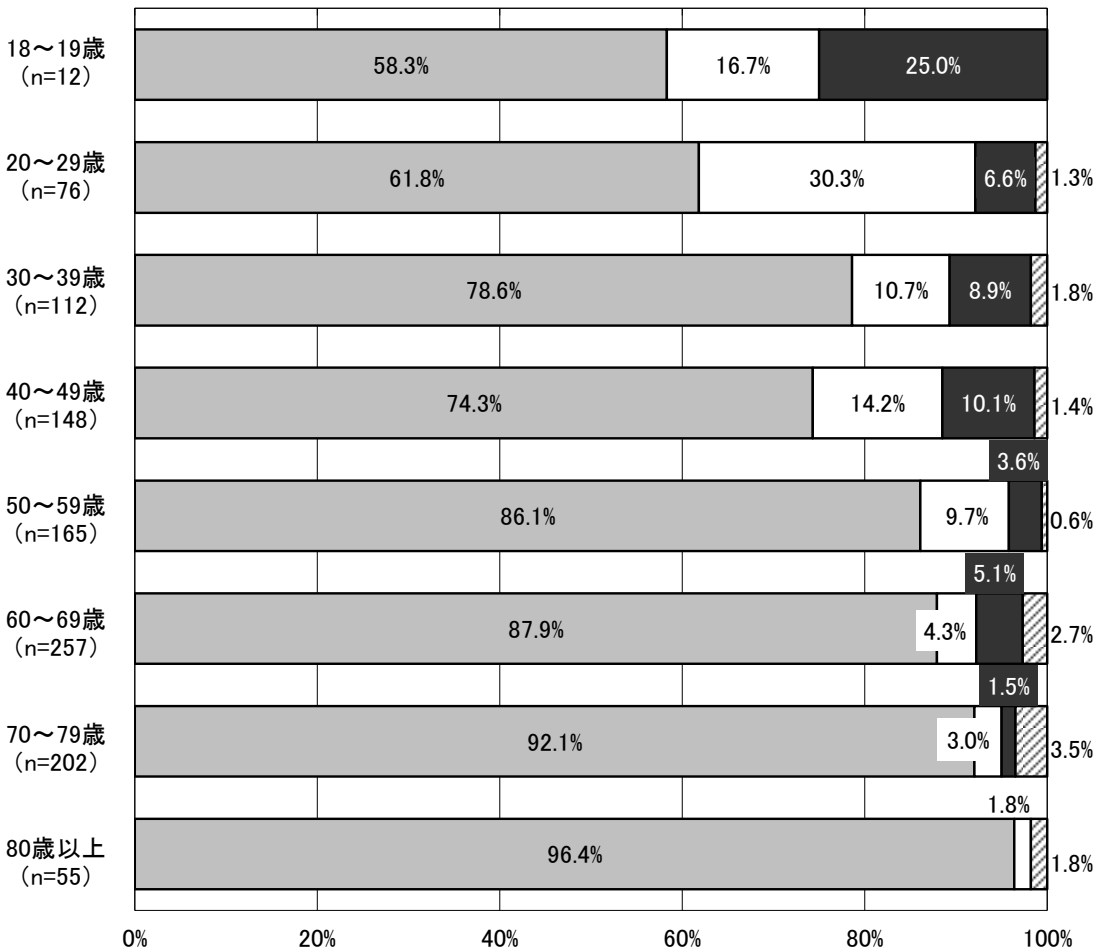
■ 毎日食べる □ 時々食べる
 ■ 食べない ▨ 不明



<性別>



<年代別>



問 45 一日の歩数

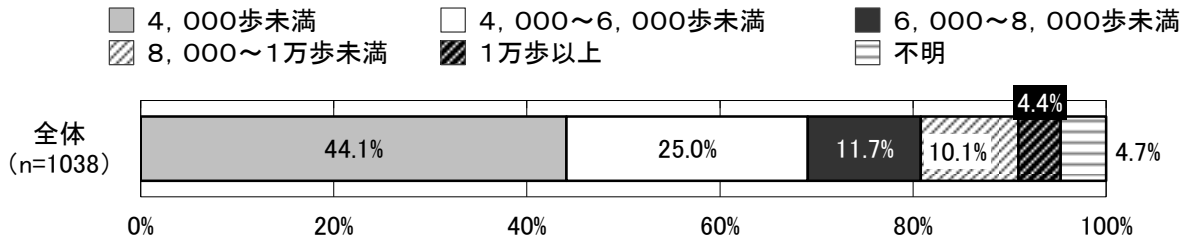
問 45 あなたは、1日平均してどの程度歩いていると思いますか？

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 4,000歩未満 | 4. 8,000～1万歩未満 |
| 2. 4,000～6,000歩未満 | 5. 1万歩以上 |
| 3. 6,000～8,000歩未満 | |

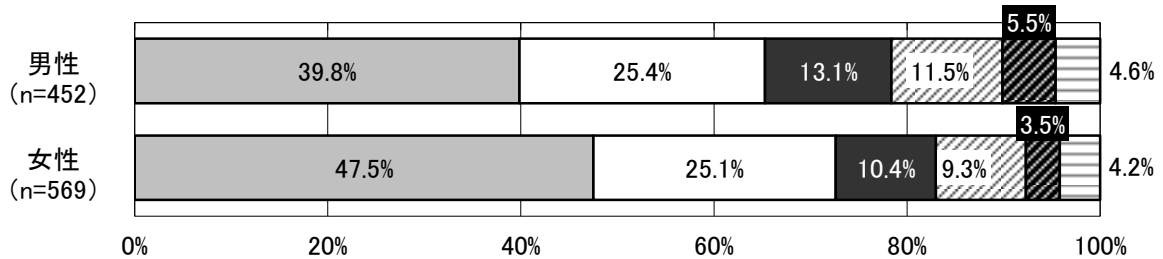
※目安として、10分歩くと1,000歩程度、また外出しない方は3,000歩未満としてお考えください。

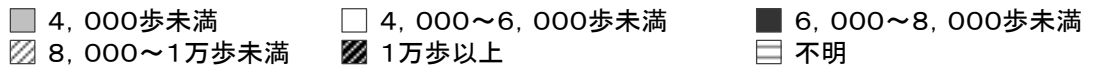
一日の平均歩数は、「4,000歩未満」が44.1%と最も高く、次いで「4,000～6,000歩未満」(25.0%)となっている。

性別にみると、「4,000歩未満」が男性(39.8%)より女性(47.5%)が7.7ポイント高くなっている。

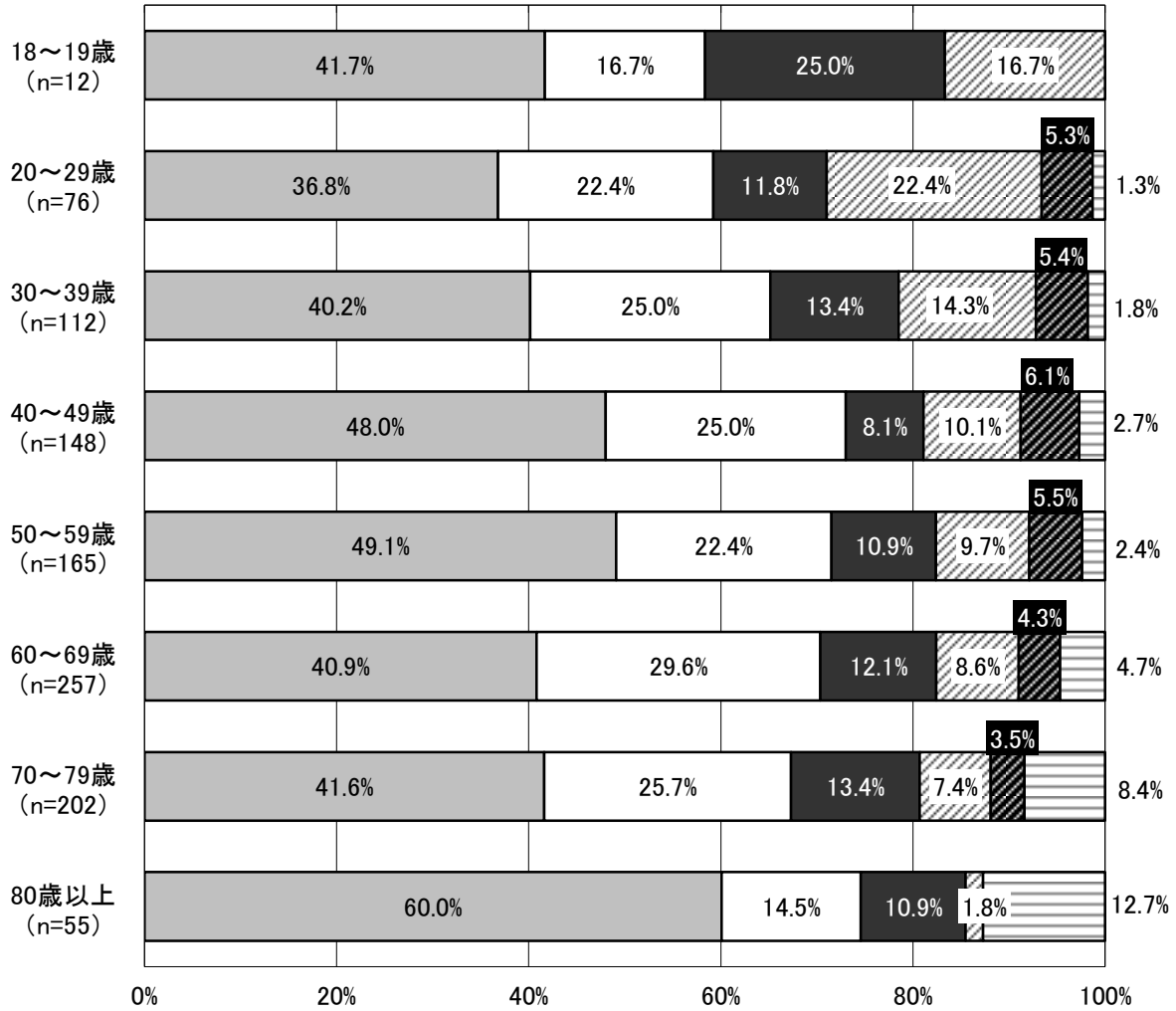


<性別>





<年代別>



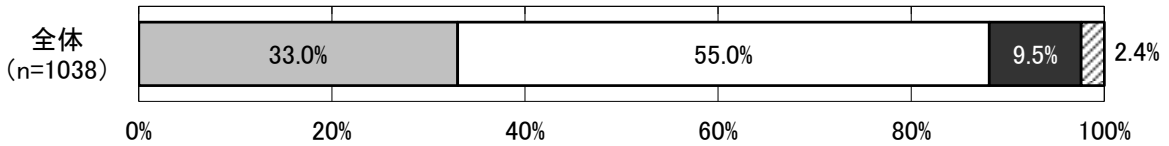
問 46 睡眠状況

問 46 あなたは、睡眠による休養をとれていますか？

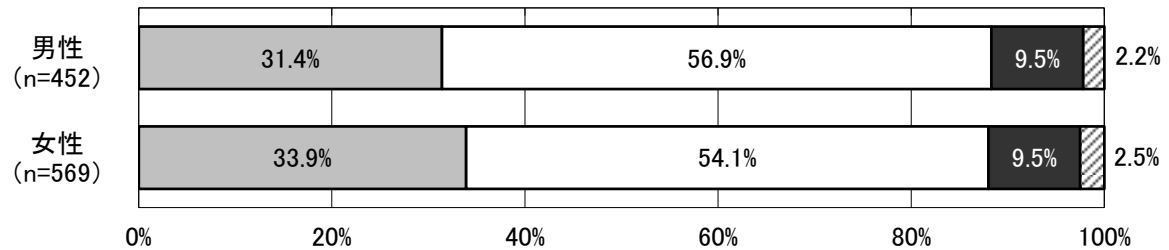
1. とれている 2. ある程度はとれている 3. とれていない

睡眠について、「とれている」が33.0%、「ある程度はとれている」が55.0%、「とれていない」が9.5%となっている。

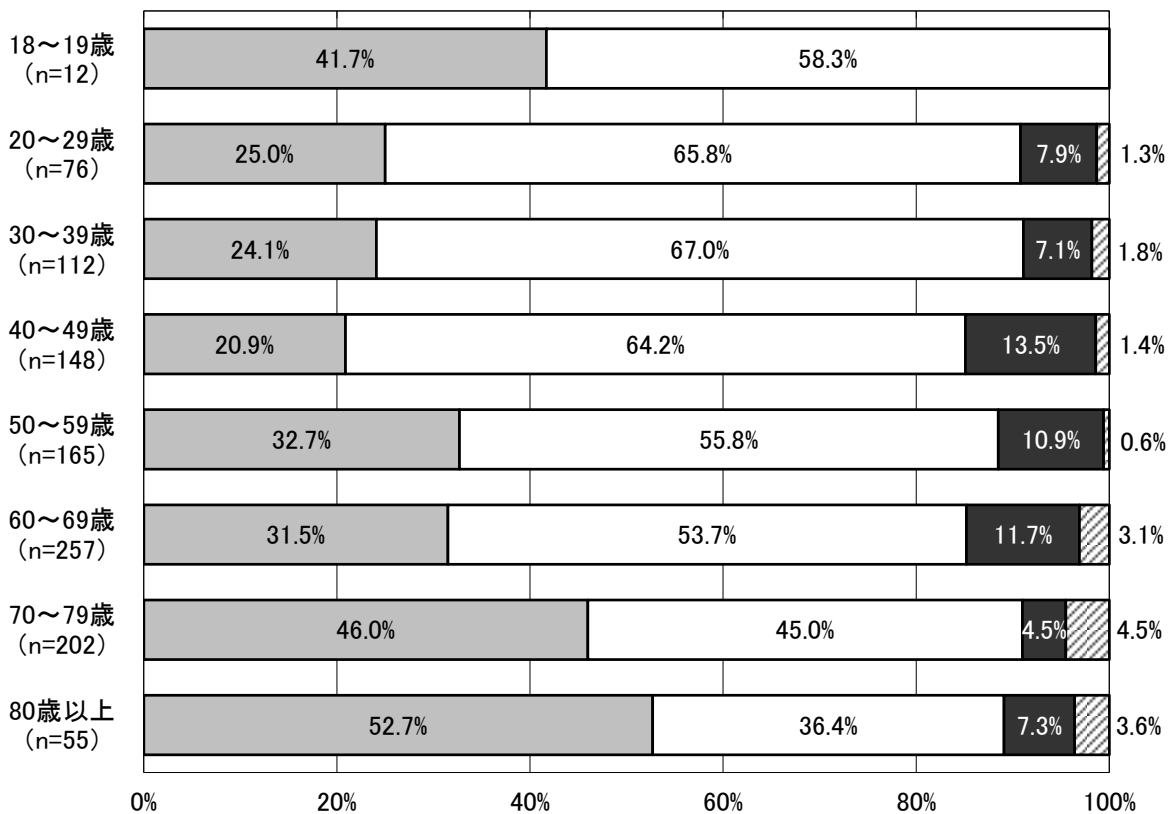
年代別にみると、「とれている」が80歳以上で52.7%と最も高く、40～49歳（20.9%）で最も低くなっている。



<性別>



<年代別>



9. 中央卸売市場の観光市場化（道の駅）について

（資料 P. 128）

問 47 中央卸売市場の建て替えへの評価

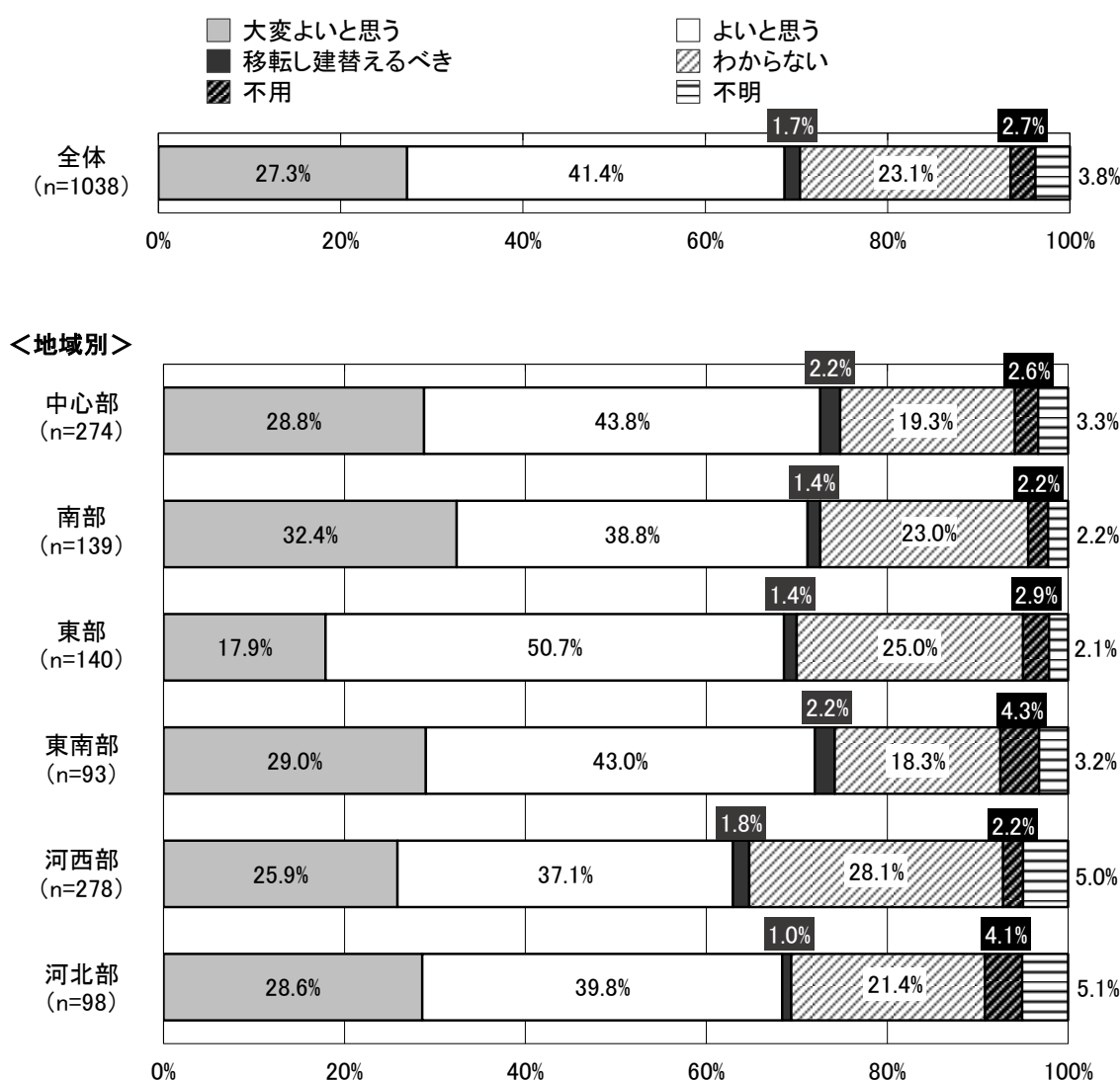
問 47 中央卸売市場を現地で建替えることについて、どのように思いますか？

あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 大変よいと思う | 4. わからない |
| 2. よいと思う | 5. 不用 |
| 3. 移転し建替えるべき（理由：_____） | |

※道の駅とは、①24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ施設、②道路情報・地域の観光情報・緊急医療情報などを提供する施設、③文化共用施設・観光レクリエーション施設などの地域振興施設の3つの機能を持った施設のことをいいます。

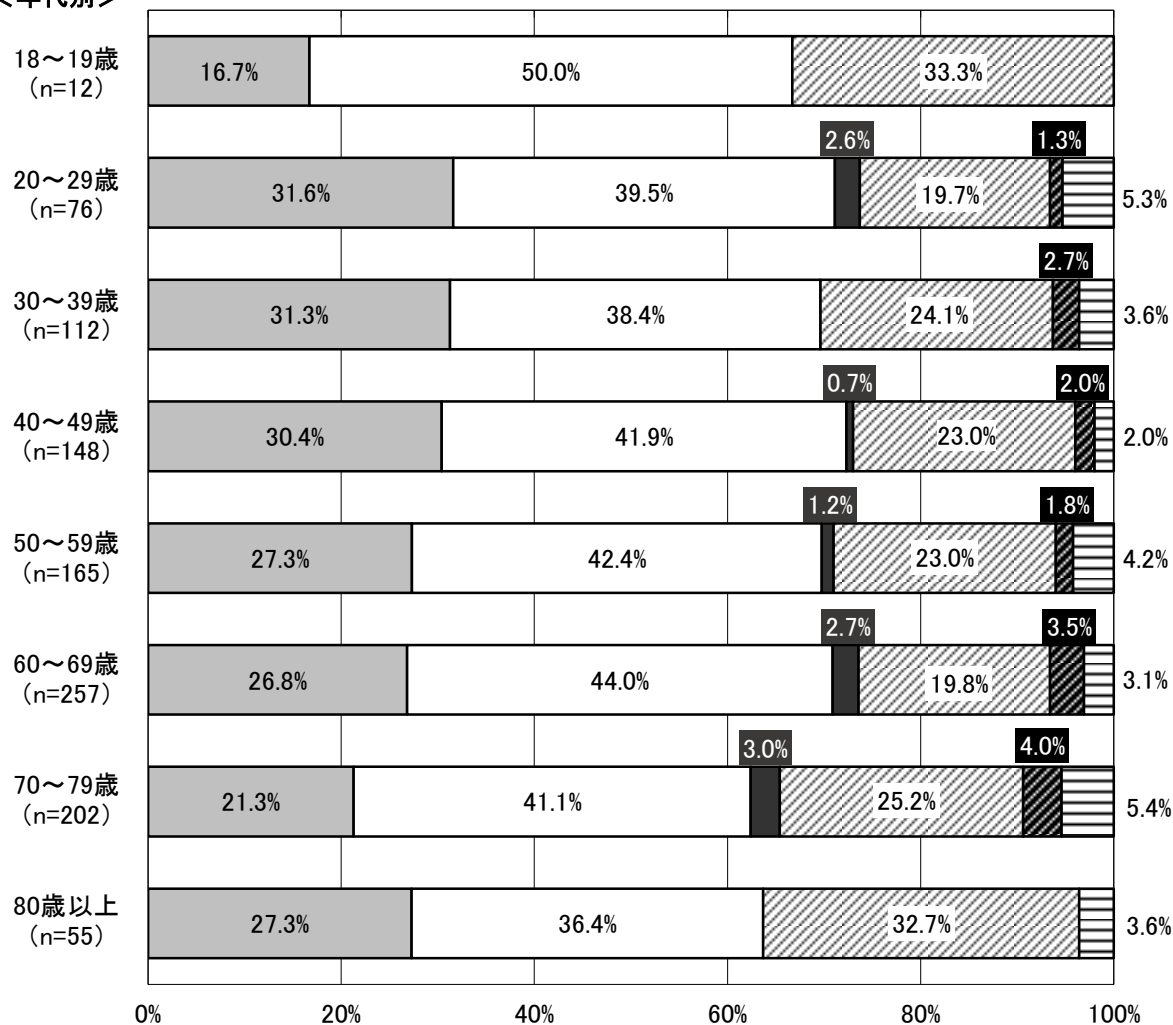
中央卸売市場の建て替えについて、「大変よいと思う」（27.3%）、「よいと思う」（41.4%）をあわせて68.7%が支持している。「移転し建替えるべき」は1.7%、「わからない」は23.1%となっている。地域別にみると、中心部の賛成意見の比率が最も高く、72.6%となっている。



理由：「交通の便が悪い」、「まちの中心に建て替えた方が良い」、「途中の景観が良くない」など



<年代別>



問 48 中央卸売市場の観光市場としての整備への評価

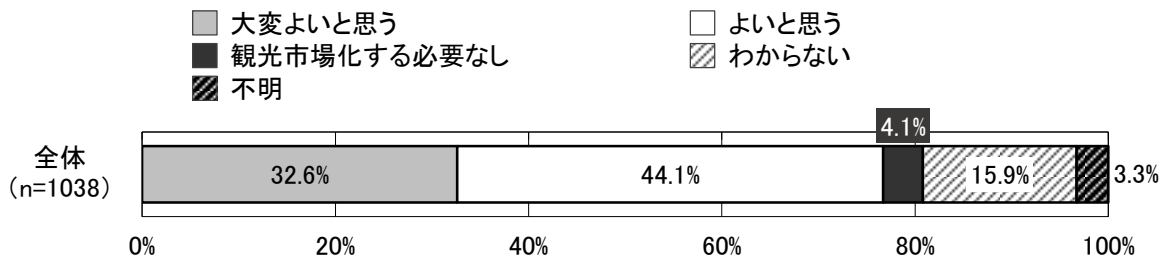
問 48 中央卸売市場を観光市場として再生し、整備することについて、どのように思いますか？
 あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 大変よいと思う
 - 2. よいと思う
 - 3. 観光市場化する必要なし
 - 4. わからない
- (理由：)

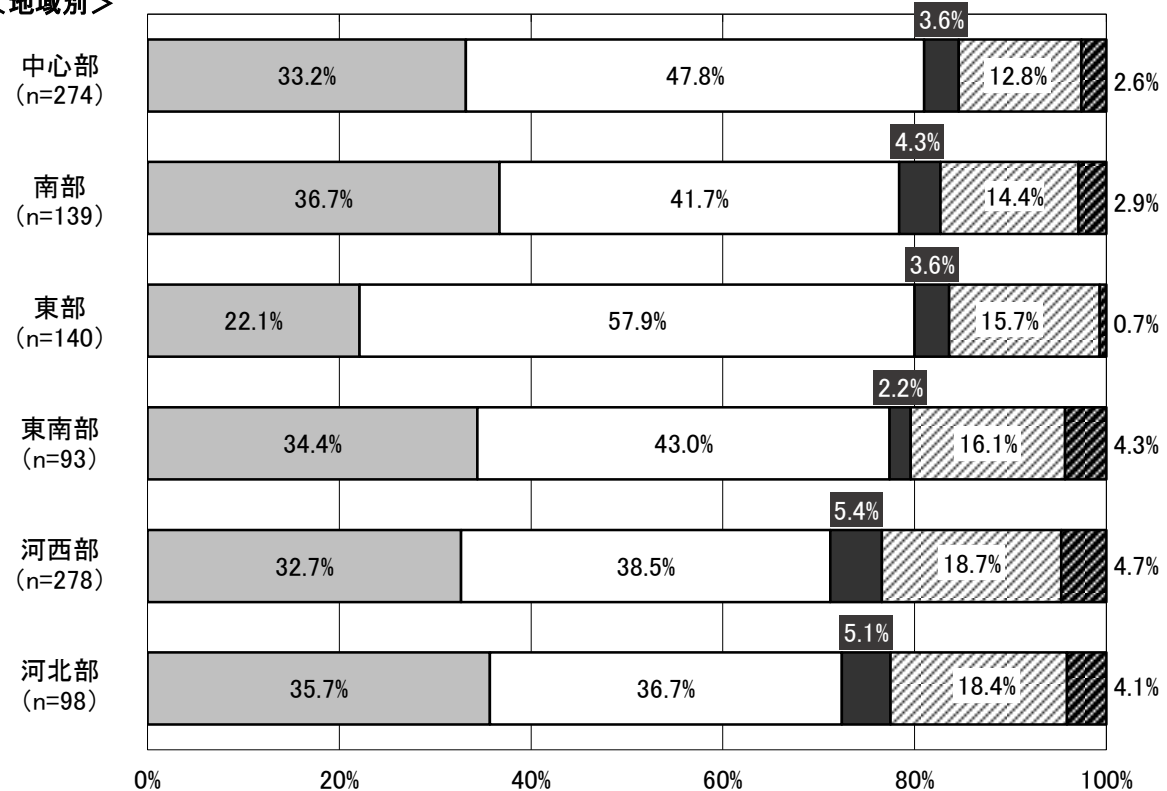
中央卸売市場の観光市場としての整備について、「大変よいと思う」(32.6%)、「よいと思う」(44.1%)をあわせた76.7%が賛成意見となっている。「観光市場化する必要なし」は4.1%、「わからない」は15.9%となっている。

地域別にみると、賛成意見が中心部(81.0%)、東部(80.0%)で8割を超えている。

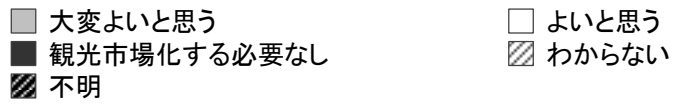
年代別にみると、賛成意見が50~59歳(81.3%)で8割を超えている。



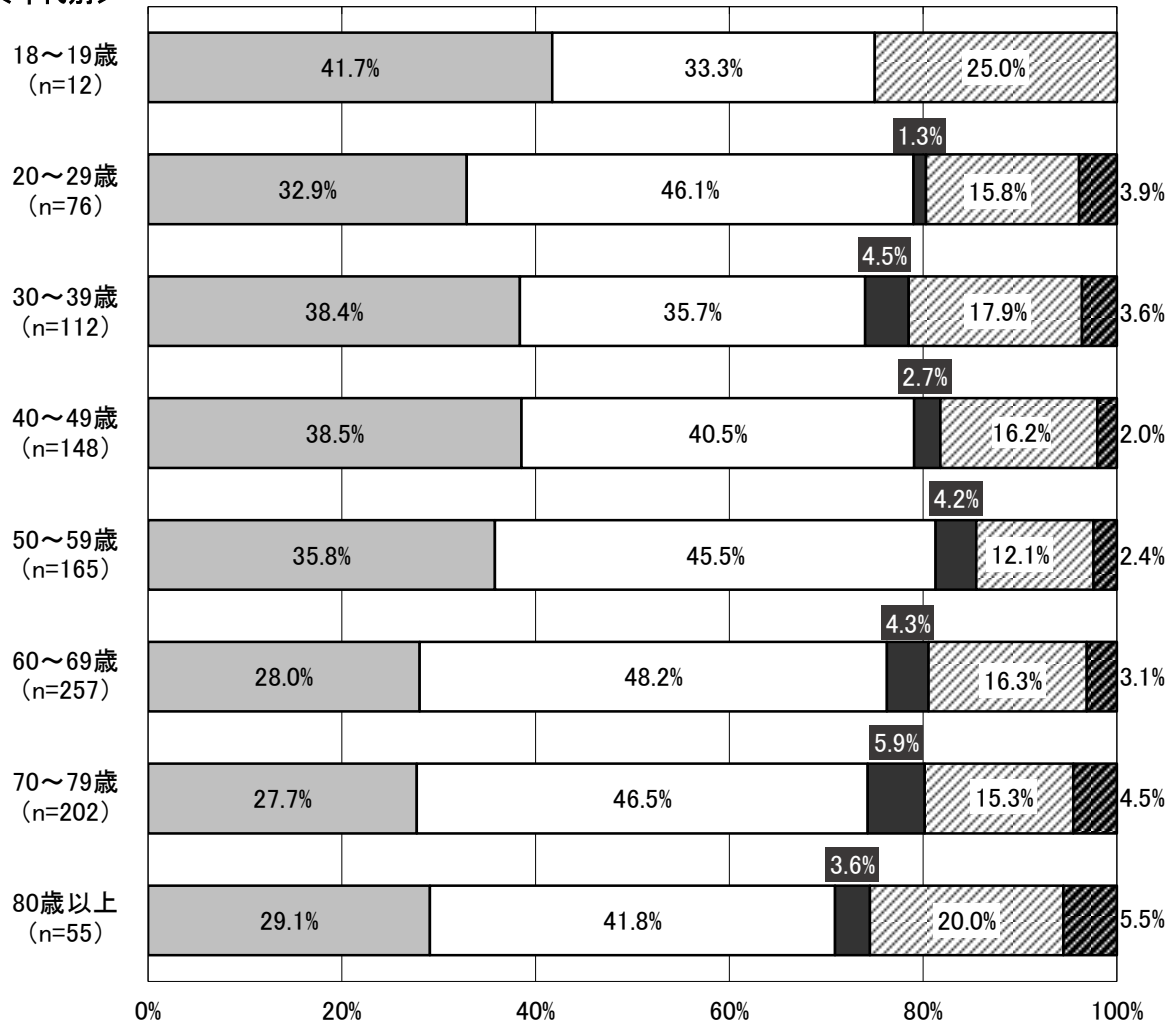
<地域別>



理由：「場所が悪い」、「和歌山市内に同様の施設がある」、「税金の無駄使い」、
 「まずは市民に良い食材を提供する事に専念してほしい。観光市場は漁港等の方が、
 観光客から喜ばれているのではないかな」など



<年代別>



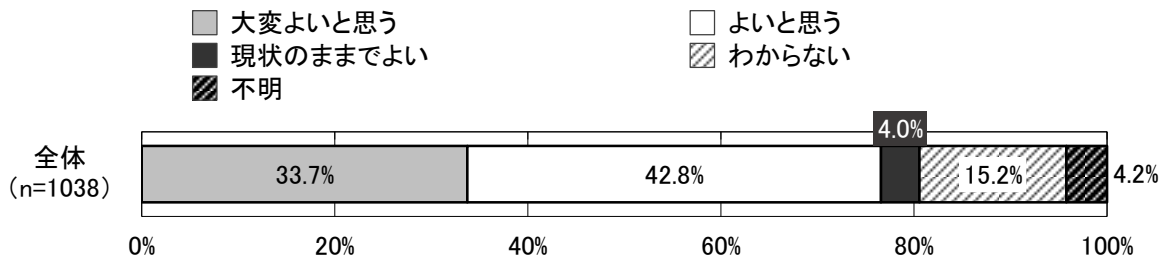
問 49 道の駅併設への評価

問 49 再整備した中央卸売市場に道の駅を併設することについて、どのように思いますか？
 あてはまるものを1つお選びください。

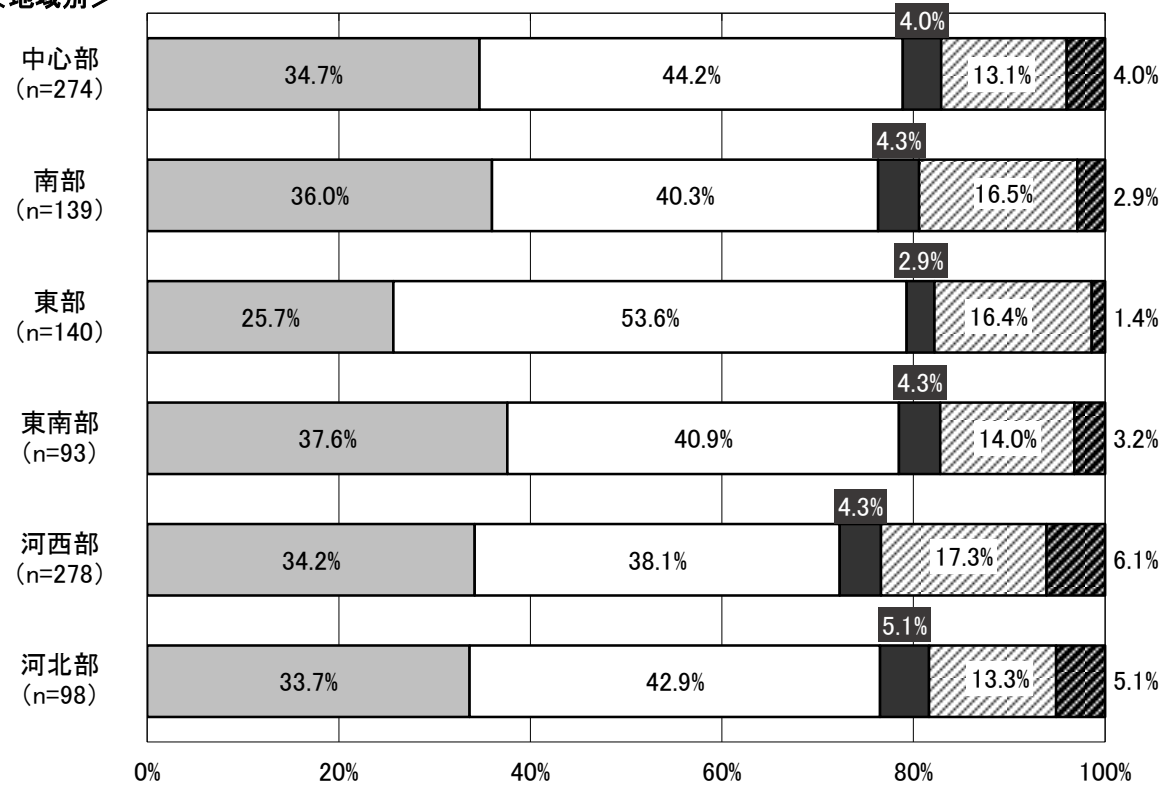
- 1. 大変よいと思う
 - 2. よいと思う
 - 3. 現状のままでよい
 - 4. わからない
- (理由：)

中央卸売市場の観光市場としての整備について、「大変よいと思う」(33.7%)、「よいと思う」(42.8%)をあわせた76.5%が賛成意見となっている。「現状のままでよい」は4.0%、「わからない」は15.2%となっている。

年齢別にみると、80歳以上で賛成意見が69.0%と比率が低めとなっている。



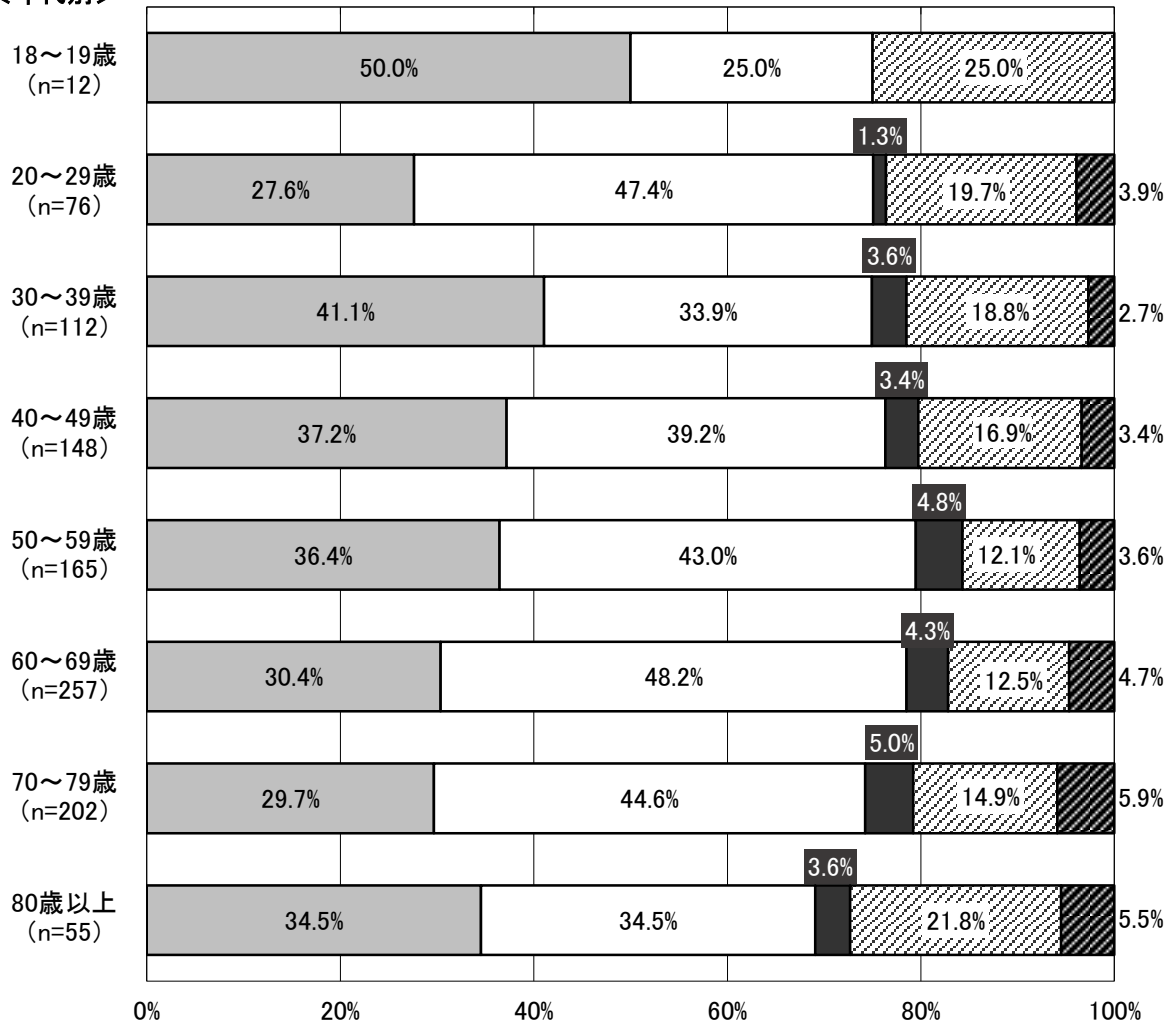
<地域別>



理由：「費用が掛かりすぎる」、「集客が多くなると考えられないから」、「観光ルートにない」など



<年代別>



問 50 道の駅に望ましい施設

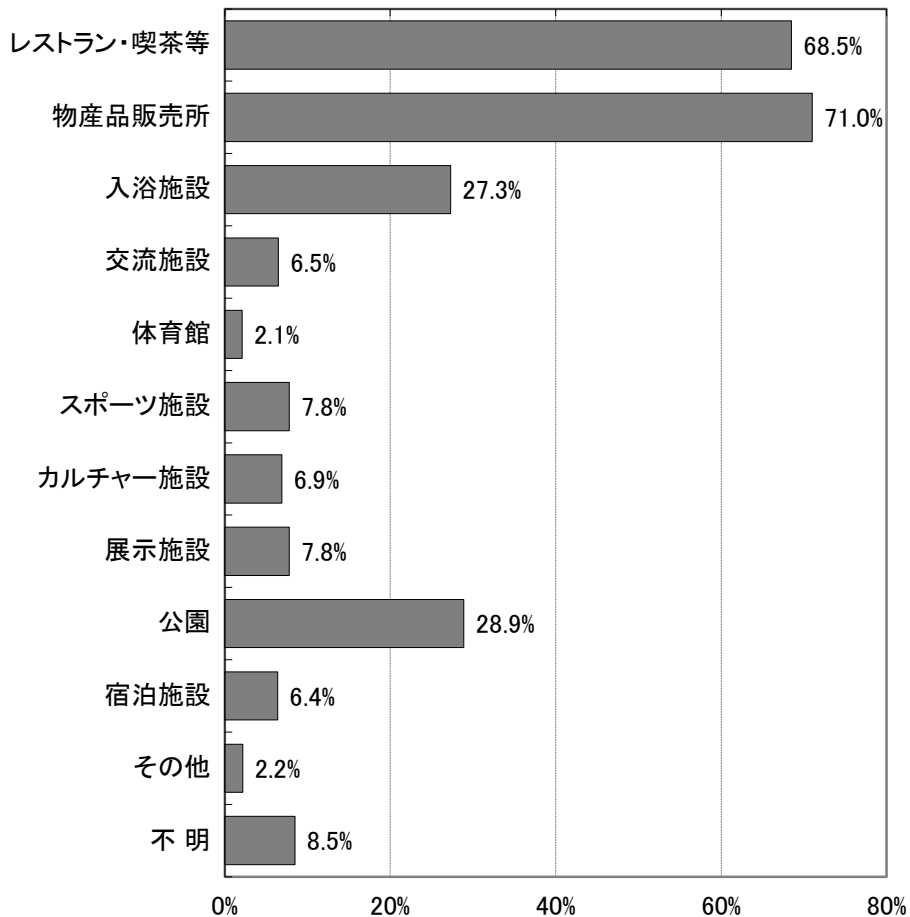
問 50 道の駅にどのような施設があれば利用したいと思いますか？

利用したいと思うものを3つまでお選びください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. レストラン・喫茶等 | 7. カルチャー施設 |
| 2. 物産品販売所 | 8. 展示施設 |
| 3. 入浴施設 | 9. 公園 |
| 4. 交流施設 | 10. 宿泊施設 |
| 5. 体育館 | 11. その他 () |
| 6. スポーツ施設 | |

道の駅に望ましい施設は、「物産品販売所」が71.0%と最も高く、次いで「レストラン・喫茶等」(68.5%)となっている。他の項目で20%を超えているのは、「公園」(28.9%)、「入浴施設」(27.3%)の2項目となっている。

n=1038



その他：「イベント広場」、「釣り公園」、「広い駐車場」など

10. 和歌山市の取り組みに対しての満足度・重要度について

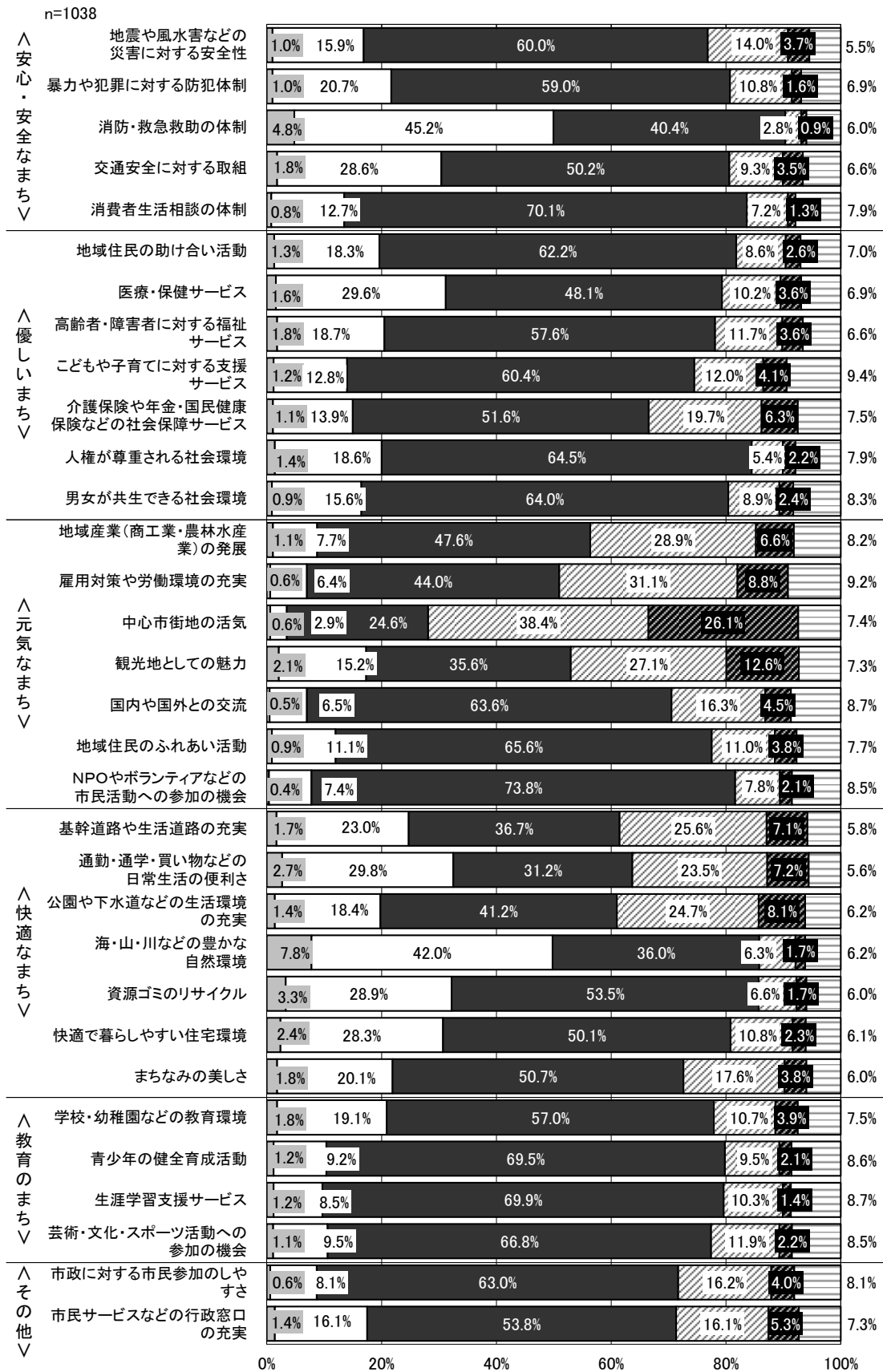
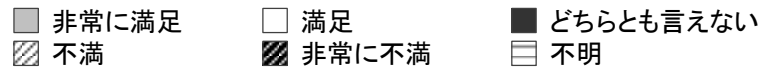
問51 和歌山市の市政一般の満足度と重要度

問51 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？
 満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

満足度： 1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらとも言えない 4. 不満 5. 非常に不満
 重要度： 1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらとも言えない 4. あまり重要ではない
 5. 全く重要ではない

安心・安全なまち	地震や風水害などの災害に対する安全性
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	消費者生活相談の体制
優しいまち	地域住民の助け合い活動
	医療・保健サービス
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
	こどもや子育てに対する支援サービス
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス
	人権が尊重される社会環境
元気なまち	男女が共生できる社会環境
	地域産業(商工業・農林水産業)の発展
	雇用対策や労働環境の充実
	中心市街地の活気
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	地域住民のふれあい活動
快適なまち	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会
	基幹道路や生活道路の充実
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	公園や下水道などの生活環境の充実
	海・山・川などの豊かな自然環境
	資源ごみのリサイクル
	快適で暮らしやすい住宅環境
教育のまち	まちなみの美しさ
	学校・幼稚園などの教育環境
	青少年の健全育成活動
	生涯学習支援サービス
その他	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

【満足度】



【満足率・不満率】

和歌山市の市政一般の満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）の高い項目は順に、「消防・救急救助の体制」（50.0%）、「海・山・川などの豊かな自然環境」（49.8%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（32.5%）、「資源ゴミのリサイクル」（32.2%）、「医療・保健サービス」（31.2%）となっており、「安心・安全なまち」と「快適なまち」に係わる項目の満足率が高めとなっている。

不満度（「不満」と「非常に不満」を合わせた計）の高い項目は順に「中心市街地の活気」（64.5%）、「雇用対策や労働環境の充実」（39.9%）、「観光地としての魅力」（39.7%）、「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」（35.5%）、「公園や下水道などの生活環境の充実」（32.8%）となっており、「元気なまち」に係わる項目の不満率が上位4位を占めている。

<性別>

満足率の上位5位について、性別にみると、男性は「交通安全に対する取組」（32.5%）、女性は「快適で暮らしやすい住宅環境」（33.8%）の順位が高めとなっている。

不満率の上位5位について、男性は「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」（38.3%）、女性は「観光地としての魅力」（41.4%）の順位が高めとなっている。

【満足率（「非常に満足」と「満足」の計）の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1038)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 50.0%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 49.8%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.5%	・ 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 32.2%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 31.2%
男性 (n=452)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 51.8%	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 49.8%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 32.5%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.1%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 31.2%
女性 (n=569)	・ 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 50.3%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 48.5%	・ 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 33.8%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 33.5%	・ 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 33.4%

【不満率（「非常に不満」と「不満」の計）の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1038)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 64.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 39.9%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 39.7%	・ 地域産業（商工業・農林水産業）の発展 【元気なまち】 35.5%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 32.8%
男性 (n=452)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 64.0%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 42.5%	・ 地域産業（商工業・農林水産業）の発展 【元気なまち】 38.3%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 37.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 36.3%
女性 (n=569)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 65.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 41.4%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 38.7%	・ 地域産業（商工業・農林水産業）の発展 【元気なまち】 34.1%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 32.6%

注① 同率の項目は並記している。

注② この表の満足率は「非常に満足」と「満足」の合計の割合であり、前ページのグラフの「非常に満足」と「満足」の割合を合計した数値と一致しない。（不満率も同様）

※注①と②は以降のページも同様である。

<年代別>

満足率の上位5位の項目について年代別にみると、20～59歳は「海、山、川などの豊かな自然環境」が1位であるのに対して、60歳以上は「消防・救急救助の体制」となっている。30～59歳は「快適で暮らしやすい住宅環境」と「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が、60歳以上は「資源ゴミのリサイクル」が、80歳以上は「医療・保健サービス」と「快適で暮らしやすい住宅環境」の順位が高めとなっている。

【満足率(「非常に満足」と「満足」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=12)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 学校・幼稚園などの教育環境 【教育のまち】 		
	50.0%				41.6%
20～29歳 (n=76)	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> まちなみの美しさ 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】
	52.6%	39.4%	28.9%	26.3%	23.7%
30～39歳 (n=112)	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 		
	64.3%	40.2%			33.1%
40～49歳 (n=148)	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】
	52.7%	49.4%	39.8%	37.9%	31.8%
50～59歳 (n=165)	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 	
	45.4%	41.2%	24.8%		24.2%
60～69歳 (n=257)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 医療・保健サービス 【優しいまち】
	53.7%	46.3%	37.3%	35.8%	30.0%
70～79歳 (n=202)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】
	59.9%	50.0%	44.0%	42.6%	34.7%
80歳以上 (n=55)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 	
	58.2%		45.5%		41.8%

<地域別>

満足率の上位5位の項目について地域別にみると、いずれの地域も上位2位は「消防・救急救助の体制」と「海・山・川などの豊かな自然環境」で共通している。中心部は「快適で暮らしやすい住宅環境」、南部と河西部は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、東部は「医療・保健サービス」、東南部と河北部は「資源ゴミのリサイクル」の順位が高めとなっている。

【満足率(「非常に満足」と「満足」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=274)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 55.1%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 54.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 36.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 35.8%	・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 35.0%
南部 (n=139)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 47.4%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 44.6%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 30.2%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 25.2%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 ・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 20.8%
東部 (n=140)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 49.3%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 42.2%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 31.4%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 30.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 ・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 27.9%
東南部 (n=93)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 59.2%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 52.7%	・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 41.9%	・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 38.7%	・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 37.6%
河西部 (n=278)	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 50.7%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 46.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 36.3%	・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 35.6%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 32.8%
河北部 (n=98)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【快適なまち】 54.1%	・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 47.0%	・資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】 31.7%	・医療・保健サービス 【優しいまち】 31.6%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 28.5%

<年代別>

不満率の上位5位の項目について年代別にみると、いずれの年代も1位は「中心市街地の活気」で共通している。2位は18～19歳が「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、20～29歳、60歳以上は「観光地としての魅力」、30～59歳は「雇用対策や労働環境の充実」となっている。

【不満率(「非常に不満」と「不満」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=12)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 50.0%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 41.7%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 41.6%	・ 高齢者・障害者に対する福祉サービス 【優しいまち】 ・ 市民サービスなどの行政窓口の充実 【その他】 33.3%	
20～29歳 (n=76)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 68.4%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 52.7%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 43.4%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 ・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 40.8%	
30～39歳 (n=112)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 69.6%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 50.9%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 43.7%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 42.9%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 39.3%
40～49歳 (n=148)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 65.6%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 46.0%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 37.8%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 35.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 32.5%
50～59歳 (n=165)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 73.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 55.2%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 50.3%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 46.1%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 ・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 44.3%
60～69歳 (n=257)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 67.7%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 44.0%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 42.8%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 39.7%	・ 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【優しいまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 34.6%
70～79歳 (n=202)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 52.0%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 28.2%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 24.8%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 22.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 21.3%
80歳以上 (n=55)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 54.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 30.9%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 25.4%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 23.6%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 21.8%

<地域別>

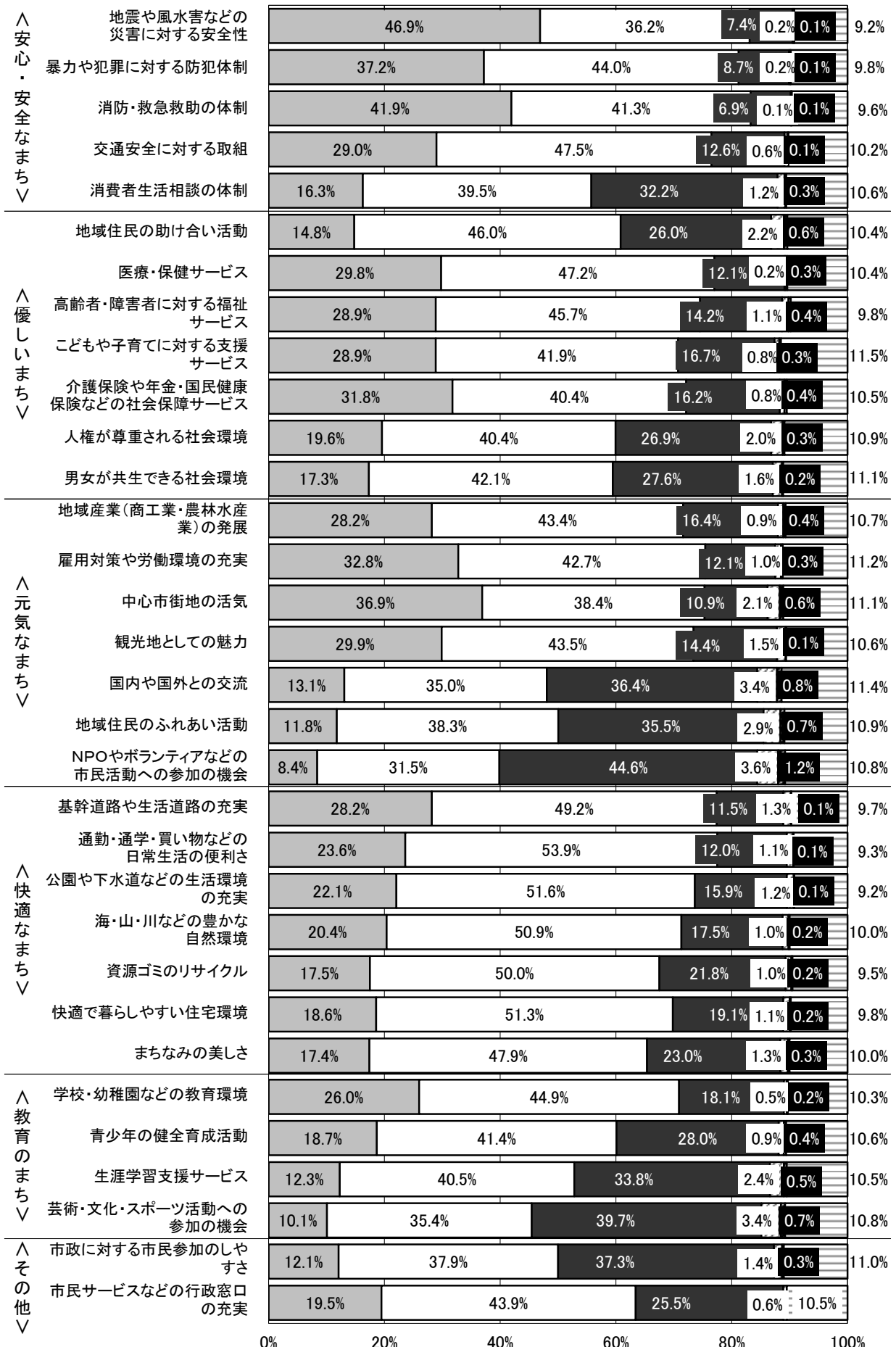
不満率の上位5位の項目について地域別でみると、いずれの地域も1位は「中心市街地の活気」で共通している。2位は中心部と河北部は「観光地としての魅力」、南部、東南部、河西部は「雇用対策や労働環境の充実」、東部は「公園や下水道などの生活環境の充実」となっている。

【不満率(「非常に不満」と「不満」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=274)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 69.0%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 43.5%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 41.3%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 40.5%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 31.4%
南部 (n=139)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 64.7%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 41.8%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 38.1%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 36.7%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 32.4%
東部 (n=140)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 60.0%	・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 40.7%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 39.3%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 ・ 観光地としての魅力 【元気なまち】	35.7%
東南部 (n=93)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 60.2%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 36.6%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 ・ 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】	35.5%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 32.3%
河西部 (n=278)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 63.4%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 41.3%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 40.2%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 36.0%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 34.9%
河北部 (n=98)	・ 中心市街地の活気 【元気なまち】 69.4%	・ 観光地としての魅力 【元気なまち】 44.9%	・ 地域産業(商工業・農林水産業)の発展 【元気なまち】 42.8%	・ 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 41.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 37.8%

【重要度】

非常に重要
 重要
 どちらとも言えない
 あまり重要ではない
 全く重要ではない
 不明



【重要率】

重要率の高い項目は順に「消防・救急救助の体制」（83.2%）、「地震や風水害などの災害に対する安全性」（83.1%）、「暴力や犯罪に対する防犯体制」（81.2%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（77.5%）、「基幹道路や生活道路の充実」（77.4%）となっており、“安心・安全なまち”、“快適なまち”に係わる項目の重要率が高めとなっている。

<性別>

重要率の上位5位について、性別にみると、上位3位は全体と同様の項目となっている。次いで男性は「基幹道路や生活道路の充実」（76.6%）、「医療・保健サービス」（76.4%）、女性は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（80.4%）、「交通安全に対する取組」（79.0%）となっている。

【重要率(「非常に重要」と「重要」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1038)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 83.2%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 83.1%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 81.2%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 77.5%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 77.4%
男性 (n=452)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 82.9%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 82.5%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 82.0%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 76.6%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 76.4%
女性 (n=569)	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 84.3%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 84.2%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 81.0%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 80.4%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 79.0%

注① 同率の項目は並記している。

注② この表の重要率は「非常に重要」と「重要」の合計の割合であり、前ページのグラフの「非常に重要」と「重要」の割合を合計した数値と一致しない。

※注①と②は以降のページも同様である。

<年代別>

重要率の上位5位の項目をみると、18～19歳は“優しいまち”“快適なまち”に関する項目が1位となっている。20～29歳、40～69歳、80歳以上は3位までが「消防・救急救助の体制」、「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「暴力や犯罪に対する防犯体制」で共通している。30～39歳は「医療・保健サービス」、70～79歳は「基幹道路や生活道路の充実」、「交通安全に対する取組」の順位が高めとなっている。

【重要率(「非常に重要」と「重要」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=12)	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 ・子どもや子育てに対する支援サービス 【優しいまち】 ・基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 				<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 ・暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 ・交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 ・高齢者・障害者に対する福祉サービス 【優しいまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】
				83.4%	83.3%
20～29歳 (n=76)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 観光地としての魅力 【元気なまち】 ・雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】 	
	89.5%	88.2%	85.5%		84.2%
30～39歳 (n=112)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】
	88.4%	86.6%	85.7%	84.9%	83.9%
40～49歳 (n=148)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】
	90.6%	85.8%	85.1%	84.4%	83.1%
50～59歳 (n=165)	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用対策や労働環境の充実 【元気なまち】
	88.5%	87.8%	85.5%	83.6%	81.8%
60～69歳 (n=257)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の活気 【元気なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・保健サービス 【優しいまち】
	87.6%	86.4%	85.2%	81.3%	79.4%
70～79歳 (n=202)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 資源ゴミのリサイクル 【快適なまち】
	71.8%	69.8%	68.3%	67.8%	67.3%
80歳以上 (n=55)	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 ・消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 		<ul style="list-style-type: none"> 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 	<ul style="list-style-type: none"> 公園や下水道などの生活環境の充実 【快適なまち】 ・快適で暮らしやすい住宅環境 【快適なまち】 	
		74.5%	72.8%		70.9%

<地域別>

重要率の上位5位の項目をみると、いずれの地域も“安心・安全なまち”に関する項目が上位となっている。中心部と南部は「医療・保健サービス」、東部と東南部は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、河西部は「基幹道路や生活道路の充実」、河北部は「基幹道路や生活道路の充実」、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」の順位が高めとなっている。

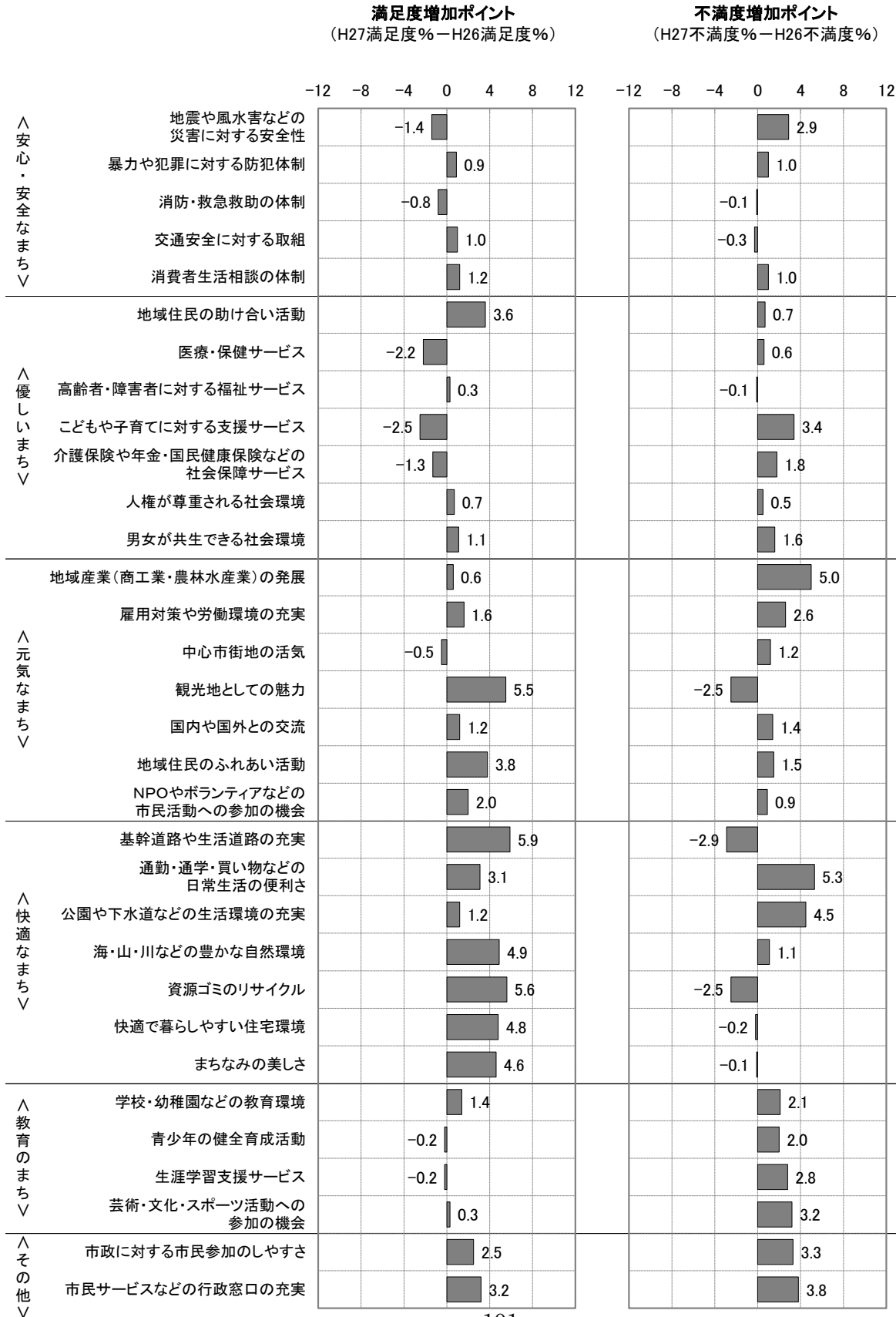
【重要率(「非常に重要」と「重要」の計)の割合】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=274)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 86.5%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 85.7%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 84.3%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 80.0%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 79.6%
南部 (n=139)	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 86.3%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 82.0%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 80.6%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 77.7%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 77.0%
東部 (n=140)	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 82.2%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 ・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】	81.5%	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 80.8%	・ 医療・保健サービス 【優しいまち】 79.3%
東南部 (n=93)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 83.9%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】	79.6%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 78.5%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 77.4%
河西部 (n=278)	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 83.4%	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 82.0%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 80.9%	・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】 80.6%	・ 交通安全に対する取組 【安心・安全なまち】 ・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】 75.9%
河北部 (n=98)	・ 地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心・安全なまち】 85.7%	・ 消防・救急救助の体制 【安心・安全なまち】 ・ 基幹道路や生活道路の充実 【快適なまち】	・ 通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【快適なまち】	81.6%	・ 暴力や犯罪に対する防犯体制 【安心・安全なまち】 80.6%

【満足度：前年度の比較】

平成26年度と平成27年度の満足度（「非常に満足」、「満足」の割合）の変化は、「基幹道路や生活道路の充実」、「資源ゴミのリサイクル」、「観光地としての魅力」が5ポイント以上増加している。

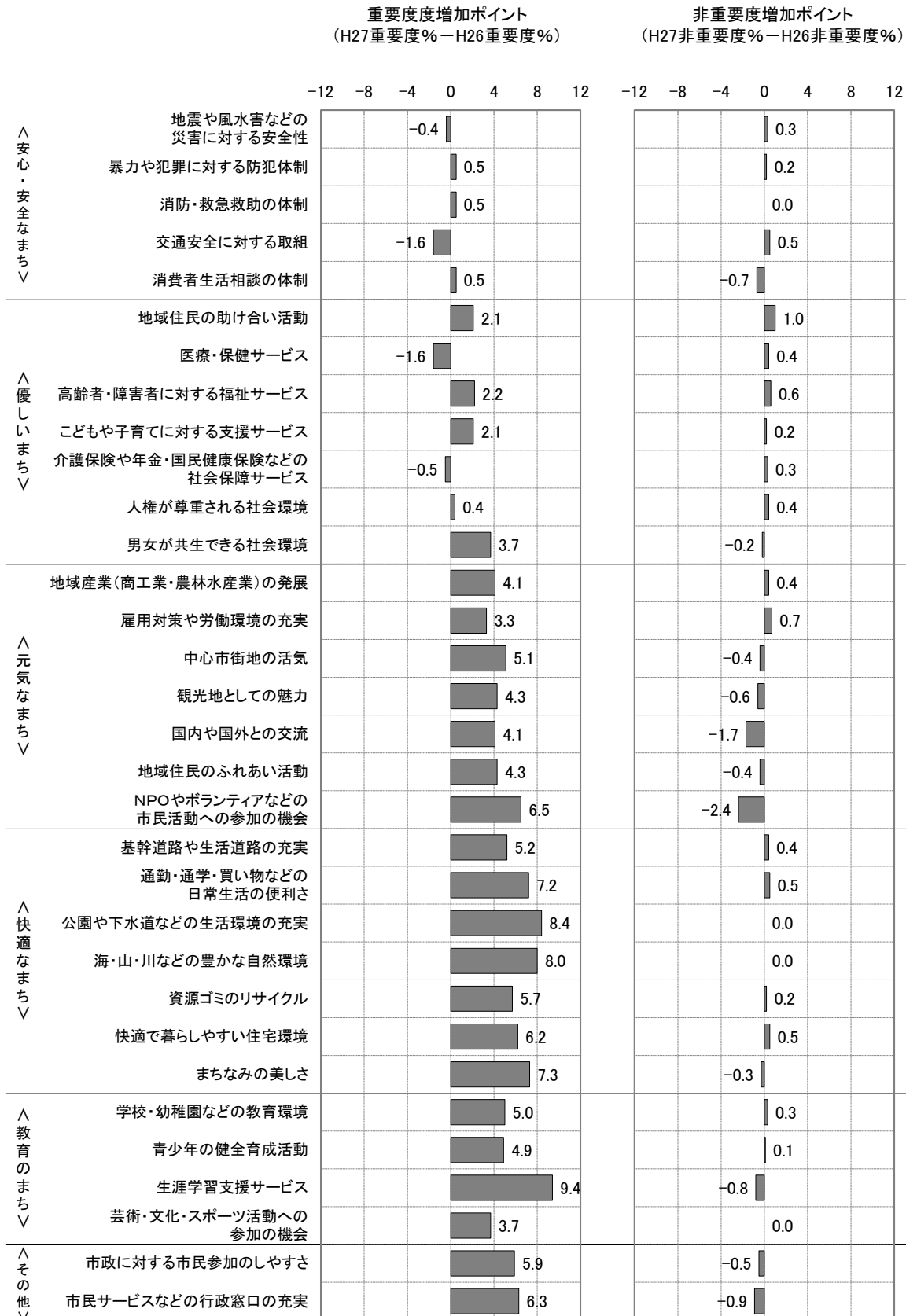
不満足度（「非常に不満」、「不満」の割合）の変化は、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」が5ポイント以上増加している。



【重要度：前年度の比較】

平成26年度と平成27年度の重要度（「非常に重要」、「重要」の割合）の変化は、“快適なまち” “その他”に関する全ての項目が5ポイント以上増加、“元気なまち”、“教育のまち”に関する全ての項目が3ポイント以上増加している。特に「生涯学習支援サービス」は9.4ポイント増加している。

非重要度（「あまり重要でない」、「全く重要ではない」の割合）については大きな変化はみられなかった。



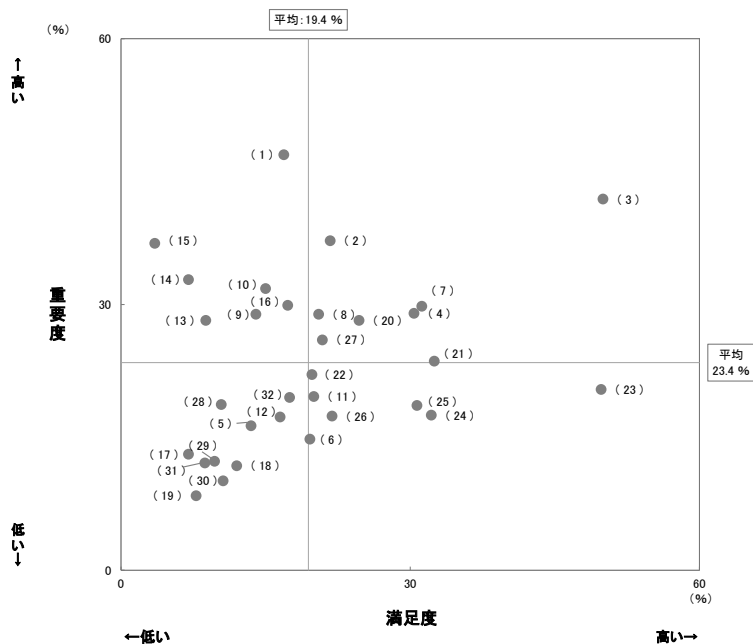
【重要度と満足度ギャップ分析（ポートフォリオ）】

「重要度（「非常に重要」の比率）」と「満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた計）」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が満足度を 10.0 ポイント以上上回る項目は「(15) 中心市街地の活気」「(1) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(14) 雇用対策や労働環境の充実」、「(13) 地域産業（商工業・農林水産業）の発展」「(10) 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「(2) 暴力や犯罪に対する防犯体制」、「(9) こどもや子育てに対する支援サービス」、「(16) 観光地としての魅力」の 8 項目である。

満足度が重要度を 10.0 ポイント以上上回る項目は「(23) 海・山・川などの豊かな自然環境」、「(24) 資源ゴミのリサイクル」、「(25) 快適で暮らしやすい住宅環境」の 3 項目である。

凡例	項目名	満足度計	重要度
(1)	地震や風水害などの災害に対する安全性	16.9	46.9
(2)	暴力や犯罪に対する防犯体制	21.7	37.2
(3)	消防・救急救助の体制	50.0	41.9
(4)	交通安全に対する取組	30.4	29.0
(5)	消費者生活相談の体制	13.5	16.3
(6)	地域住民の助け合い活動	19.6	14.8
(7)	医療・保健サービス	31.2	29.8
(8)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	20.5	28.9
(9)	こどもや子育てに対する支援サービス	14.0	28.9
(10)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	15.0	31.8
(11)	人権が尊重される社会環境	20.0	19.6
(12)	男女が共生できる社会環境	16.5	17.3
(13)	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	8.8	28.2
(14)	雇用対策や労働環境の充実	7.0	32.8
(15)	中心市街地の活気	3.5	36.9
(16)	観光地としての魅力	17.3	29.9
(17)	国内や国外との交流	7.0	13.1
(18)	地域住民のふれあい活動	12.0	11.8
(19)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	7.8	8.4
(20)	基幹道路や生活道路の充実	24.7	28.2
(21)	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	32.5	23.6
(22)	公園や下水道などの生活環境の充実	19.8	22.1
(23)	海・山・川などの豊かな自然環境	49.8	20.4
(24)	資源ゴミのリサイクル	32.2	17.5
(25)	快適で暮らしやすい住宅環境	30.7	18.6
(26)	まちなみの美しさ	21.9	17.4
(27)	学校・幼稚園などの教育環境	20.9	26.0
(28)	青少年の健全育成活動	10.4	18.7
(29)	生涯学習支援サービス	9.7	12.3
(30)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	10.6	10.1
(31)	市政に対する市民参加のしやすさ	8.7	12.1
(32)	市民サービスなどの行政窓口の充実	17.5	19.5



※重要度と満足度のギャップをみるにあたり、重要度を「非常に重要」と「重要」を合わせた数値で満足度（「非常に満足」と「満足」の計）のギャップをみると項目間の差が判断しにくいいため、重要度に関しては「非常に重要」の数値を採用した。

1 1. 和歌山市の市政について（自由意見）

自由意見は307人の回答者より、503件の意見があった。
その概要については、以下のとおりである。

【ご意見の概要】

大項目	中項目	小項目	件数
1	環境		20
	1 地球環境 (騒音・水質など)	1 振動、振動や大気汚染の防止など良好な生活環境の確保	2
	2 ごみの適正処理とリサイクル	1 ごみの適正処理	4
		2 リサイクルの推進	0
	3 自然環境(緑・河川など)	1 自然環境(緑、河川、水辺など)の保全と再生	4
		2 河川の管理(既存の安全面・環境面)	0
	4 都市景観とまちの美化	1 都市景観の保全	7
		2 まちの美化	6
		3 喫煙対策	1
		4 放置自転車の撤去(乗捨て、不法投棄)	0
	5 その他	1 その他	3
2	健康・福祉		64
	1 子育て支援	1 子育て支援	23
	2 高齢者福祉	1 高齢者福祉	23
	3 障害者福祉	1 障害者福祉	19
	4 健康づくりと地域医療機関	1 障害者福祉	5
		1 健康づくりの推進	5
		2 地域医療機関の充実	1
	5 公共施設、交通関連施設などのバリアフリー	1 公共施設、交通関連施設などのバリアフリー	4
	6 食品・生活環境の安全	1 公共施設、交通関連施設などのバリアフリー	2
		1 食品・生活環境の安全	2
		2 動物の飼育管理	3
	7 その他	1 低所得者支援	7
		2 墓地	5
		3 その他	1
3	教育・文化・スポーツ		47
	1 学校教育	1 学校教育の充実	22
		2 高等教育の充実	7
	2 青少年の育成	1 青少年の健全育成	15
	3 生涯学習や施設	1 生涯学習の振興・充実	3
		2 市民会館に関すること	3
		3 市民図書館に関すること	11
	4 スポーツ・レクリエーションの振興・施設	1 スポーツ・レクリエーションの振興	5
		2 活動環境の充実	3
	5 地域文化の保全や芸術・文化活動	1 地域文化の保全	2
		2 文化芸術活動の振興	3
		3 活動環境の充実	0
4	都市基盤・交通		107
	1 公園の整備や緑化	1 公園の整備	10
		2 公園の管理・運営	5
		3 緑化の推進	4
	2 市街地の整備(活性化を含む)	1 駅周辺	1
		2 中心市街地	30
	3 道路の整備や鉄道・バス輸送	1 駐車・駐輪場整備、違法駐車・放置自転車	17
		2 道路の整備	13
		3 道路の管理	6
		4 鉄道・バス輸送サービスの充実	61
	4 計画・開発	1 計画的なまちづくり	6
		2 開発の規制	3
		3 その他	3

大項目	中項目	小項目	件数
5	産業・経済		60
	1 商店街や中小企業、農業、水産業		16
		1 中小企業支援	2
		2 商店街の活性化	10
		3 農業、水産業の振興	4
	2 新しい産業や高度な業務機能の集積		13
		1 新たな産業の創造	0
		2 企業立地・集積の促進	13
	3 観光・シティセールスの推進		20
		1 観光の振興	19
		2 シティセールスの推進	1
	4 産業人材育成、就労支援や環境整備		10
		1 産業人材の育成	0
		2 就労支援の充実	3
		3 就労環境の整備	7
	5 その他		1
		1 その他	1
6	安全・生活基盤		32
	1 防災・治水対策や消防体制		9
		1 防災、治水対策	9
		2 消防体制の充実	0
	2 交通事故と防犯		8
		1 交通事故の防止	3
		2 防犯対策	5
	3 飲料水の供給、下水道・住宅・ガス等の整備		15
		1 飲料水の供給	2
		2 下水道の整備	8
		3 し尿処理	1
		4 都市ガスの整備	1
		5 住宅の整備	3
7	交流・コミュニティ		5
	1 市民活動やコミュニティ活動		5
		1 市民活動やコミュニティ活動の促進	5
8	その他・総合		168
	1 総合(政策・制度など)		97
		1 公共施設(施設管理・業務)	5
		2 その他施設(学校・保育所など)	1
		3 議会・議員(広報)	1
		4 行財政改革	5
		5 都市経営・運営	59
		a 住みよいまち	15
		b 活性化	10
		c その他	34
		6 広報・広聴・情報公開	26
	2 総合(職員、組織など)		30
		1 職員の対応・仕事	19
		2 職員給与・職員数・採用	4
		3 議会・議員(給与・数・あり方)	7
	3 財政		11
		1 税等(保険料・使用料)	7
		2 状況	4
	4 市民意識調査		14
		1 市民意識調査	14
	5 その他		16
		1 お礼	7
		2 その他	9
	合 計		503

調査票

Ⅲ. 調査票

和歌山市政世論調査(平成27年度)アンケート調査票

このアンケートは、11月9日(月)までに返信用封筒に入れて、切手を貼らずにお出してください。

1 あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 あなたの居住区はどこですか？

1. 中心部

本町・城北・広瀬・雄湊・大新・新南・吹上・砂山・今福・高松・芦原・宮前・中之島・宮北

2. 南部

雑賀・雑賀崎・和歌浦・名草・田野

3. 東部

四箇郷・宮・西和佐・和佐・小倉

4. 東南部

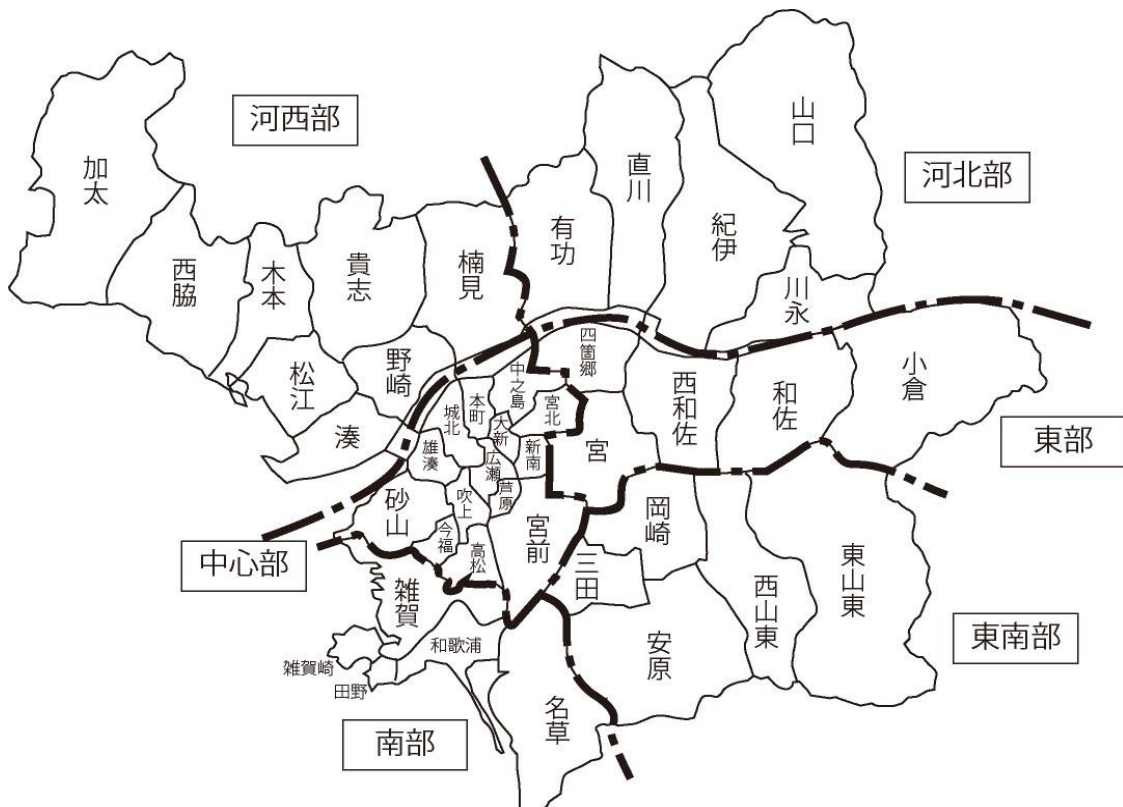
岡崎・三田・安原・西山東・東山東

5. 河西部

野崎・湊・松江・楠見・貴志・木本・西脇・加太

6. 河北部

有功・直川・紀伊・川永・山口



問2 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの年齢は？

1. 18～19歳 3. 30～39歳 5. 50～59歳 7. 70～79歳
2. 20～29歳 4. 40～49歳 6. 60～69歳 8. 80歳以上

問4 あなたの職業は？

1. 会社員 6. 専業主婦
2. 自営業 7. 学生
3. 農林水産業 8. 無職
4. 公務員 9. その他
5. パート・アルバイト ()

問5 あなたが和歌山市に住んでいる年数は？

1. 1年未満 5. 10～20年未満
2. 1～3年未満 6. 20～30年未満
3. 3～5年未満 7. 30年以上
4. 5～10年未満

問6 あなたは現在、結婚をしていますか？

1. 結婚している 3. 結婚していない
2. 配偶者と離・死別した

**問6-1 問6で「1. 結婚している」と回答された方のみお答えください。
夫婦ともに働いていますか？**

1. 夫婦共働きである 3. 妻のみ働いている
2. 夫のみ働いている 4. どちらも働いていない

問7 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 自分ひとり 7. 自分の親
2. 配偶者 8. 配偶者の親
3. 子ども（未婚） 9. 兄弟姉妹
4. 子ども（既婚） 10. 祖父母
5. 子どもの配偶者 11. その他
6. 孫 ()

2 あなたの身の回りの状況やお考えについてお尋ねします。

問8 あなたご自身の状況やお考えについてお答えください。

(1) 和歌山市が住みよいまちだと感じていますか？

1. はい 2. いいえ

(2) 身近に相談したり、助けてもらえる人がいますか？

1. はい 2. いいえ

(3) あなたは、悪質商法による被害にあわないために日頃から気をつけていることはありますか？

1. はい 2. いいえ

(4) ご家庭のかかりつけ医はありますか？

1. はい 2. いいえ

(5) お子様のご家庭のかかりつけ医はありますか？ (0～14歳のお子様がいらっしゃる方のみ)

1. はい 2. いいえ

(6) 高齢者が住み慣れた地域で充実した生活を送れていると思いますか？

1. はい 2. いいえ

(7) あなたの身の回りで人権が守られていると思いますか？

1. はい 2. いいえ

(8) 日頃から趣味や関心のあるテーマについて、自主的に学習活動を行っていますか？

1. はい 2. いいえ

(9) 日頃から芸術文化活動を行い、または鑑賞する機会をもっていますか？

1. はい 2. いいえ

**3 南海和歌山市駅周辺の活性化についてお尋ねします。
(資料①をご覧のうえ、お答えください。)**

問9 新南海和歌山市駅ビルに新しい市民図書館を移転することについて、どのように思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 大変よいと思う | 3. 移転の必要はない |
| 2. よいと思う | 4. わからない |

【理由： _____】

**問10 新しい市民図書館を建設する場合、どのような設備を望みますか？
あてはまるものをすべてお選びください。**

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 読書活動団体等の交流室 | 6. 自習室 |
| 2. 求職情報コーナー | 7. カフェコーナー |
| 3. W i - F i が利用できる環境 | 8. 地域観光情報コーナー |
| 4. インターネット端末 | 9. その他 (_____) |
| 5. 子育て支援コーナー (子育て世代の交流コーナー) | |

問11 新しい図書館を利用される場合、交通手段は主にどのようなものになりますか？

- | | |
|--------|------------------|
| 1. 鉄道 | 5. バイク |
| 2. バス | 6. 徒歩 |
| 3. 自動車 | 7. その他 (_____) |
| 4. 自転車 | |

**問12 市が管理する和歌山市駅前広場を整備することについて、どのように思いますか？
あてはまるものを1つお選びください。(資料①裏面参照)**

- | | |
|------------------------|--|
| 1. 大変よいと思う | |
| 2. よいと思う | |
| 3. 現状のままでよい【理由： _____】 | |
| 4. わからない | |

**問13 和歌山市駅前広場を整備する場合、どのような設備を望みますか？
あてはまるものを3つお選びください。**

- | | | |
|------------|------------------|---------------------|
| 1. 観光案内所 | 6. シンボリック的モニュメント | 11. イベント広場 |
| 2. 屋根付休憩施設 | 7. レンタサイクル | 12. シェルター (雨よけ用の屋根) |
| 3. ベンチ | 8. 交番 | 13. その他 (_____) |
| 4. 公衆トイレ | 9. 防犯カメラ | |
| 5. 時計台 | 10. フリーW i - F i | |

問 14 和歌山市駅周辺に、どのような都市機能を望みますか？

あてはまるものを3つお選びください。

- | | | |
|-----------------|----------------|---|
| 1. 事務所 | 7. 老人福祉施設 | 13. ビジネスホテル |
| 2. 商業施設（ファッション） | 8. 生涯学習施設 | 14. 郵便局 |
| 3. 商業施設（飲食店） | 9. 専門学校 | 15. 駐車場 |
| 4. 商業施設（小売り） | 10. 学習塾・予備校 | 16. 公園 |
| 5. 医療施設 | 11. マンション | 17. その他（ ） |
| 6. 託児施設 | 12. 高齢者向けマンション | |

問 15 市道市駅前線の車道（資料①裏面参照）を縮小し、歩道を拡幅することについて、どのように思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------|---|
| 1. 大変よいと思う | 3. 現状のままでよい |
| 2. よいと思う | 【理由： 】 |
| | 4. わからない |

問 16 歩道を拡幅した場合、歩道の活用策について、最も優先させてほしいことを1つお選びください。

- | | |
|------------------|--|
| 1. オープンカフェ | 4. イベントスペースの整備 |
| 2. 緑化スペース | 5. その他（ ） |
| 3. ベンチ等のくつろぎスペース | |

**4 和歌山市立伏虎中学校の跡地の活用についてお尋ねします。
（資料②をご覧のうえ、お答えください。）**

問17 伏虎中学校跡地に新しい市民会館を移転することについて、どのように思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------|---|
| 1. 大変よいと思う | 3. 現状のままでよい |
| 2. よいと思う | 【理由： 】 |
| | 4. わからない |

問 18 伏虎中学校跡地に大学（県立医科大学薬学部）を誘致することについて、どのように思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------|---|
| 1. 大変よいと思う | 3. 現状のままでよい |
| 2. よいと思う | 【理由： 】 |
| | 4. わからない |

問 19 新しい市民会館を建設する場合、どのような設備を望みますか？

あてはまるものを3つお選びください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 音響性能 | 11. ゆとりあるエントランス、ロビー、
各ホールのホワイエ※ |
| 2. 舞台機能の充実 | 12. レストラン・カフェ等の飲食・喫茶機能 |
| 3. 高齢者や障害のある方、乳幼児を
同伴された方にも優しい施設 | 13. 各種ショップ・売店 |
| 4. 鑑賞しやすい椅子や座席配置 | 14. 施設まわりの緑地空間 |
| 5. 外観デザイン | 15. 公共交通機関でのアクセス |
| 6. 内部空間の雰囲気作りやデザイン | 16. 駐車場の整備 |
| 7. 大型トラックが入れる搬入口の確保 | 17. 駐輪場の整備 |
| 8. 楽屋などゆとりある舞台裏 | 18. その他 |
| 9. 音響室、投稿室などの技術室 | () |
| 10. 練習スタジオや録音室などの活動室の充実 | |

※ ホワイエ：劇場・会議室・ホールなどの入口から観客室に至る広い通路空間で、客の待ち合わせ場所、幕間の休憩や歓談、社交の場として使われる。

問 20 市民ホールについて、望ましいと思う【タイプ】や【用途】はどのようなものですか？

あてはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。

【タイプ】

- | |
|--------------------------|
| 1. 音楽、演劇、集会等に利用できる多目的ホール |
| 2. 音響性能に優れた音楽向けのホール |
| 3. 舞台機能が充実した演劇等向けのホール |
| 4. その他 () |
| 5. わからない |

【用途】

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 発表会 | 5. コンサート |
| 2. 演劇 | 6. 講演会 |
| 3. 室内楽 | 7. その他 () |
| 4. ミュージカル | 8. わからない |

5 男女共生についてお尋ねします。

問 21 あなたは、「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか？つぎの中から1つお選びください。

- | | | |
|---------------|---------------|----------|
| 1. 賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば賛成 | 4. 反対 | |

6 人口減少・少子化対策についてお尋ねします。 (資料③をご覧のうえ、お答えください。)

問 22 あなたの理想の子どもの人数は何人ですか？または、何人と考えていましたか？
(実際の出産予定や人数ではなく“理想の”合計人数をお選びください。)

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1. 0人 | 3. 2人 | 5. 4人 | 7. 6人以上 |
| 2. 1人 | 4. 3人 | 6. 5人 | |

問 23 現実にいらっしゃる子どもの人数、または、持とうと予定されている子どもの人数は理想の人数と比べていかがですか？あてはまるものをお選びください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 多い | 2. 同じ | 3. 少ない |
|-------|-------|--------|

問 24 理想の人数の子どもを持つことにためらいを感じますか？または、ためらいを感じたことがありますか。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. ためらいを感じる (感じた) | 2. ためらいを感じない (感じなかった) |
|-------------------|-----------------------|

問 24-1 問 24 で「1. ためらいを感じる (感じた)」と回答された方のみお答えください。

ためらいを感じる (感じた) 理由や原因としてあてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 1. 経済的な理由 | 8. 健康上の理由 |
| 2. 第一子の子育てで手一杯 | 9. 出産・育児を取り巻く人間関係への不安 |
| 3. 年齢的な理由 | 10. 社会環境の理由 |
| 4. 心理的な理由 | 11. 性交渉上の理由 |
| 5. 仕事上の理由 | 12. 配偶者との不仲、関係性の悪化、不信を感じる |
| 6. 社会制度上の理由 | 13. その他 () |
| 7. 家庭環境での理由 | |

問 25 少子化対策として、どのような取り組みが必要と考えますか？

あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 経済的なサポート | 8. 家庭環境の改善 |
| 2. 仕事面のサポート | 9. 無理のない出産方法のサポート |
| 3. 長時間労働の改善 | 10. 民間のサポートの充実 |
| 4. 育児のストレスを緩和できるような
仕組み・コミュニティ | 11. 不妊治療を受けるハードルが下がること |
| 5. 社会環境の整備 | 12. 配偶者との関係の改善 |
| 6. 産後のケア・サポートが充実すること | 13. 性交渉をする環境の改善 |
| 7. 落ち着ける環境の整備 | 14. その他 () |

7 災害や防犯対策についてお尋ねします。

問 26 あなたは現在、災害に対し、備えを行っていますか？

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 26-1 問 26 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

災害の発生に備えてどのようなことをしていますか？

あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 家具が倒れないように固定している | 8. 非常持出品や備蓄品を用意している |
| 2. 防災について家族で役割を決めている | 9. 自主防災組織の活動に参加している |
| 3. 風呂にいつも水を入れている | 10. ご近所同士でいざというときの
助け合いについて話をしている |
| 4. 消火器や水を入れたバケツなどを用意している | 11. ご近所の方で一人では
避難できない人を把握している |
| 5. 火気器具の周りを整理している | 12. その他 () |
| 6. ガラス飛散防止をしている | |
| 7. 寝室などに履物（くつ・サンダル等）
を用意している | |

問 27 あなたは、お住まいの地域の避難場所を知っていますか？

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 28 あなたは、和歌山市が作成しているハザードマップを知っていますか？

あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 和歌山市防災マップ | 4. 和田川洪水ハザードマップ |
| 2. 紀の川洪水ハザードマップ | 5. 1～4のマップは知らない |
| 3. 亀の川洪水ハザードマップ | |

問 29 あなたは、市報わかやまや防災ホームページ等に、どのような防災情報を掲載してほしいですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 地震・台風等のしくみと脅威 | 4. 各自主防災組織の活動内容紹介 |
| 2. 災害への備え | 5. 防災に関する補助金・交付金等の概要 |
| 3. 市が進める防災対策 | 6. その他 () |

問 30 災害発生時や災害が発生するおそれがある時、防災行政無線等によって市から情報を発信していますが、その情報はあなたに伝わっていますか？

1. 伝わっている
2. 伝わっていない【理由： _____】

問 31 あなたは、災害発生時や災害が発生するおそれがある時、その情報をどこから得ていますか？あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 5. 防災情報メール |
| 2. テレビのデータ放送 | 6. 防災情報電話案内サービス |
| 3. インターネット(県・市のホームページ) | 7. その他 () |
| 4. 防災行政無線 | |

問 32 和歌山市では昭和56年（1981年）以前に建てられた木造住宅に、無料で木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断をする制度があります。お住まいの耐震診断についてお答えください。

1. すでに耐震診断を受けている
2. すでに耐震改修を行った
3. 耐震診断を受けたが、耐震改修はしていない
4. 耐震診断を受ける気持ちはあるが、まだ受けていない
5. 耐震診断の制度を知らなかった、ぜひ受けてみたい
6. 耐震診断を受けるつもりはない
7. 賃貸なのでわからない、または勝手にできない
8. 木造住宅ではない
9. 対象の建物ではない（昭和57年以降に建てられた木造住宅である）
10. その他 ()

問 33 耐震診断の結果、耐震性が低いと判定された戸建て住宅、長屋及び共同住宅について、基準を満たす耐震改修を行った場合、耐震改修費（設計・工事・リフォーム）の一部を補助する制度があるのを知っていますか？

1. 知っている
2. 知らない

問 34 あなたは、ご自宅に「住宅用火災警報器」（煙式・熱式）を設置していますか？

1. 設置している
 2. 設置していない
- （共同住宅等で自動火災報知設備が設置されている場合は、設置していると回答してください。）

※ 「住宅用火災警報器」とは、火災が発生したときの煙や熱を自動的に感知して、警報音や音声などで火災を知らせてくれるものです。

問 34-1 問 34 で「2. 設置していない」と回答された方のみお答えください。

和歌山市では、すべての住宅の寝室等に「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられていることを知っていますか？

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問 35 あなたは、火災に備えて自宅に「消火器」を備えていますか？

- 1. 備えている
- 2. 備えていない

問 36 あなたは、消火器が一般のゴミとして捨てられないことを知っていますか。

※ 古くなった消火器を廃棄するときは、リサイクルシールを貼り、特定窓口（消火器販売店等）か指定引取場所へ持っていかなくてはなりません。

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問 37 あなたは、和歌山市の治安状況についてどう感じていますか？

- 1. 治安が良い
- 2. どちらかといえば治安が良い
- 3. どちらかといえば治安が悪い
- 4. 治安が悪い
- 5. わからない

問 37-1 問 37 で「3. どちらかといえば治安が悪い」、「4. 治安が悪い」とお答えの方のみお答えください。

あなたが、治安が悪いと感じる理由は何ですか？つぎの中からあてはまるものをすべてお選びください。

- 1. テレビなどで犯罪事件の報道が多いように感じるから
- 2. 不審者などが増えているように感じるから
- 3. 暗がりが多いように感じるから
- 4. 見通しの悪い場所などが多いから
- 5. 地域のコミュニティが希薄になったように感じるから
- 6. 特に理由はないが、不安を感じる
- 7. その他 ()

問 38 犯罪被害を防止するためには、日常生活において市民一人ひとりが防犯について意識することが大切です。あなたが犯罪の被害にあわないために、日常生活で心がけていることは何ですか？つぎの中からあてはまるものをすべてお選びください。

1. 振り込め詐欺等の被害にあわないように啓発資料やニュースなどをよく確認している
2. 家や車の鍵は少しの時間でも必ず施錠している
3. 玄関や窓には鍵を二重にしている
4. 少し遠回りになっても、明るい道を通る
5. 防犯ブザーなどの防犯機器を携帯している
6. 道を歩くときは、道路側にカバンを持たないなどひったくりに注意している
7. 自転車のカゴにはひったくり防止のカバーやネットをつけている
8. 地域の犯罪発生状況に注意している
9. 見守り活動や、近所の人との挨拶を積極的にするなど、
不審者を近づけにくい環境作りを意識している
10. 自転車には鍵を2つ以上つけている
11. 自動車内には荷物を置かないようしている
12. 自動車やオートバイに警報機等の盗難防止装置をつけている
13. 門灯などを点灯して、防犯を意識している
14. その他
15. 特に何もしていない

8 スポーツについてお尋ねします。

問 39 あなたは、週1回以上運動（ウォーキングや軽い体操などを含む）やスポーツをしていますか？

1. はい
2. いいえ

問 39-1 問 39 で「1. はい」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っている理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 健康保持・体力増進
2. 好きだから
3. 仲間との交流
4. 美容及び肥満の予防
5. ストレスの解消
6. 生活を楽しく、豊かにするため
7. その他
- ()

問 39-2 問 39 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。

運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

1. 必要ないと思うから
2. 忙しくて時間がないから
3. 体調が悪い・疲れているから
4. 運動・スポーツをする
仲間がいらないから
5. 家族や友人の支援がないから
6. 意志が弱いから
7. 場所や施設がないから
8. その他 ()

問 39-3 問 39 で「2. いいえ」と回答された方のみお答えください。
今後どのような状況になれば、運動やスポーツをしようと思えますか？
あてはまるものをすべてお選びください。

1. 時間に余裕があれば
2. 金銭に余裕ができれば
3. 体力的に自信ができれば
4. 一緒にする仲間ができれば
5. 運動・スポーツのできる場所、施設があれば
6. 気軽に参加できる教室などが用意されれば
7. 今後もしようと思わない
8. その他 ()

9 健康についてお尋ねします。

問 40 あなたの健康状態はいかがですか？

1. よい
2. まあまあよい
3. ふつう
4. あまりよくない
5. 悪い

問 41 あなたは、意識的に健康づくりに取り組んでいますか？

1. はい
2. いいえ

問 42 あなたは、タバコを吸っていますか？（20歳以上の方のみお答えください。）

1. 現在吸っている
2. 吸ったことはあるが今は吸っていない
3. 吸ったことがない

問 43 あなたは、定期的に、がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんのいずれか）を受けていますか？

1. 定期的に受けている
2. 定期的には受けていない
3. 一度も受けたことがない

※ 定期的な検診とは、「胃がん・肺がん・大腸がん」は1年に1回、「子宮頸がん・乳がん」は2年に1回の検診を受けることです。

問 44 あなたは、ふだん朝食を食べていますか？

1. 毎日食べる
2. 時々食べる
3. 食べない

問 45 あなたは、1日平均してどの程度歩いていると思いますか？

1. 4,000歩未満
2. 4,000～6,000歩未満
3. 6,000～8,000歩未満
4. 8,000～1万歩未満
5. 1万歩以上

※目安として、10分歩くと1,000歩程度、また外出しない方は3,000歩未満としてお考えください。

問 46 あなたは、睡眠による休養をとれていますか？

1. とれている
2. ある程度はとれている
3. とれていない

**10 中央卸売市場の観光市場化（道の駅）についてお尋ねします。
（資料④をご覧のうえ、お答えください。）**

問47 中央卸売市場を現地で建替えることについて、どのように思いますか？

あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 大変よいと思う | 4. わからない |
| 2. よいと思う | 5. 不用 |
| 3. 移転し建替えるべき | |

（理由： ）

※ 道の駅とは、①24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ施設、②道路情報・地域の観光情報・緊急医療情報などを提供する施設、③文化共用施設・観光レクリエーション施設などの地域振興施設の3つの機能を持った施設のことをいいます。

問48 中央卸売市場を観光市場として再生し、整備することについて、どのように思いますか？

あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 大変よいと思う | 3. 観光市場化する必要なし |
|------------|----------------|

2. よいと思う （理由： ）

4. わからない

問49 再整備した中央卸売市場に道の駅を併設することについて、どのように思いますか？

あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 大変よいと思う | 3. 現状のままでよい |
|------------|-------------|

2. よいと思う （理由： ）

4. わからない

問50 道の駅にどのような施設があれば利用したいと思いますか？

利用したいと思うものを3つまでお選びください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. レストラン・喫茶等 | 7. カルチャー施設 |
| 2. 物産品販売所 | 8. 展示施設 |
| 3. 入浴施設 | 9. 公園 |
| 4. 交流施設 | 10. 宿泊施設 |
| 5. 体育館 | 11. その他（ ） |
| 6. スポーツ施設 | |

11 和歌山市の取組みに対しての満足度・重要度についてお尋ねします。

問 51 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？
 満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

回答方向 		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	どちらでもない	不満	非常に不満	非常に重要	重要	どちらでもない	あまりではない	全くではない
安心・安全なまち	地震や風水害などの災害に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	暴力や犯罪に対する防犯体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消防・救急救助の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	交通安全に対する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消費者生活相談の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
優しいまち	地域住民の助け合い活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療・保健サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	高齢者・障害者に対する福祉サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	子どもや子育てに対する支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	人権が尊重される社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	男女が共生できる社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
元気なまち	地域産業（商工業・農林水産業）の発展	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	雇用対策や労働環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	中心市街地の活気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	観光地としての魅力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	国内や国外との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地域住民のふれあい活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

回答方向 		各取組みにどの程度満足していますか？					各取組みはどの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	どちらとも言えない	不満	非常に不満	非常に重要	重要	どちらとも言えない	あまり重要ではない	全く重要ではない
快適なまち	基幹道路や生活道路の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公園や下水道などの生活環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	海・山・川などの豊かな自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	資源ゴミのリサイクル	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	快適で暮らしやすい住宅環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育のまち	学校・幼稚園などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	青少年の健全育成活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	生涯学習支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
その他	市政に対する市民参加のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	市民サービスなどの行政窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

和歌山市の市政についてご意見をお聞かせください。

*****ご協力ありがとうございました*****

資料① 南海和歌山市駅周辺の活性化

新しい市民図書館



南海和歌山市駅 完成イメージ図

経緯

- 市民図書館は、建設後 30 年以上が経過し、耐震化と設備更新工事が必要となっていました。
- 耐震改修工事を実施すると、9 カ月程度の休館が必要となることや、図書館内にはブレース（補強材）等が設置され、利用者の動線を損ない、収蔵能力が低下し、図書館の使用スペースが狭くなり、市民サービスの低下につながることから、現地以外での再整備が必要と考えました。
- サービスや利便性の向上など市民ニーズに対応した図書館を実現することができる移転先を検討してきました。
- 図書館は集客能力の高い施設であるため、駅周辺に設置されることで商業施設や公共施設相互に回遊する人の流れが生まれ、人の賑わいが創出されると期待され、中心市街地の活性化にも寄与することから、再開発される南海和歌山市駅への移転が最適と考えました。

今後の取組

- 市駅に移転する新しい図書館に追加する機能を検討しています。
 - ① 蔵書の充実 ② 児童サービスの拡充 ③ 中学生・高校生向けサービスの実施 ④ 子育て世代の支援や交流の促進 ⑤くつろぎを味わえる空間の提供 ⑥ 観光客への地域観光情報の提供
- 南海和歌山市駅周辺には、まち歩きを楽しむ要素が沢山あることから、まち歩きの拠点となるよう整備していきたいと考えています。
- また、民間活力を活かした市街地再開発を促進していきたいと考えています。

市駅前広場・市道市駅前線



経緯

- 南海和歌山市駅の利便性の向上を図るためには、再開発にあわせて、市が管理する駅前広場の整備も併せて行う必要があると考えました。
- また、市駅から和歌山城周辺の導線となる市道「市駅前線」の再整備の必要性を検討しています。

今後の取組

- 市駅前広場については、乗降を一体化したバスロータリーやタクシーと送迎自家用車を明確に分離したバース（駐車場）の整備を検討しています。
- 市道市駅前線については、市駅周辺の賑わいの創出につながるよう、オープンカフェやイベントのスペースを確保するため、車道を縮小し歩道を拡幅することを検討しています。

資料② 伏虎中学校の跡地活用



※土地利用のイメージパースであり、実際の建物の形成及び配置とは異なります。

経緯

【市民会館の移転】

●市民会館は建設後35年以上が経過し、耐震診断や空調や電気、舞台等の劣化度調査の結果から、耐震化と設備更新工事が必要となっていました。

●耐震改修及び設備更新工事には建替えと同程度の費用を要すること、また、現地建替えとすると、長期にわたり閉館しなければならないことなどから、市民サービスの低下につながるため、現地以外での再整備が必要と考えています。

●まちなかで移転先の適地を探した結果、伏虎中学校跡地が、交通の便もよく、まちなかの賑わいに資することに加え、和歌山城にも面し、文化施設である市民会館の移転に最適と考えています。

【和歌山県立医科大学薬学部の誘致】

●大学進学者の他県への流出率が89.2%（全国1位）で、若い世代の人口減少が進んでいます。市内に大学が極めて少ないことが、その原因の一つであることから、大学の誘致を進める必要があると考えています。

●本市では、保健師、看護師、医療技術者、介護サービス職など専門的、技術的な職種での求人倍率が高くなっており、特にこうした人材を育成するための専門性を有する高等教育機関の誘致が必要と考えています。

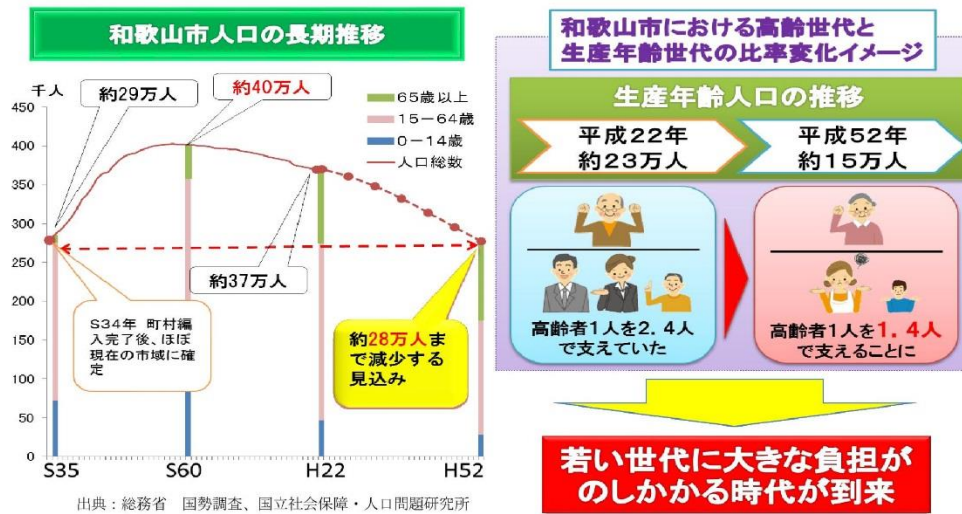
●大学がまちなかに立地することにより、学生たちのさまざまな活動を通じ、まちに活気や賑わいがもたらされること、また、市民会館との複合化により財政面で有利となることから、伏虎中学校跡地に県立医大薬学部を誘致することが最適と考えています。

今後の取組

●市民会館の利用者アンケート、ワークショップの開催など市民の皆様の意見を聞きながら、伏虎中学校跡地基本構想を策定しているところです。

●県立医大薬学部の誘致、市民会館との複合化に向け、県と協議を進めています。

資料③ 人口減少・少子化対策について



経緯

- 本市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所によると、このまま何もしなければ、2040年（平成52年）には現在の約36万人から約28万人まで減少するという推計が出ています。
- 人口減少は、まちの活力の低下をまねくだけでなく、介護保険など社会保障に大きな影響を与えることとなります。
- 本市の平成25年合計特殊出生率（一般的に一人の女性が、一生の間に産む子どもの数）は、1.43であり、人口を維持するために必要とされる2.07を大きく下回っています。また、平成25年の出生数は2,948人で、その内訳は、第1子が1,441人、第2子が1,053人、第3子が454人となっており、人口減少に歯止めをかけるため、少子化対策を重点とした政策が必要と考えています。

今後の取組

- 結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境整備など「切れ目ない子育て支援」を更に進めるための施策を検討しているところです。
- 少子化に歯止めをかけるため、第3子の出生数の割合を増やす施策を検討しているところです。

資料④ 中央卸売市場の観光市場化

再整備イメージ図



経緯

- 中央卸売市場は、開設後40年以上が経過し老朽化が進み、耐震診断で「有効な耐震補強を行い、かつ十分な耐久性を与えることは事実上不可能」という結果が出され、再整備が必要となっていました。
- 既に新冷蔵庫棟の建替えに着手していたこと、約13万㎡の敷地をもつ市場を移転するには用地費が膨大となることから、現地で建替えることとなっていました。
- 市場利用者が使いやすく、機能的で開かれた活気のある中央卸売市場の整備と、市場における食の魅力発信、地域資源との連携など、いつでも立ち寄り、気楽に楽しめるにぎわい観光市場として再整備を行いたいと考えています。
- 市場の建替えは高額な事業費が見込まれること、市場事業者の使用料や市の財政に影響があることから、できるだけコンパクト化し、余剰地を売却する必要がありと考えています。
- 「道の駅」の併設は、この考えによるものと観光市場との相乗効果による地域活性化を目指すためのものです。

今後の取組

- 今年度中に策定する基本計画により、市場事業者等関係者との意見交換を行い、来年度中に再整備の計画についての結論を出す予定です。